

平成28年

山梨県観光入込客統計調査報告書

目 次

第 1 部 観光入込客統計調査	1
1 . 調査目的.....	2
2 . 調査期間.....	2
3 . 調査方法.....	2
4 . 調査分析項目.....	3
5 . 圏域分類.....	4
6 . 用語の定義	5
7 . 平成 28 年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8 . 調査結果（実人数）	8
(1) 平成 28 年本県観光の概況	8
(2) 平成 28 年圏域別観光入込客数.....	10
(3) 平成 28 年市町村別観光入込客数	12
(4) 平成 28 年宿泊観光客数.....	15
(5) 平成 28 年観光消費額	17
(6) 月別の観光動向	18
(7) 圏域別観光の動向	21
【参考】観光入込客数（延べ人数）	26
第 2 部 観光地点等パラメータ調査による分析	33
1 . 調査の概要	34
(1) 調査日	34
(2) 調査地点、サンプル数.....	34
(3) 本報告書の計算値について.....	34
2 . 観光客の特性、動態状況の分析	35
(1) 本県観光客の全体像.....	35
(2) 性別・年代別の観光客の特徴	65
(3) 圏域別の観光客の特徴	69
(4) ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味別の特徴.....	80
3 . アンケート調査票.....	89

第 1 部 観光入込客統計調査

1．調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2．調査期間

平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日

3．調査方法

（1）調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、本県では平成 22 年 4 月より観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を導入し、観光入込客数や観光消費額について、全国共通の基準により四半期毎に調査集計を行っている。

具体的には、観光地点等入込客数調査（単純集計による延べ人数）、観光客を対象とする観光地点アンケート（パラメータ）調査を実施し、及び の調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、観光入込客の分析を行った。

図表 1 観光入込客調査方法

項目	調査内容
調査対象	・年間入込客数が 1 万人以上、又は特定月で 5 千人以上の観光地点を集計対象とする。（集計対象は前年実績により毎年当初に判定）
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会
集計地点数	・平成 28 年調査対象地点 476 箇所、集計対象地点 396 箇所

（2）集計方法の留意点

観光入込客実人数の算定では、イベント・行祭事を含めていない。

また、各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

4 . 調査分析項目

調査分析項目は以下のとおりである。

図表2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数（月別、圏域別、市町村別、外国人）
宿泊客数	実人数（月別、圏域別、外国人）
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

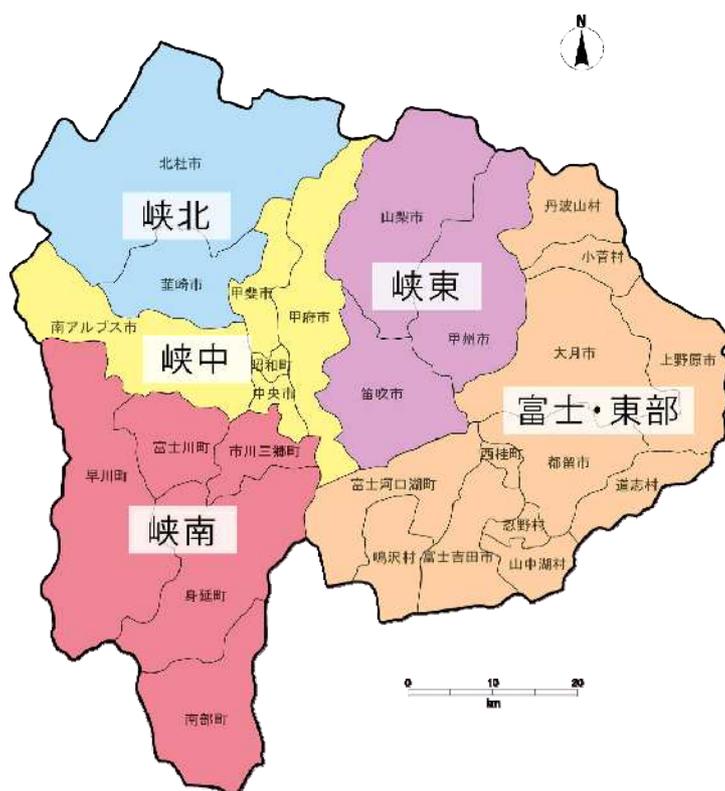
5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域(峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部)に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

図表3 圏域分類

圏域名	所在市町村
峡中圏域 昇仙峡・湯村温泉周辺 崇徳の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 楡形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺	甲府市(湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成、黒平、竹日向)、旧敷島町 旧甲府市(上記以外) 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧楡形町 旧竜王町、旧双葉町、昭和町、旧玉穂町、旧田喜町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊喜村、旧上九一色村(甲府市編入区域)
峡東圏域 大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢溪谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市(旧山梨市、旧牧丘町、旧三喜村) 笛吹市(旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村)
峡南圏域 身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町(旧下部町、旧身延町、旧中喜町) 早川町 市川三郷町(旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町)、富士川町(旧増穂町、旧嶽沢町) 南都町(旧南部町、旧富沢町)
峡北圏域 八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小瀬沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域 富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村(富士河口湖町編入区域)、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 新分類による圏域位置図



6 . 用語の定義

(1) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

(2) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

(3) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

(4) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定めて執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

(5) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

(6) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

(7) 観光地点等入込客数（延べ人数）

観光地点及び行祭事・イベント(以下「観光地点等」という。)ごとの観光入込客の総数をいう。

(8) 観光入込客数（実人数）

県内の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。この実人数は観光地点パラメータ調査で把握された観光入込客の平均訪問地点数で、延べ人数を除することで求められる。

(9) 訪問地点数

観光入込客1人の1回の旅行において、県内で訪問した観光地点の数をいう。

(10) 観光消費額単価

観光入込客1人の1回の旅行における県内での観光消費額をいう。

(11) 観光消費額

本県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

7. 平成 28 年観光客入込客調査結果の概要

(1) 観光入込客

観光客実人数	32,046 千人 (前年(31,462 千人)比 101.9%)
観光客延べ人数	47,647 千人 (前年(46,829 千人)比 101.7%)
平均訪問観光地点数	1.4 地点 (前年 1.4 地点)

観光客実人数はイベント・行祭事を除き算定 (5 ページ 6(8)参照)

観光客延べ人数はイベント・行祭事を含み算定 (5 ページ 6(7)参照)

(2) 日帰り・宿泊別観光入込客

日帰り客実人数	23,020 千人 (前年(22,837 千人)比 100.8%)
宿泊客実人数	9,026 千人 (前年(8,625 千人)比 104.6%)

(3) 居住地別観光入込客

県外客実人数	24,786 千人 (前年(23,991 千人)比 103.3%)
県内客実人数	7,261 千人 (前年(7,471 千人)比 97.2%)

(4) 訪日外国人客

延べ宿泊客数	1,373 千人 (前年(1,252 千人)比 109.6%)
--------	---------------------------------

本項目は観光庁宿泊旅行統計調査のうち、平成 28 年は速報値、平成 27 年は確定値を記載。

(5) 目的別観光入込客 (延べ人数)

自然	8,659 千人 (前年(8,684 千人)比 99.7%)
歴史・文化	9,418 千人 (前年(9,070 千人)比 103.8%)
温泉・健康	5,580 千人 (前年(5,735 千人)比 97.3%)
スポ・レク	9,897 千人 (前年(9,544 千人)比 103.7%)
都市型観光	4,327 千人 (前年(4,438 千人)比 97.5%)
行祭事・イベント	3,717 千人 (前年(3,556 千人)比 104.5%)
その他	6,050 千人 (前年(5,803 千人)比 104.3%)

本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客数の単純集計結果による。

(6) 季節別観光入込客

春(3~5月)	8,279 千人 (前年(8,027 千人)比 103.1%)
夏(6~8月)	9,741 千人 (前年(9,275 千人)比 105.0%)
秋(9~11月)	8,167 千人 (前年(8,579 千人)比 95.2%)
冬(1~2月、12月)	5,859 千人 (前年(5,581 千人)比 105.0%)

(7) 観光消費額

観光消費額	4,157 億円 (前年(3,967 億円)比 104.8%)
1人当たり平均消費額	12,971 円 (前年(12,609 円)比 102.9%)

8. 調査結果（実人数）

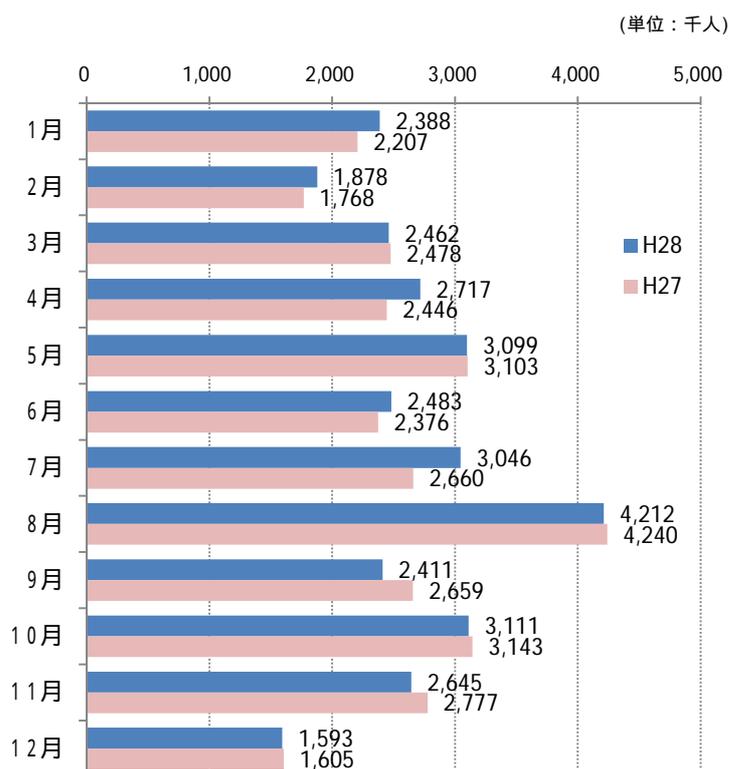
（1）平成28年本県観光の概況

平成28年の山梨県における観光入込客数は、実人数で3,205万人と推計され、過去最高を記録した前年の3,146万人を約58万人（1.9%）上回った。（図表5,6）月別の観光入込客（実人数）では、8月が421万人（構成比13.1%）と最も多く、12月の159万人（同5.0%）が最も少なくなっている。

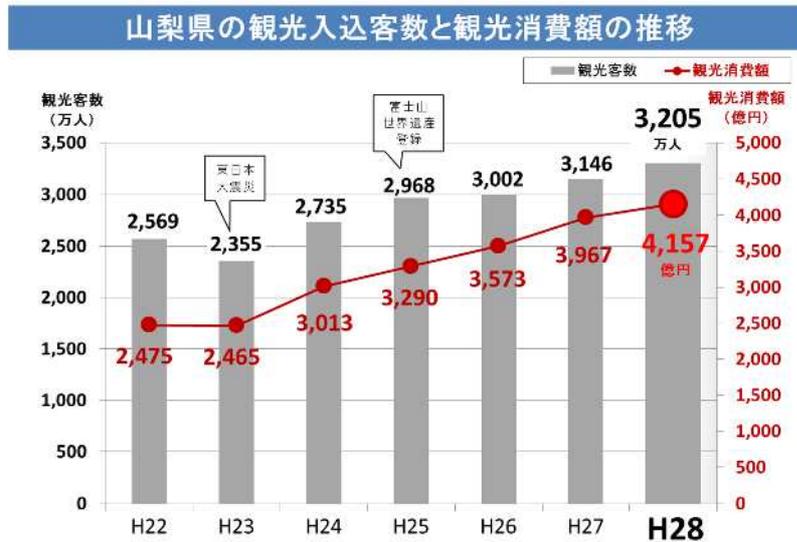
図表5 - 1 月別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

項目	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,387,755	7.5%	2,207,364	7.0%	108.2%
2月	1,877,838	5.9%	1,768,209	5.6%	106.2%
3月	2,462,220	7.7%	2,477,696	7.9%	99.4%
4月	2,717,335	8.5%	2,446,162	7.8%	111.1%
5月	3,098,962	9.7%	3,103,067	9.9%	99.9%
6月	2,483,039	7.7%	2,375,648	7.6%	104.5%
7月	3,045,898	9.5%	2,659,799	8.5%	114.5%
8月	4,212,093	13.1%	4,239,667	13.5%	99.3%
9月	2,411,115	7.5%	2,658,736	8.5%	90.7%
10月	3,111,447	9.7%	3,142,961	10.0%	99.0%
11月	2,644,720	8.3%	2,777,415	8.8%	95.2%
12月	1,593,370	5.0%	1,605,251	5.1%	99.3%
年計	32,045,792	100.0%	31,461,975	100.0%	101.9%



図表 6



平成 28 年は、前年に比べてゴールデンウィークやシルバーウィークの日並びが悪かったことや、9月の長雨や台風等の影響などマイナス要因があったものの、世界遺産富士山の継続的な人気や、外国人観光客の増加などにより、観光入込客数は過去最高であった昨年の 3,146 万人から約 58 万人増加し、3,205 万人となった。また、観光消費額も過去最の 4,157 億円となり、統計の手法を変更した平成 22 年以降で初めて 4,000 億円を突破した。

今後も観光入込客数や観光消費額を確実に伸ばしていくためには、ワインリゾート構想など本県の地域資源を活かした取り組みや、国内外への積極的かつ効果的なプロモーション活動を通じて、本県の魅力を伝え、関心を高めるとともに、やまなし観光推進機構の DMO 化によるデータに基づいたマーケティングや、観光事業者への支援など、さまざまな関係事業者を巻き込んだ事業展開を進めていくことが必要である。

	主な出来事
1 月	・おもてなしやまなし！ふるさと旅行券の利用期間
2 月	・おもてなしやまなし！ふるさと旅行券の利用期間
3 月	・やまなし観光産業活性化計画を策定 ・外国人誘客促進アプリ「FIJISAN ACTIVITES」を提供開始
4 月	・熊本地震発生（震度 7） ・信玄祭りの観客動員数が 15 万人と過去最高を記録
5 月	・やまなし観光推進機構が観光庁の DMO 候補法人に登録 ・伊勢志摩サミットで山梨県産ワインを提供
6 月	・富士山世界遺産センターがオープン
7 月	・富士スバルラインマイカー規制（7 月 10 日～ 8 月 31 日 53 日間）
8 月	・タイ、インドネシア、マレーシアで知事がトップセールスを実施 ・マレーシアの首都クアラルンプールではアンテナショップ「富士の国やまなし館 KL」を開設 ・リオオリンピックで江原選手、後藤選手、鈴木選手をはじめ多くの本県関係選手が活躍
9 月	
10 月	
11 月	・道の駅「つる」オープン
12 月	

(2) 平成28年圏域別観光入込客数

平成28年の観光入込客数を圏域別にまとめると、**図表7**のとおりである。

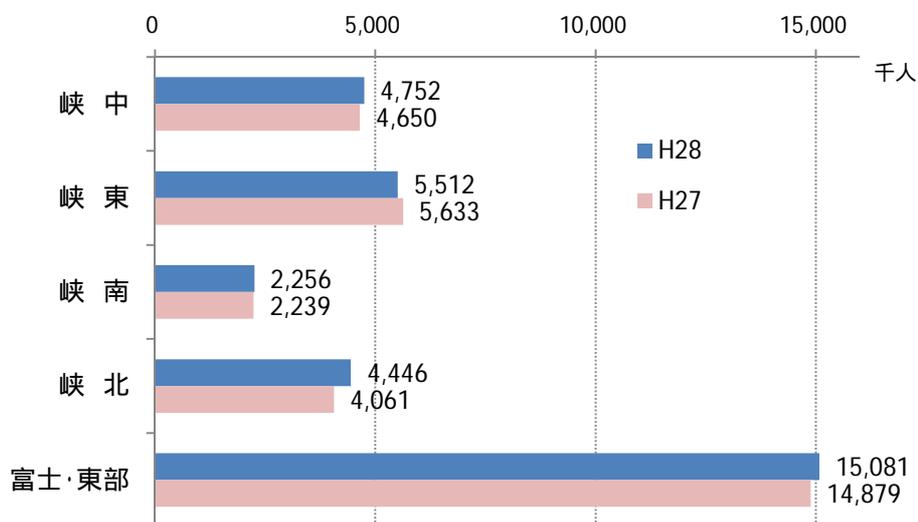
圏域別では、富士・東部が1,508万人(前年比101.4%)と最も多く、構成比では県内全体の47.1%を占めている。次いで峡東が551万人(同97.8%)、峡中が475万人(同102.2%)、峡北が445万人(同109.5%)、峡南が226万人(同100.7%)となっている。

なお、平成27年にオープンした観光施設を富士・東部圏域では2地点、市が新たに観光入込客数の調査を開始した地点として、峡北圏域では5地点、峡中圏域では1地点を集計対象として追加している。

図表7 圏域別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

圏域名	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,751,587	14.8%	4,649,644	14.8%	102.2%
峡東	5,511,598	17.2%	5,633,146	17.9%	97.8%
峡南	2,255,750	7.0%	2,239,088	7.1%	100.7%
峡北	4,445,926	13.9%	4,061,318	12.9%	109.5%
富士・東部	15,080,931	47.1%	14,878,779	47.3%	101.4%
年計	32,045,792	100.0%	31,461,975	100.0%	101.9%



なお、平成28年の圏域別観光入込客数を、さらに詳細に、月別・小圏域単位でまとめると、**図表8**のとおりである。

図表8 平成28年観光入込客数 小圏域別・月別一覧表(実人数)

(単位:人、%)

	H28年												H27年	前年比		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		合計	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	68,649	30,252	42,909	36,464	49,954	41,081	35,458	46,066	38,324	80,706	35,566	560,323	568,880	98.5%	
	芸術の森・武田神社周辺	131,045	169,915	229,770	256,826	297,536	160,209	239,334	183,123	313,725	250,730	129,154	2,531,800	2,424,568	104.4%	
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	32	227	1,308	9,306	10,768	6,255	5,443	1,034	0	34,372	4,528	759.1%
	櫛形山・果実郷周辺	11,240	11,204	12,697	23,198	13,001	29,472	32,369	17,092	14,036	14,013	12,481	13,509	204,311	177,326	115.2%
	釜無川沿岸	66,099	158,727	61,736	57,879	62,074	63,638	53,234	57,359	51,982	99,656	81,812	53,176	867,373	918,773	94.4%
	風土記の丘周辺	33,829	35,570	43,888	41,025	57,495	68,485	53,749	50,644	45,387	47,115	42,893	33,329	553,409	555,569	99.6%
	小計	310,862	405,669	390,999	415,423	480,286	364,193	423,450	365,051	326,418	534,845	469,656	264,734	4,751,587	4,649,644	102.2%
	大菩薩・恵林寺周辺	34,044	21,887	34,079	61,756	38,979	43,714	25,908	28,588	31,272	36,111	34,002	19,264	409,602	454,602	90.1%
	勝沼ぶどう郷周辺	61,966	63,950	74,022	73,181	82,331	105,904	142,696	244,420	278,815	287,535	130,190	67,209	1,612,219	1,635,682	98.6%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	79,241	58,908	111,467	103,398	128,910	177,150	122,507	126,408	107,321	165,589	120,144	50,994	1,352,036	1,306,696	103.5%
峡東圏域	石和温泉・果実郷周辺	222,498	130,873	162,191	210,349	150,925	158,895	203,293	292,112	155,636	179,939	158,163	112,866	2,137,741	2,236,166	95.6%
	小計	397,750	275,618	381,759	448,684	401,145	485,662	494,404	691,527	573,043	669,174	442,498	250,333	5,511,598	5,633,146	97.8%
	身延山・下部温泉周辺	116,491	48,049	115,111	199,743	103,980	81,966	63,709	64,224	48,951	83,975	82,516	56,749	1,065,464	1,085,511	98.2%
	早川周辺	547	469	625	458	9,982	562	1,233	1,857	984	1,257	1,153	453	19,582	18,760	104.4%
	峡南北部	63,818	55,427	70,620	85,061	58,768	60,869	67,060	206,427	51,281	60,476	75,635	51,247	906,690	864,393	104.9%
	峡南南部	20,899	18,326	23,900	28,758	23,184	17,445	18,022	42,616	15,272	19,604	19,472	16,516	264,014	270,423	97.6%
	小計	201,756	122,271	210,256	314,021	195,914	160,842	150,024	315,125	116,488	165,313	178,776	124,965	2,255,750	2,239,088	100.7%
	八ヶ岳高原周辺	271,120	126,343	154,156	138,125	240,999	172,488	240,784	372,522	189,944	245,726	154,041	122,006	2,428,253	2,396,360	101.3%
	金峰・みずがき周辺	6,958	6,438	8,847	11,998	17,706	12,917	15,273	22,282	14,009	21,475	19,881	7,689	165,472	168,326	98.3%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	68,221	73,496	106,575	167,409	130,046	115,563	135,493	235,496	108,032	175,057	94,732	66,405	1,476,525	1,178,522	125.3%
富士・東部圏域	茅ヶ岳周辺	10,122	6,425	9,993	16,775	28,544	34,549	47,029	152,419	12,895	16,752	21,659	18,514	375,676	318,110	118.1%
	小計	356,420	212,702	279,571	334,307	417,295	335,517	438,579	782,718	324,880	459,009	290,314	214,613	4,445,926	4,061,318	109.5%
	富士山五合目	171,538	114,671	353,307	423,928	390,095	387,464	575,319	522,613	338,983	387,497	265,408	183,835	4,114,657	4,237,061	97.1%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	641,291	418,425	494,235	350,950	453,054	411,109	530,968	875,690	377,804	468,962	624,470	290,071	5,937,027	5,697,638	104.2%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	144,790	162,567	142,657	218,765	463,824	125,648	170,705	251,554	125,537	151,267	126,140	87,606	2,171,061	2,175,052	99.8%
	山中湖・忍野周辺	60,797	81,309	56,956	53,838	89,552	63,738	78,227	178,285	69,652	74,993	69,119	66,750	943,217	890,294	105.9%
	大月・北都留	47,603	36,716	55,891	58,751	80,728	55,867	58,252	88,155	51,938	74,714	71,834	46,792	727,239	689,833	105.4%
	桂川・道志川周辺	54,947	47,890	96,590	98,670	127,069	92,999	125,970	141,373	106,372	125,674	106,505	63,671	1,187,730	1,188,902	99.9%
	小計	1,120,967	861,579	1,199,635	1,204,901	1,604,322	1,136,825	1,539,440	2,057,671	1,070,286	1,283,106	1,263,476	738,725	15,080,931	14,878,779	101.4%
	合計	2,387,755	1,877,838	2,462,220	2,717,335	3,098,962	2,483,039	3,045,898	4,212,093	2,411,115	3,111,447	2,644,720	1,593,370	32,045,792	31,461,975	101.9%
四半期合計	8,299,336												7,349,537			
月別構成比	7.5%	5.9%	7.7%	8.5%	9.7%	7.7%	9.5%	13.1%	7.5%	9.7%	8.3%	5.0%	100.0%			

(3) 平成28年市町村別観光入込客数

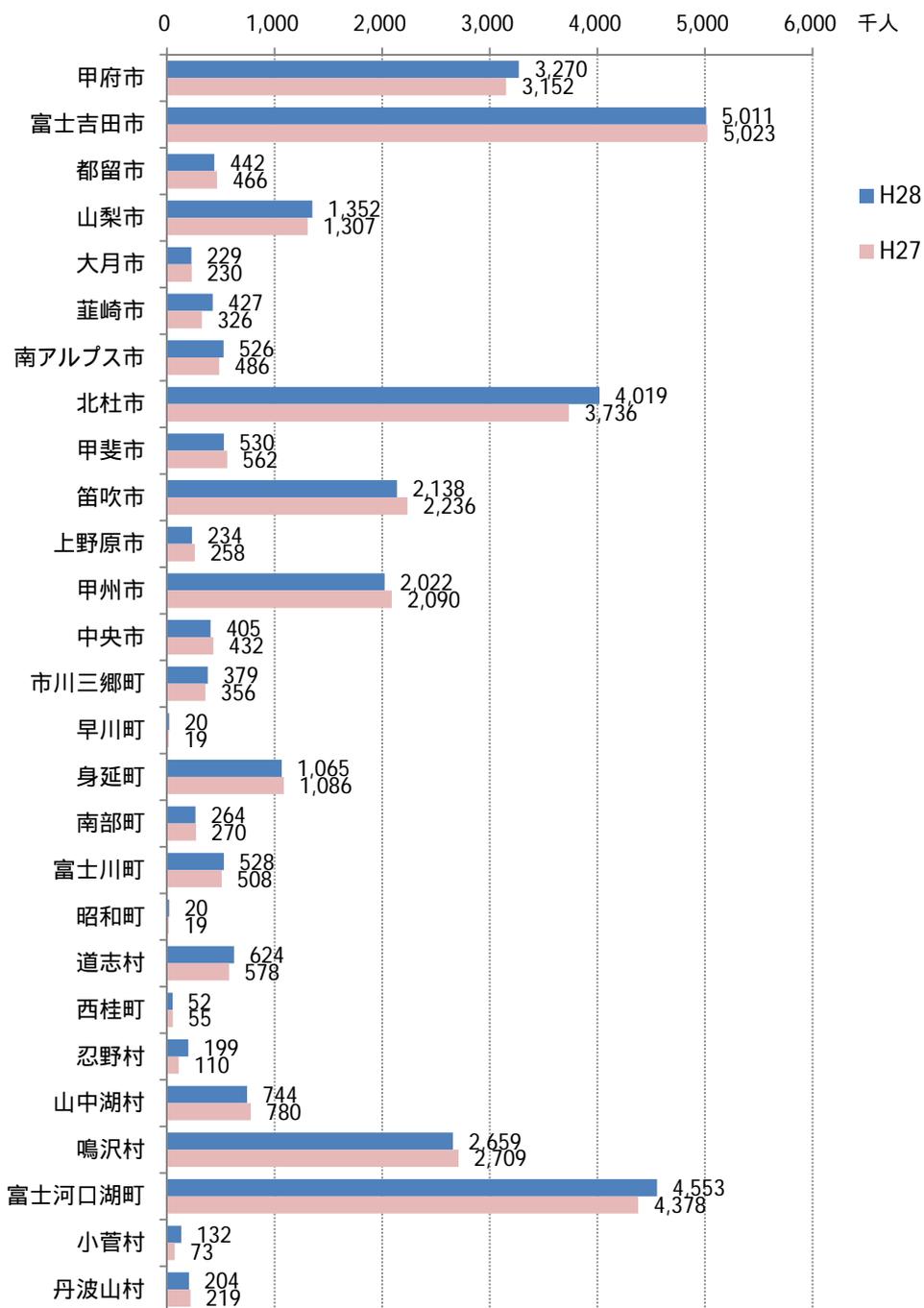
平成28年の観光入込客数を市町村別にまとめると、**図表9**のとおりである。

富士吉田市が501万人(構成比15.6%)と最も多く、次いで富士河口湖町が455万人(同14.2%)、北杜市402万人(同12.5%)などとなっている。前年との比較では、27市町村のうち、13の市町村で増加、14の市町村で減少となった。

図表9 市町村別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

市町村名	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	3,270,159	10.2%	3,151,521	10.0%	103.8%
富士吉田市	5,010,731	15.6%	5,023,439	16.0%	99.7%
都留市	441,657	1.4%	465,825	1.5%	94.8%
山梨市	1,352,036	4.2%	1,306,696	4.2%	103.5%
大月市	228,681	0.7%	229,768	0.7%	99.5%
韮崎市	426,540	1.3%	325,770	1.0%	130.9%
南アルプス市	526,109	1.6%	486,496	1.5%	108.1%
北杜市	4,019,386	12.5%	3,735,548	11.9%	107.6%
甲斐市	530,300	1.7%	561,586	1.8%	94.4%
笛吹市	2,137,741	6.7%	2,236,166	7.1%	95.6%
上野原市	233,682	0.7%	258,495	0.8%	90.4%
甲州市	2,021,821	6.3%	2,090,284	6.6%	96.7%
中央市	404,563	1.3%	431,513	1.4%	93.8%
市川三郷町	378,573	1.2%	355,998	1.1%	106.3%
早川町	19,582	0.1%	18,760	0.1%	104.4%
身延町	1,065,464	3.3%	1,085,511	3.5%	98.2%
南部町	264,014	0.8%	270,423	0.9%	97.6%
富士川町	528,116	1.6%	508,395	1.6%	103.9%
昭和町	20,457	0.1%	18,527	0.1%	110.4%
道志村	623,725	1.9%	578,400	1.8%	107.8%
西桂町	51,703	0.2%	54,968	0.2%	94.1%
忍野村	199,430	0.6%	110,205	0.4%	181.0%
山中湖村	743,787	2.3%	780,088	2.5%	95.3%
鳴沢村	2,659,127	8.3%	2,708,634	8.6%	98.2%
富士河口湖町	4,552,886	14.2%	4,377,678	13.9%	104.0%
小菅村	131,685	0.4%	72,622	0.2%	181.3%
丹波山村	203,836	0.6%	218,655	0.7%	93.2%
年計	32,045,792	100.0%	31,461,975	100.0%	101.9%



なお、平成 28 年の市町村別観光入込客数を、さらに詳細に月別でまとめると、**図表 10** のとおりである。

図表10 平成28年観光入込客数 市町村別・月別一覧表(実人数)

(単位:人、%)

	H28年												H27年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	前年比
甲府市	206,515	208,441	281,086	304,457	370,577	224,598	297,546	250,127	226,566	384,812	344,080	171,353	3,270,159	3,151,521	103.8%
富士吉田市	550,103	270,685	447,808	347,423	415,627	335,673	446,627	787,249	366,669	430,744	361,940	250,184	5,010,731	5,023,439	99.7%
都留市	18,977	16,669	42,705	30,968	37,638	35,586	36,374	47,683	47,930	55,295	43,699	28,132	441,657	465,825	94.8%
山梨市	79,241	58,908	111,467	103,398	128,910	177,150	122,507	126,408	107,321	165,589	120,144	50,994	1,352,036	1,306,696	103.5%
大月市	15,379	9,269	16,559	16,348	15,137	18,752	14,755	36,388	16,011	27,510	27,835	14,737	228,681	229,768	99.5%
韮崎市	28,779	25,479	31,275	64,313	35,512	39,598	28,271	56,221	24,826	47,040	25,233	19,994	426,540	325,770	130.9%
南アルプス市	33,883	125,930	26,099	38,622	29,483	45,657	56,268	44,420	33,355	34,637	28,252	29,503	526,109	486,496	108.1%
北杜市	327,641	187,223	248,296	269,994	381,782	295,920	410,309	726,497	300,054	411,970	265,081	194,619	4,019,386	3,735,548	107.6%
甲斐市	42,743	41,928	48,703	40,996	43,303	45,575	37,307	38,362	36,956	75,162	43,126	36,137	530,300	561,586	94.4%
笛吹市	222,498	130,873	162,191	210,349	150,925	158,895	203,293	292,112	155,636	179,939	158,163	112,866	2,137,741	2,236,166	95.6%
上野原市	13,877	15,473	24,540	20,233	22,536	18,882	18,814	18,637	17,123	22,482	20,114	20,971	233,682	258,495	90.4%
甲州市	96,010	85,836	108,101	134,937	121,310	149,618	168,604	273,008	310,087	323,646	164,191	86,473	2,021,821	2,090,284	96.7%
中央市	26,408	28,267	33,644	30,163	35,962	47,256	31,376	31,157	28,537	32,183	53,009	26,601	404,563	431,513	93.8%
市川三郷町	27,162	21,920	24,334	17,737	19,133	16,883	17,836	162,559	16,554	17,929	17,714	18,813	378,573	355,998	106.3%
早川町	547	469	625	458	9,982	562	1,233	1,857	984	1,257	1,153	453	19,582	18,760	104.4%
身延町	116,491	48,049	115,111	199,743	103,980	81,966	63,709	64,224	48,951	83,975	82,516	56,749	1,065,464	1,085,511	98.2%
南部町	20,899	18,326	23,900	28,758	23,184	17,445	18,022	42,616	15,272	19,604	19,472	16,516	264,014	270,423	97.6%
富士川町	36,656	33,507	46,285	67,325	39,635	43,986	49,224	43,869	34,728	42,547	57,921	32,434	528,116	508,395	103.9%
昭和町	1,313	1,102	1,467	1,185	961	1,107	954	985	1,003	8,050	1,189	1,140	20,457	18,527	110.4%
道志村	26,065	22,102	40,786	58,338	77,187	48,491	79,596	81,170	49,408	60,133	54,132	26,318	623,725	578,400	107.8%
西桂町	4,450	4,086	5,918	3,990	5,713	3,545	4,147	4,691	3,551	4,471	3,574	3,569	51,703	54,968	94.1%
忍野村	10,967	11,306	18,778	13,806	18,129	11,945	19,156	47,769	14,433	16,186	9,697	7,258	199,430	110,205	181.0%
山中湖村	49,831	70,003	38,178	40,032	71,423	51,793	59,072	130,517	55,219	58,807	59,422	59,492	743,787	780,088	95.3%
鳴沢村	170,684	145,219	225,436	235,826	286,712	205,099	305,416	345,934	200,678	233,976	174,396	129,751	2,659,127	2,708,634	98.2%
富士河口湖町	236,832	279,760	316,955	410,393	604,635	383,449	524,949	516,674	274,977	343,006	479,682	181,576	4,552,886	4,377,678	104.0%
小菅村	7,397	6,041	8,730	10,754	23,235	9,281	11,741	14,580	9,615	11,950	12,362	5,999	131,685	72,622	181.3%
丹波山村	16,404	10,967	13,243	16,789	26,351	14,330	18,795	26,380	14,672	18,546	16,622	10,736	203,836	218,655	93.2%
合計	2,387,755	1,877,838	2,462,220	2,717,335	3,098,962	2,483,039	3,045,898	4,212,093	2,411,115	3,111,447	2,644,720	1,593,370	32,045,792	31,461,975	101.9%
月別構成比	7.5%	5.9%	7.7%	8.5%	9.7%	7.7%	9.5%	13.1%	7.5%	9.7%	8.3%	5.0%	100.0%		

(4) 平成 28 年宿泊観光客数

平成 28 年の推計宿泊者数を小圏域別・月別にまとめると、**図表 11-2** のとおりである。

平成 28 年の宿泊観光客数（実人数）は、903 万人と推計された。これは、前年（862 万人）と比較すると、4.6%の伸びとなる。

圏域別に見ると、富士・東部圏域が 483 万人（前年比 115.2%）と全体の半数以上を占め最多となった。次いで、峡東圏域（158 万人、前年比 93.1%）、峡中圏域（151 万人、前年比 99.7%）、峡北圏域（88 万人、前年比 91.3%）、峡南圏域（23 万人、前年比 87.9%）となっており、富士・東部圏域は前年と比較して増加した。

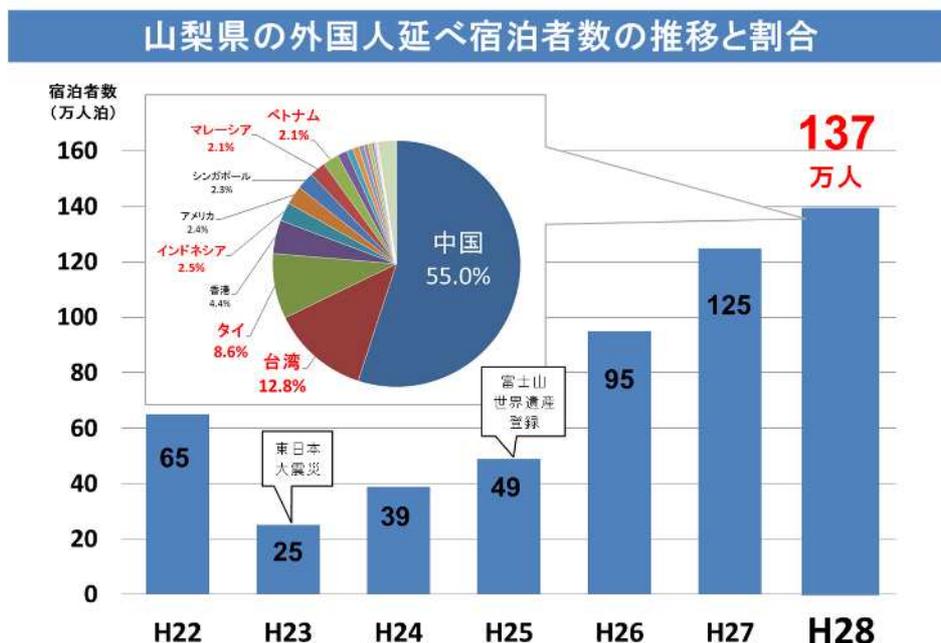
さらに、小圏域別に見ると、主なエリアでは、河口湖周辺の宿泊施設群などを擁する「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺」で 285 万人と群を抜いて多く、メジャーな温泉観光地のある「石和温泉・果実郷周辺」が 143 万人と続き、山中湖周辺の宿泊施設群を持つ「山中湖・忍野周辺」で 142 万人であった。その他には、市街地の宿泊施設群を有する「芸術の森・武田神社周辺」で 106 万人、八ヶ岳地域を含む「八ヶ岳高原周辺」が 80 万人などとなっている。

峡中・峡東の市街地型観光地においては年間を通して比較的客数の変動が小さい一方、富士北麓や峡北の自然資源豊かなエリアについては、特に夏季において客数が著しく増加するなど、季節的な変動が大きくなっている。

また、外国人の宿泊客については、観光庁の宿泊旅行統計調査結果（速報値）によると、平成 28 年の外国人延べ宿泊者数は、前年と比較して約 12 万人、約 9.6%増の約 137 万 3 千人となり過去最高となった。国籍別外国人延べ宿泊者数の順位は、前年同様に、第 1 位が中国（全体の 55.0%）、第 2 位が台湾（同 12.8%）、第 3 位がタイ（同 8.6%）となり、上位 3 カ国で全体の 76.4%を占めた。伸び率でみると、中国、台湾、タイは横ばいで推移し、香港、インドネシア、アメリカ等が大幅に増加しており、国籍の多様化の動きが見られる。

図表 11-1

観光庁宿泊旅行統計調査より作成



図表 1-1-2 平成28年 四半期別・圏域別推計宿泊客数一覧表(実人数ベース)

(単位:人、%)

区分	1-3月期			4-6月期			7-9月期			10-12月期			H28宿泊客数計			H27 宿泊客数 計	前年比
	宿泊客数	うち 外国人	圏域計 (うち外国人)	宿泊客数	うち 外国人	圏域計 (うち外国人)	宿泊客数	うち 外国人	圏域計 (うち外国人)	宿泊客数	うち 外国人	圏域計 (うち外国人)	宿泊客数	うち 外国人	圏域計 (うち外国人)		
峡中	昇仙峡・湯村温泉周辺	32,504	1,447	41,739	5,395	58,508	1,897	34,042	622	166,793	9,360	1,506,851	99.7%				
	芸術の森・武田神社周辺	233,258	7,151	272,218	11,656	296,953	8,667	256,510	3,171	1,058,939	30,645	1,511,079					
	広河原・芦安温泉周辺	500	54	615	84	62,094	178	3,851	56	67,060	371	75,558					
	榊形山・果実郷周辺	7,512	168	14,838	224	12,159	22	10,189	70	44,698	484						
	釜無川沿岸	26,952	8,194	27,832	13,555	45,163	8,274	23,563	4,410	123,510	34,433						
峡東	風土記の丘周辺	10,620	8	12,369	172	13,160	65	9,703	20	45,852	264						
	大菩薩・恵林寺周辺	9,492	28	12,629	111	12,976	84	13,938	52	49,035	274						
	勝沼ぶどう郷周辺	614	-	1,549	-	2,008	-	1,586	7	5,756	7	1,578,027	93.1%				
	西沢渓谷・ブルー・ツ公園周辺	17,056	189	22,570	519	34,589	104	23,448	143	97,663	955	(130,087)					
	石和温泉・果実郷周辺	292,076	21,446	324,242	57,024	423,341	34,194	385,914	16,187	1,425,573	128,851						
峡南	身延山・下部温泉周辺	24,071	1,551	59,782	5,884	54,768	2,127	42,359	525	180,980	10,087						
	早川周辺	1,004	-	5,316	11	5,849	-	5,073	13	17,242	24	225,459	87.9%				
	峡南北部	2,966	1,266	4,164	2,734	4,651	1,105	2,872	526	14,653	5,632	(18,061)					
	峡南南部	3,723	738	3,348	1,532	3,754	48	1,758	-	12,583	2,318						
	八ヶ岳高原周辺	131,803	11,845	200,702	36,357	305,452	9,219	164,964	11,041	802,921	68,462						
峡北	金峰・みずがき周辺	6,957	10	3,908	29	10,176	22	5,562	17	26,602	77	881,822	91.3%				
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,669	2	11,987	223	29,320	84	3,889	4	46,865	313	(68,857)					
	茅ヶ岳周辺	215	-	1,206	-	2,600	4	1,412	-	5,434	4						
	富士山五合目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	493,639	108,859	676,137	239,131	1,109,430	173,567	566,862	112,257	2,846,068	633,814						
富士・東部	本栖湖・精進湖・西湖周辺	80,537	27,530	149,302	55,175	150,554	25,598	86,313	19,538	466,706	127,840	4,833,744	115.2%				
	山中湖・忍野周辺	238,103	73,057	450,942	205,099	475,941	80,471	257,366	63,678	1,422,353	422,305	(1,185,100)					
	大月・北都留	12,527	85	12,026	29	21,488	239	12,405	29	58,446	382						
	桂川・道志川周辺	6,204	63	7,815	28	19,725	33	6,428	636	40,171	760						
	合計	1,634,002	263,693	2,317,234	634,971	3,154,659	346,000	1,920,008	233,000	1,920,008	1,477,664	9,025,903	8,624,790	104.7%			
												(233,000)			(1,477,664)		

観光庁「宿泊旅行統計調査」の集計値を基に、回答宿泊施設における従業員数規模ごとの平均値を算出し、小圏域ごとに調査対象施設数に乗じる等により推計した数値

(5) 平成28年観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、及びアンケート調査に基づく1人あたり観光消費額単価等から観光庁提供の推計支援ツール(年間版)を用いて算出した。この結果、総消費額は4,157億円(前年(3,967億円)比104.8%)となった(図表12)。また、1人当たりの平均観光消費額を求めると、12,971円となった。

県内観光客の観光消費額は549億円(前年比108.4%)、県外観光客の観光消費額は、3,386億円(前年比106.8%)と増加したものの、訪日外国人の観光消費額は222億円(対前年比76.1%)と減少した。

図表12 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

(A)観光入込客数(実人数)

区分	日帰り客 23,020		宿泊客 9,026		合計	平成27年 合計	対前年比
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			
県内	6,113	332	605	211	7,261	7,471	97.2%
県外	15,303	567	5,137	1,595	22,603	21,982	102.8%
訪日外国人	705	-	1,376	102	2,183	2,009	108.6%
合計	22,122	898	7,118	1,908	32,046	31,462	101.9%

宿泊客数は観光庁「宿泊旅行統計調査」の数値を活用

(B)観光消費額単価

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	6,445	2,372	18,670	16,066
県外	10,887	5,148	25,052	25,319
訪日外国人	3,281	-	7,862	88,704

(C)観光消費額 = (A)観光入込客(実人数) × (B)観光消費額単価

	日帰り客 212,020		宿泊客 203,641		合計	平成27年 合計	対前年比
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			
県内	39,400	787	11,294	3,388	54,869	50,597	108.4%
県外	166,603	2,918	128,701	40,385	338,606	316,945	106.8%
訪日外国人	2,313	-	10,814	9,060	22,187	29,171	76.1%
合計	208,316	3,704	150,808	52,833	415,662	396,713	104.8%

観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数(人)	平均同行者数(人)	1人当たり 平均訪問地点数 (地点)	1人当たり 平均消費額 (円)	1人当たり 平均訪問都道府県数 (箇所)
15,052	4.5	1.4	12,971	1.2

(6) 月別の観光動向

月別の特徴(P8 図表 5-1)をみると、平成 28 年は、シルバーウィークの日並びが悪かったことや、長雨や台風等の影響により 9 月の落ち込みが対前年同月比 90.7%と大きかったものの、世界遺産富士山の継続的な人気や、外国人観光客の増加などにより、観光入込客数はほぼ前年並みで推移した。なお、前年は雁坂トンネル有料道路通行無料化(7 月~11 月)や、富士スバルライン車種限定平日通行無料化(9 月~11 月)、山梨県内の宿泊代金が 3~5 割引になる「おもてなしやまなし!ふるさと旅行券」(9 月~翌年 2 月)等があったことも、8 月以降の観光入込客が減少した要因の一つと考えられる。

1 月

1 月の観光入込客数の対前年同月比は 108.2%と増加した。気温は平年並みであったが、前年に比べ日照時間が長く、好天に恵まれる日が多かった。暖冬による雪不足により、スキー客が大幅に減少したものの、自然に関する施設、神社、屋外レジャー施設などの客足が伸び、観光入込客は増加した。

2 月

2 月の観光入込客の対前年同月比は 106.2%と増加した。1 月同様、好天に恵まれる日が多く、富士・東部圏域の道の駅や歴史・文化施設、自然に関する施設、屋外レジャー施設など、多くの観光施設で観光入込客数が増加した。また、旧正月(春節)休暇を利用して、多くの中国人観光客が訪れた。

3 月

3 月の観光入込客数の対前年同月比は 99.4%と減少した。レジャー意欲を駆り立てるガソリン価格が前年の 141 円/L に対し年内最安の 113 円/L となり、好天にも恵まれ、峡東圏域や富士・吉田圏域のスポーツ・レクリエーション施設では観光入込客が増加したものの、雪不足によるスキー客の減少や、バスツアーの減少などにより、観光入込客数は前年並みとなった。

4 月

4 月の観光入込客数の対前年同月比は 111.1%と増加した。前年は、甲斐善光寺の御開帳があり好調であった峡中圏域では、一部の施設で減少がみられたが、第 45 回信玄公祭りでは、観光動員数の集計を始めた平成 21 年以降で最高の 15 万 7 千人に達するなど、多くの観光客で賑わった。また、花の見頃が早まったことや、桜シーズンによる訪日需要の高まりにより外国人観光客が増加した。

なお、甲府地方気象台では、平年通り、3 日に桜(ソメイヨシノ)の満開を観測した。

5月

5月の観光入込客数の対前年同月比は99.9%と横ばいだった。ゴールデンウィークの日並びは悪かったものの、天候にも恵まれ、県内や都心から近場で楽しむ日帰り旅行が人気となり、観光入込客数は前年並みとなった。

6月

6月の観光入込客数の対前年同月比は104.5%と増加した。気温は平年並みであったものの、関東甲信越地方の梅雨入りが平年より3日早い6月5日頃となるなど、入込客数に影響を及ぼすマイナス要素もあったが、平年よりも降水量が少なかったため、屋外・屋内施設を問わず、観光入込客数は増加した。また、富士・東部圏域の温泉・健康や、スポーツ・レクリエーション施設などの観光施設では、外国人観光客の個人旅行（FIT）の増加を挙げる声が多く聞かれた。

7月

7月の観光入込客数の対前年同月比は114.5%と今年一番の伸びとなった。好天の日が多く、今年が富士登山の御利益が高まるとされる12年に1度の「小縁年^{しょうえんねん}」であったことなどから、富士山の登山者数が前年より増加した。また、峡中圏域等では、国体関東ブロック大会の開催により多くの観光客が訪れた。

8月

8月の観光入込客数の対前年同月比は99.3%と減少した。7月と同様に国体関東ブロック大会の開催や、8月11日が「山の日」として祝日になったが、後半は天候不順の日が多かったため、観光入込客数は前年並みとなった。

9月

9月の観光入込客数の対前年同月比は90.7%と今年一番の減少率となった。前年は5連休となったシルバーウィークが今年は日並びが悪かったことや、長雨や台風など天候不順の日が多く、多くの観光施設で前年同月を大きく下回った。

10月

10月の観光入込客数の対前年同月比は99.0%と減少した。気温は平年並みであったが、天候不順の日が多かった。前年は、大村智北里大学名誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞し、峡北圏域では歴史・文化施設を中心に大幅に増加したため、その反動も見られた。

11月

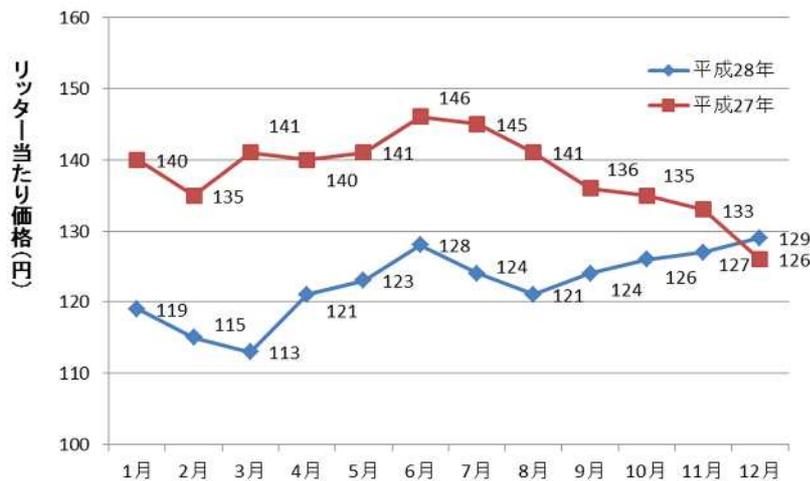
11月の観光入込客数の対前年同月比は95.2%と減少した。低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、平均気温、最高気温、日照時間は平年を下回り、甲府で54年ぶりに降雪が確認されるなど、天候に恵まれなかったため、観光入込客数は伸び悩む結果となった。

また、イチョウの黄葉が11月24日と平年よりも12日遅かった。

12月

12月の観光入込客数の対前年同月比は99.3%と減少した。天候は気温、日照共に平年を上回ったが、降水量は平年の倍以上となり、また、3月以降上昇傾向が続いていたガソリン価格が月内に年内最高水準（129円/L）に達するなど、マイナス要因があったものの、クリスマスイブを挟んだ3連休があったことなどから、観光入込客は前年並みとなった。

図表13-1 レギュラーガソリン価格の推移（総務省「小売物価統計調査」より）



図表13-2 甲府における気象状況等

	平均気温	最高気温	最低気温	降水量	日照時間
1月	3.2 (2.8)	9.5 (8.8)	-2.3 (-2.4)	56.5 (40.2)	216.0 (204.8)
2月	5.4 (4.3)	11.8 (10.3)	-0.2 (-1.0)	50.0 (46.1)	191.1 (189.9)
3月	9.4 (8.0)	15.8 (14.2)	3.9 (2.7)	79.5 (87.9)	195.6 (198.7)
4月	15.4 (13.8)	21.9 (20.4)	10.0 (8.3)	93.5 (77.7)	179.6 (202.0)
5月	20.3 (18.3)	27.1 (24.6)	14.5 (13.3)	54.0 (86.3)	229.4 (196.3)
6月	22.6 (21.9)	28.2 (27.3)	18.2 (17.9)	66.5 (122.5)	169.2 (148.9)
7月	26.3 (25.5)	32.5 (30.9)	22.2 (21.8)	75.5 (132.6)	200.6 (164.1)
8月	27.1 (26.6)	33.4 (32.5)	23.0 (22.8)	231.5 (149.5)	199.5 (197.3)
9月	24.2 (22.8)	28.5 (28.0)	21.0 (19.1)	210.5 (180.3)	110.1 (142.2)
10月	18.2 (16.5)	23.2 (21.9)	14.4 (12.3)	63.5 (125.2)	136.9 (160.9)
11月	10.3 (10.4)	15.4 (16.4)	6.1 (5.5)	62.5 (54.9)	150.5 (176.6)
12月	5.9 (5.0)	12.2 (11.2)	0.5 (-0.2)	81.5 (32.1)	209.3 (201.3)

() 内の値は1981年～2010年の平年値

	桜		梅雨		イチョウ
	開花	満開	梅雨入り	梅雨明け	黄葉
平成28年	3月23日	4月3日	6月5日ごろ	7月29日ごろ	11月24日
平年値(1981～2010年)	3月27日	4月3日	6月8日ごろ	7月21日ごろ	11月12日

(7) 圏域別観光の動向

圏域の観光動向については、観光入込客数（実人数）の推移と、観光施設から提供された増減理由などを参考に、前年比較を行った。

峡中圏域

峡中圏域では、対前年比 102.2%と増加した（**図表 14**）。

小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、9月の長雨の影響などにより歴史・文化施設や自然に関する施設の減少が大きかった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、前年の甲斐善光寺の御開帳の反動も見られたが、スポーツ・レクリエーション施設で大幅な増加がみられ、全体としては 4.4%の増となった。

「広河原・芦安温泉周辺」では、市が新たに自然に関する施設の調査を開始したことにより、大幅な増となった。

「櫛形山・果実郷周辺」では、前年は温泉・健康施設が改修工事により減少したが、今年は 15.2%の増加となった。

「釜無川沿岸」では、温泉・健康施設において改修工事による休館や利用料金の値上げの影響等により減少した施設が見られた。

「風土記の丘周辺」では、都市型観光施設等においてバスツアーの減少などで客数が伸び悩み、全体としてわずかに減少した。

図表 14 峡中圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成28年	平成27年	対前年比
昇仙峡・湯村温泉周辺	560,323	568,880	98.5%
芸術の森・武田神社周辺	2,531,800	2,424,568	104.4%
広河原・芦安温泉周辺	34,372	4,528	759.1%
櫛形山・果実郷周辺	204,311	177,326	115.2%
釜無川沿岸	867,373	918,773	94.4%
風土記の丘周辺	553,409	555,569	99.6%
小計	4,751,587	4,649,644	102.2%

峡東圏域

峡東圏域では、対前年比 97.8%と減少した（**図表 15**）。

小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、都市型観光施設がバスツアーの減少などにより 9.9%の減と大きく落ち込んだ。

「勝沼ぶどう郷周辺」では、歴史・文化施設においてテレビドラマの影響で増加した施設も見られたが、ぶどう狩りの減少や、スポーツ・レクリエーション施設のバスツアーなどが減少したため、全体としては 1.4%の減となった。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、フルーツ公園周辺でのスポーツ・レクリエーション施設や温泉・健康施設で順調に客足が伸びた。

「石和温泉・果実郷周辺」では、歴史・文化施設では、前年に盛況であった企画展の反動やバスツアーの減少、ぶどう狩りの減少などにより 4.4%の減となった。

図表 15 峡東圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成28年	平成27年	対前年比
大菩薩・恵林寺周辺	409,602	454,602	90.1%
勝沼ぶどう郷周辺	1,612,219	1,635,682	98.6%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,352,036	1,306,696	103.5%
石和温泉・果実郷周辺	2,137,741	2,236,166	95.6%
小計	5,511,598	5,633,146	97.8%

峡南圏域

峡南圏域では、対前年比 100.7%と増加した（**図表 16**）

小圏域別に見ると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、主力の歴史・文化施設の減少や、都市型観光施設のバスツアーの減少などにより、全体として 1.8%の減となった。

「早川周辺」は、温泉客の入込客数増加により、4.4%増となった。

「峡南北部」では、道の駅の認知度が上昇し客足が増えるなど、4.9%の増加となった。

「峡南南部」では、スポーツ・レクリエーション施設が客数を伸ばしていたものの、温泉・健康施設などがやや低調であったため、全体として減少した。

図表 1 6 峡南圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成28年	平成27年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,065,464	1,085,511	98.2%
早川周辺	19,582	18,760	104.4%
峡南北部	906,690	864,393	104.9%
峡南南部	264,014	270,423	97.6%
小計	2,255,750	2,239,088	100.7%

峡北圏域

峡北圏域では、対前年比 109.5%と増加した（**図表 17**）。

小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」では、主力の都市型観光施設や屋外型のレクリエーション施設等が天候不順により客足が伸び悩んだものの、市が新たに歴史・文化施設の調査を開始したことにより、全体として 1.3%の増加となった。

「金峰・みずがき周辺」では、物産販売施設等で客数が伸び悩み、全体として減少となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、歴史・文化施設など、ノーベル効果の影響により順調に客足が伸びた施設が多く、全体として 25.3%と大幅に増加した。

「茅ヶ岳周辺」では、温泉・健康施設で客足が伸びたことに加え、市が新たに自然に関する施設の調査を開始したことにより、全体として 18.1%の大幅な増加となった。

図表 17 峡北圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成28年	平成27年	対前年比
八ヶ岳高原周辺	2,428,253	2,396,360	101.3%
金峰・みずがき周辺	165,472	168,326	98.3%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,476,525	1,178,522	125.3%
茅ヶ岳周辺	375,676	318,110	118.1%
小計	4,445,926	4,061,318	109.5%

富士・東部圏域

富士・東部圏域では、対前年比 101.4%と増加した（**図表 18**）。

小圏域別に見ると、「富士山五合目」は、登山客の増加なども見られたが、前年の富士スバルライン車種限定平日通行無料化などの反動もあり、減少となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」では、河口湖周辺の自然に関する施設やスポーツ・レクリエーション施設などで外国人観光客の大幅な増加が見られ、全体としては 4.2%の増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、自然に関する施設などで外国人観光客が増加した一方で、花の見頃が連休と合わなかったために観光入込客数が減少した自然に関する施設や、雪不足により減少したスポーツ・レクリエーション施設等があったため、全体としては横ばいとなった。

「山中湖・忍野周辺」では、前年はリニューアル工事による休館していた温泉施設や、平成 27 年に新たにオープンしたスポーツ・レクリエーション施設で調査を開始したことにより、全体として 5.9%の増加となった。

「大月・北都留」では、この地域で主力のゴルフ場で客数が伸び悩んだが、平成 27 年に新たにオープンした道の駅で調査を開始したことにより、全体としては 5.4%の増加となった。

「桂川・道志川周辺」では、道の駅が大きく客数を伸ばしたが、温泉・健康施設等で伸び悩み、全体としては横ばいとなった。

図表 18 富士・東部圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成28年	平成27年	対前年比
富士山五合目	4,114,657	4,237,061	97.1%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	5,937,027	5,697,638	104.2%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	2,171,061	2,175,052	99.8%
山中湖・忍野周辺	943,217	890,294	105.9%
大月・北都留	727,239	689,833	105.4%
桂川・道志川周辺	1,187,730	1,188,902	99.9%
小計	15,080,931	14,878,779	101.4%

【参考】観光入込客数（延べ人数）

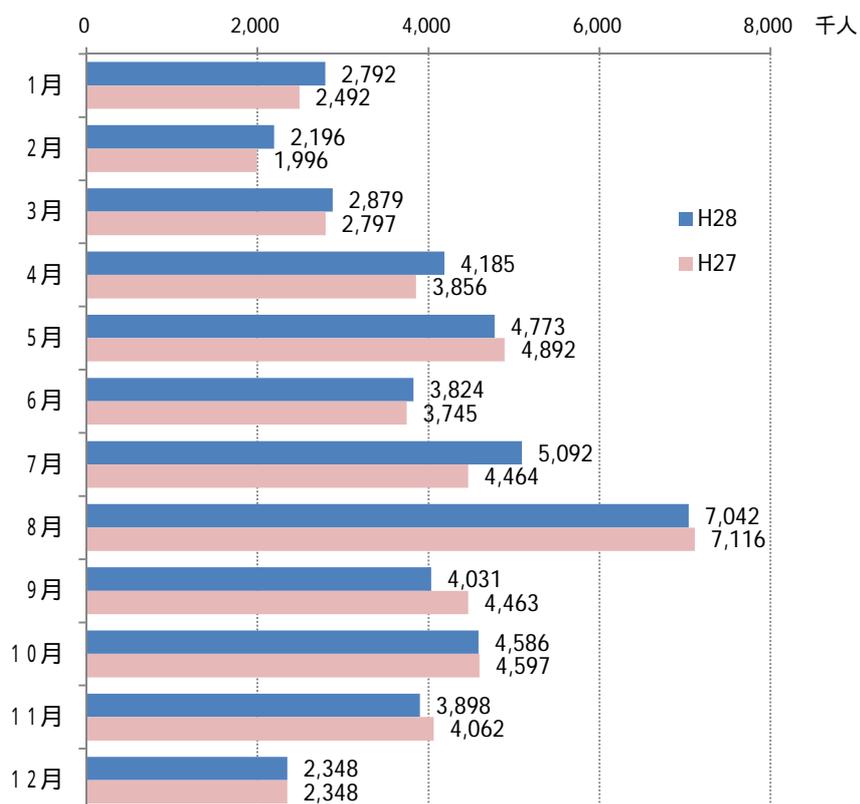
実人数の推計の基礎となった観光地点等入込客数（市町村調査による延べ人数）について、参考までに集計及び前年比較を行った。

月別の推移

平成 28 年の延べ観光入込客数は 4,765 万人であり、前年に比べて 1.7%の増加となった（図表 19）。

図表 19 月別観光入込客（延べ人数）（単位：人、％）

項目	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,792,182	5.9%	2,491,945	5.3%	112.0%
2月	2,195,898	4.6%	1,996,173	4.3%	110.0%
3月	2,879,260	6.0%	2,797,130	6.0%	102.9%
4月	4,184,933	8.8%	3,856,074	8.2%	108.5%
5月	4,772,671	10.0%	4,891,603	10.4%	97.6%
6月	3,824,096	8.0%	3,744,916	8.0%	102.1%
7月	5,092,347	10.7%	4,464,418	9.5%	114.1%
8月	7,042,075	14.8%	7,116,194	15.2%	99.0%
9月	4,031,072	8.5%	4,462,633	9.5%	90.3%
10月	4,585,856	9.6%	4,597,116	9.8%	99.8%
11月	3,897,963	8.2%	4,062,443	8.7%	96.0%
12月	2,348,414	4.9%	2,347,953	5.0%	100.0%
年計	47,646,767	100.0%	46,828,598	100.0%	101.7%



圏域別の推移

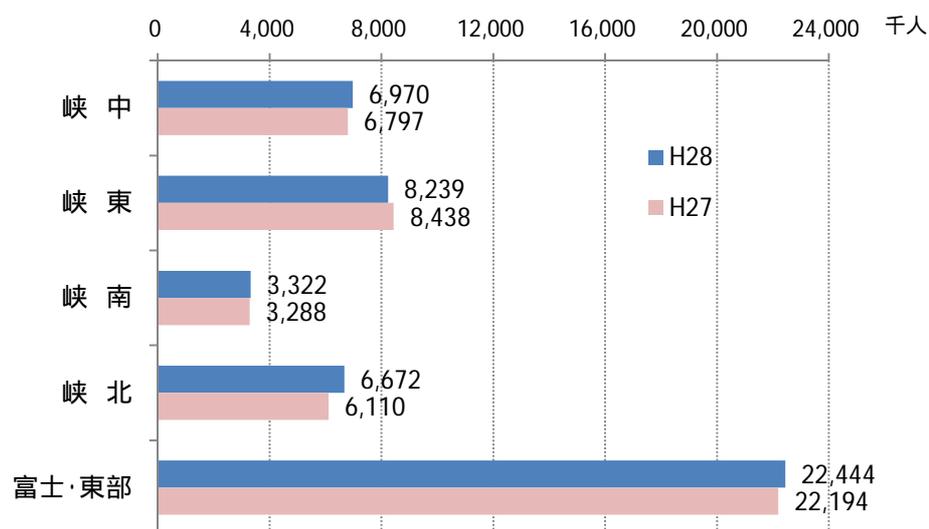
圏域別にみると、富士・東部が2,244万人（前年比101.1%）で最多となり、次いで、峡東（824万人、同97.6%）、峡中（697万人、同102.5%）、峡北（667万人、同109.2%）、峡南（332万人、同101.0%）であった。（図表20）

小圏域の主たる地域を見ると、峡中の「芸術の森・武田神社周辺（373万人、前年比104.7%）」、峡東の「石和温泉・果実郷周辺（316万人、同95.8%）」、峡南の「身延山・下部温泉周辺（155万人、前年比98.3%）」、峡北の「八ヶ岳高原周辺（361万人、同100.6%）」、富士・東部圏域の「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺（871万人、同104.4%）」となっている（図表21）。

図表20 圏域別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	6,970,162	14.6%	6,797,119	14.5%	102.5%
峡東	8,238,804	17.3%	8,438,471	18.0%	97.6%
峡南	3,321,575	7.0%	3,288,242	7.0%	101.0%
峡北	6,672,421	14.0%	6,110,492	13.0%	109.2%
富士・東部	22,443,805	47.1%	22,194,274	47.4%	101.1%
年計	47,646,767	100.0%	46,828,598	100.0%	101.7%



(単位:人、%)

図表2-1 平成28年観光入込客数 小圏域別・月別一覽表(延べ人数)

	H28年												H27年		前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計		
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	80,276	35,376	50,177	56,157	76,934	63,269	59,281	77,016	64,073	80,906	118,950	52,420	814,835	828,260	98.4%
	芸術の森・武田神社周辺	153,241	198,694	268,687	395,534	458,232	246,736	400,136	306,158	284,941	462,389	369,542	190,356	3,734,646	3,567,916	104.7%
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	49	349	2,014	15,558	18,003	10,458	8,022	1,524	0	55,977	7,424	754.0%
	櫛形山・果実郷周辺	13,144	13,102	14,847	35,727	20,022	45,389	54,117	28,575	23,466	20,653	18,395	19,911	307,348	270,220	113.7%
	釜無川沿岸	77,295	185,612	72,193	89,139	95,599	98,008	89,001	95,896	86,908	146,879	120,580	78,374	1,235,484	1,300,529	95.0%
峡東圏域	風土記の丘周辺	39,559	41,595	51,321	63,182	88,547	105,473	89,861	84,670	75,882	69,441	63,219	49,122	821,872	822,770	99.9%
	小計	363,515	474,379	457,225	639,788	739,683	560,889	707,954	610,318	545,728	788,290	692,210	390,183	6,970,162	6,797,119	102.5%
	大菩薩・恵林寺周辺	39,810	25,594	39,851	95,109	60,031	67,323	43,314	47,795	52,283	53,223	50,114	28,393	602,840	673,386	89.5%
	勝沼ぶどう郷周辺	72,462	74,781	86,560	112,705	126,797	163,101	238,570	408,639	466,142	423,788	191,882	99,057	2,464,484	2,502,111	98.5%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	92,663	68,886	130,347	159,242	198,532	272,826	204,816	211,337	179,426	244,056	177,076	75,158	2,014,365	1,966,586	102.4%
峡南圏域	石和温泉・果実郷周辺	260,184	153,040	189,662	323,956	232,438	244,712	339,880	488,373	260,203	265,206	233,111	166,350	3,157,115	3,296,388	95.8%
	小計	465,119	322,301	446,420	691,012	617,798	747,962	826,580	1,156,144	958,054	986,273	652,183	368,958	8,238,804	8,438,471	97.6%
	身延山・下部温泉周辺	136,222	56,187	134,608	307,621	160,139	126,235	106,514	107,375	81,839	123,768	121,617	83,640	1,545,765	1,572,952	98.3%
	早川周辺	640	549	731	706	15,373	865	2,061	3,105	1,645	1,853	1,700	668	29,896	29,003	103.1%
	峡南北部	74,627	64,815	82,581	131,002	90,508	93,743	112,115	345,120	85,736	89,134	111,476	75,531	1,356,388	1,286,921	105.4%
峡北圏域	峡南南部	24,439	21,430	27,948	44,290	35,705	26,867	30,130	71,249	25,533	28,894	28,699	24,342	389,526	399,366	97.5%
	小計	235,928	142,981	245,868	483,619	301,725	247,710	250,820	526,849	194,753	243,649	263,492	184,181	3,321,575	3,288,242	101.0%
	八ヶ岳高原周辺	317,041	147,742	180,266	212,724	371,159	265,647	402,560	622,808	317,562	362,167	227,036	179,820	3,606,532	3,585,605	100.6%
	金峰・みずがき周辺	8,136	7,529	10,345	18,478	27,269	19,893	25,535	37,252	23,422	31,651	29,302	11,332	250,144	254,011	98.5%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	79,776	85,944	124,626	257,825	200,282	177,977	226,527	393,719	180,616	258,010	139,623	97,872	2,222,797	1,765,585	125.9%
富士・東部圏域	茅ヶ岳周辺	11,836	7,513	11,686	25,835	43,960	53,209	78,626	254,825	21,558	24,690	31,923	27,287	592,948	505,291	117.3%
	小計	416,789	248,728	326,923	514,862	642,670	516,726	733,248	1,308,604	543,158	676,518	427,884	316,311	6,672,421	6,110,492	109.2%
	富士山五合目	200,592	134,094	413,148	652,886	600,780	596,728	961,859	873,741	566,736	571,118	391,176	270,948	6,233,806	6,467,762	96.4%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	749,910	489,296	577,946	540,493	697,742	633,143	887,709	1,464,041	631,639	691,187	920,385	427,526	8,711,017	8,342,638	104.4%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	169,314	190,102	166,820	336,917	714,330	193,509	285,396	420,566	209,881	222,948	185,914	129,119	3,224,816	3,239,609	99.5%
中部圏域	山中湖・忍野周辺	71,095	95,081	66,603	82,915	137,918	98,162	130,786	298,070	116,449	110,529	101,872	98,381	1,407,861	1,340,504	105.0%
	大月・北都留	55,666	42,935	65,357	90,481	124,328	86,040	97,389	147,384	86,833	110,118	105,873	68,965	1,081,369	1,023,619	105.6%
	桂川・道志川周辺	64,254	56,001	112,950	151,960	195,697	143,227	210,606	236,358	177,841	185,226	156,974	93,842	1,784,936	1,780,142	100.3%
	小計	1,310,831	1,007,509	1,402,824	1,855,652	2,470,795	1,750,809	2,573,745	3,440,160	1,789,379	1,891,126	1,862,194	1,088,781	22,443,805	22,194,274	101.1%
	合計	2,792,182	2,195,898	2,879,260	4,184,933	4,772,671	3,824,096	5,092,347	7,042,075	4,031,072	4,585,856	3,897,963	2,348,414	47,646,767	46,828,598	101.7%
四半期合計	7,867,340	12,781,700	16,165,494	10,832,233												
月別構成比	5.9%	4.6%	6.0%	8.8%	10.0%	8.0%	10.7%	14.8%	8.5%	9.6%	8.2%	4.9%	100.0%			

市町村別の推移

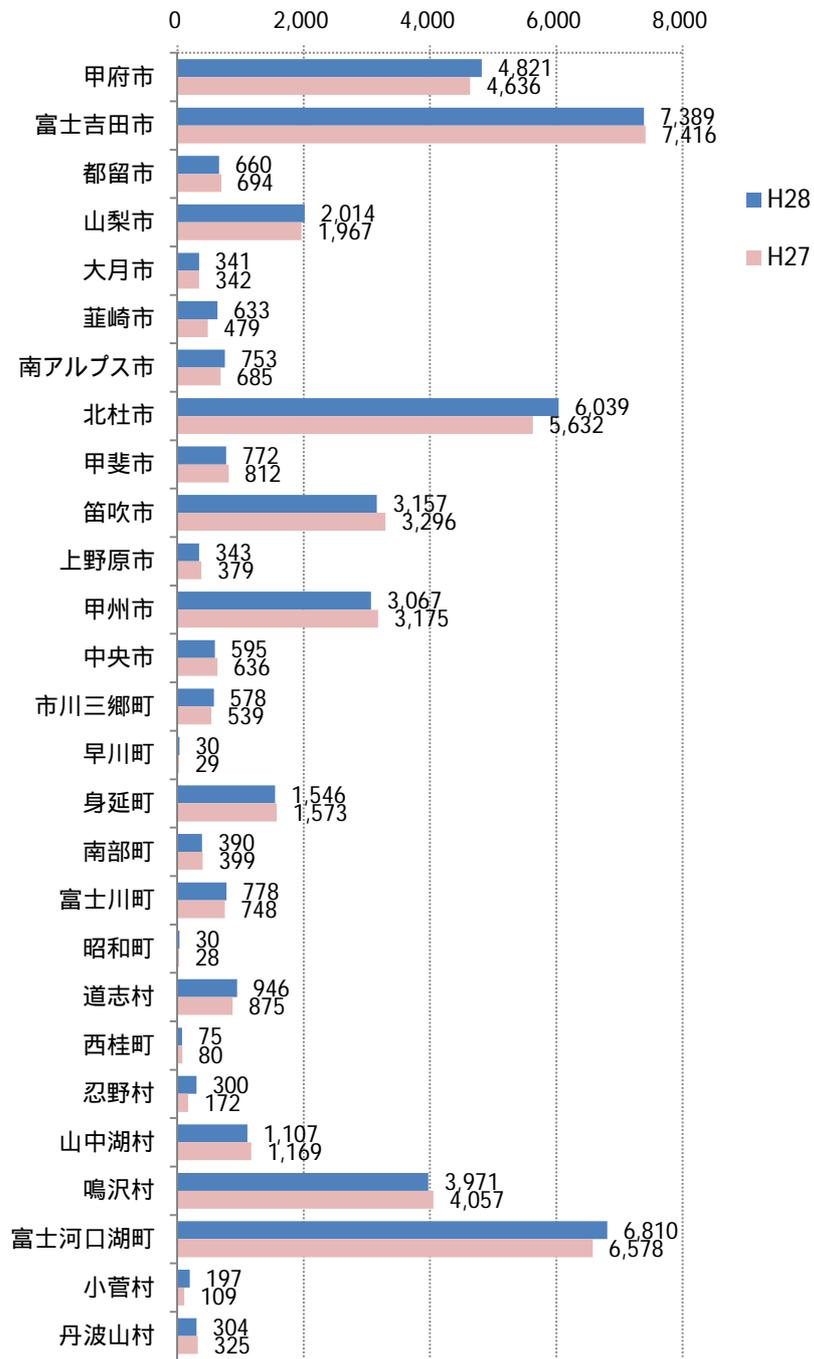
市町村別に見ると、富士吉田市で739万人（前年比99.6%）と最多であり、次いで富士河口湖町（681万人、同103.5%）、北杜市（604万人、同107.2%）、甲府市（482万人、同104.0%）などとなっている（図表22、23）。

図表22 市町村別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成28年		平成27年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	4,820,716	10.1%	4,636,035	9.9%	104.0%
富士吉田市	7,388,545	15.5%	7,415,791	15.8%	99.6%
都留市	660,120	1.4%	693,511	1.5%	95.2%
山梨市	2,014,365	4.2%	1,966,586	4.2%	102.4%
大月市	341,122	0.7%	342,292	0.7%	99.7%
韮崎市	633,497	1.3%	478,562	1.0%	132.4%
南アルプス市	752,880	1.6%	685,381	1.5%	109.8%
北杜市	6,038,924	12.7%	5,631,930	12.0%	107.2%
甲斐市	771,880	1.6%	812,231	1.7%	95.0%
笛吹市	3,157,115	6.6%	3,296,388	7.0%	95.8%
上野原市	342,895	0.7%	379,195	0.8%	90.4%
甲州市	3,067,324	6.4%	3,175,497	6.8%	96.6%
中央市	594,920	1.2%	635,962	1.4%	93.5%
市川三郷町	578,168	1.2%	538,527	1.1%	107.4%
早川町	29,896	0.1%	29,003	0.1%	103.1%
身延町	1,545,765	3.2%	1,572,952	3.4%	98.3%
南部町	389,526	0.8%	399,366	0.9%	97.5%
富士川町	778,220	1.6%	748,394	1.6%	104.0%
昭和町	29,766	0.1%	27,510	0.1%	108.2%
道志村	946,003	2.0%	875,052	1.9%	108.1%
西桂町	75,132	0.2%	80,135	0.2%	93.8%
忍野村	300,448	0.6%	171,552	0.4%	175.1%
山中湖村	1,107,413	2.3%	1,168,952	2.5%	94.7%
鳴沢村	3,971,255	8.3%	4,056,709	8.7%	97.9%
富士河口湖町	6,809,839	14.3%	6,577,509	14.0%	103.5%
小菅村	197,317	0.4%	108,880	0.2%	181.2%
丹波山村	303,716	0.6%	324,696	0.7%	93.5%
年計	47,646,767	100.0%	46,828,598	100.0%	101.7%

(単位：千人)



図表2.3 平成28年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H28年												H27年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	241,494	243,746	328,695	468,891	570,721	345,900	497,458	418,180	378,789	567,162	507,128	252,552	4,820,716	4,636,035	104.0%
富士吉田市	643,277	316,532	523,656	535,062	640,101	516,965	746,702	1,316,179	613,023	634,859	533,451	368,738	7,388,545	7,415,791	99.6%
都留市	22,191	19,492	49,938	47,694	57,966	54,806	60,812	79,720	80,133	81,498	64,407	41,463	660,120	693,511	95.2%
山梨市	92,663	68,886	130,347	159,242	198,532	272,826	204,816	211,337	179,426	244,056	177,076	75,158	2,014,365	1,966,586	102.4%
大月市	17,984	10,839	19,364	25,177	23,313	28,880	24,668	60,836	26,769	40,546	41,025	21,721	341,122	342,292	99.7%
韮崎市	33,654	29,794	36,572	99,047	54,692	60,984	47,265	93,995	41,506	69,330	37,190	29,468	633,497	478,562	132.4%
南アルプス市	39,622	147,259	30,520	59,481	45,406	70,315	94,072	74,265	55,766	51,050	41,640	43,484	752,880	685,381	109.8%
北杜市	383,135	218,934	290,351	415,815	587,978	455,742	685,983	1,214,609	501,652	607,188	390,694	286,843	6,038,924	5,631,930	107.2%
甲斐市	49,983	49,030	56,952	63,138	66,691	70,190	62,373	64,136	61,785	110,779	63,562	53,261	771,880	812,231	95.0%
笛吹市	260,184	153,040	189,662	323,956	232,438	244,712	339,880	488,373	260,203	265,206	233,111	166,350	3,157,115	3,296,388	95.8%
上野原市	16,228	18,094	28,696	31,160	34,707	29,080	31,454	31,159	28,628	33,136	29,645	30,908	342,895	379,195	90.4%
甲州市	112,272	100,375	126,411	207,814	186,828	230,424	281,884	456,434	518,425	477,011	241,996	127,450	3,067,324	3,175,497	96.6%
中央市	30,881	33,055	39,342	46,453	55,385	72,779	52,456	52,090	47,711	47,434	78,128	39,206	594,920	635,962	93.5%
市川三郷町	31,762	25,633	28,456	27,316	29,467	26,001	29,819	271,777	27,676	26,425	26,108	27,728	578,168	538,527	107.4%
早川町	640	549	731	706	15,373	865	2,061	3,105	1,645	1,853	1,700	668	29,896	29,003	103.1%
身延町	136,222	56,187	134,608	307,621	160,139	126,235	106,514	107,375	81,839	123,768	121,617	83,640	1,545,765	1,572,952	98.3%
南部町	24,439	21,430	27,948	44,290	35,705	26,867	30,130	71,249	25,533	28,894	28,699	24,342	389,526	399,366	97.5%
富士川町	42,865	39,182	54,125	103,686	61,041	67,742	82,296	73,343	58,060	62,709	85,368	47,803	778,220	748,394	104.0%
昭和町	1,535	1,289	1,716	1,825	1,480	1,705	1,595	1,647	1,677	11,865	1,752	1,680	29,766	27,510	108.2%
道志村	30,480	25,845	47,694	89,846	118,874	74,680	133,075	135,705	82,603	88,628	79,784	38,789	946,003	875,052	108.1%
西桂町	5,204	4,778	6,920	6,145	8,798	5,459	6,933	7,842	5,937	6,589	5,267	5,260	75,132	80,135	93.8%
忍野村	12,824	13,221	21,959	21,262	27,921	18,396	32,026	79,863	24,130	23,856	14,292	10,698	300,448	171,552	175.1%
山中湖村	58,271	81,860	44,644	61,653	109,997	79,766	98,760	218,207	92,319	86,673	87,580	87,683	1,107,413	1,168,952	94.7%
鳴沢村	199,594	169,816	263,619	363,193	441,561	315,870	510,616	578,357	335,507	344,849	257,037	191,236	3,971,255	4,056,709	97.9%
富士河口湖町	276,945	327,144	370,639	632,041	931,190	590,545	877,646	863,812	459,726	505,545	706,987	267,619	6,809,839	6,577,509	103.5%
小菅村	8,650	7,064	10,209	16,562	35,784	14,293	19,630	24,376	16,075	17,612	18,220	8,842	197,317	108,880	181.2%
丹波山村	19,183	12,824	15,486	25,857	40,583	22,069	31,423	44,104	24,529	27,335	24,499	15,824	303,716	324,696	93.5%
合計	2,792,182	2,195,898	2,879,260	4,184,933	4,772,671	3,824,096	5,092,347	7,042,075	4,031,072	4,585,856	3,897,963	2,348,414	47,646,767	46,828,598	101.7%
月別構成比	5.9%	4.6%	6.0%	8.8%	10.0%	8.0%	10.7%	14.8%	8.5%	9.6%	8.2%	4.9%	100.0%		

第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 28 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年代別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

歴史・文化

都市型観光

温泉・健康

スポーツ・レクリエーション

自然

その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

冬 : 平成 28 年 2 月 6 日(土)

春 : 平成 28 年 5 月 22 日(日)

夏 : 平成 28 年 8 月 6 日(土)

秋 : 平成 28 年 11 月 5 日(土)

(2) 調査地点、サンプル数

分類	名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	77	73	80	95	325
歴史・文化	山梨県立美術館	峡中	66	91	70	94	321
歴史・文化	勝沼ぶどうの丘	峡東	80	84	86	80	330
都市型観光	モンデ酒造	峡東	76	65	99	74	314
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	76	65	88	81	310
温泉・健康	みはらしの丘みたまの湯	峡南	75	86	82	81	324
都市型観光	ハヶ岳リゾートアウトレット	峡北	102	86	100	92	380
その他・道の駅	道の駅こぶちさわ	峡北	76	75	96	86	333
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	富士・東部	100	83	95	78	356
自然	カチカチ山ロープウェイ	富士・東部	79	84	83	117	363
合 計			807	792	879	878	3,356

(3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が 100%にならない場合がある。

2. 観光客の特性、動態状況の分析

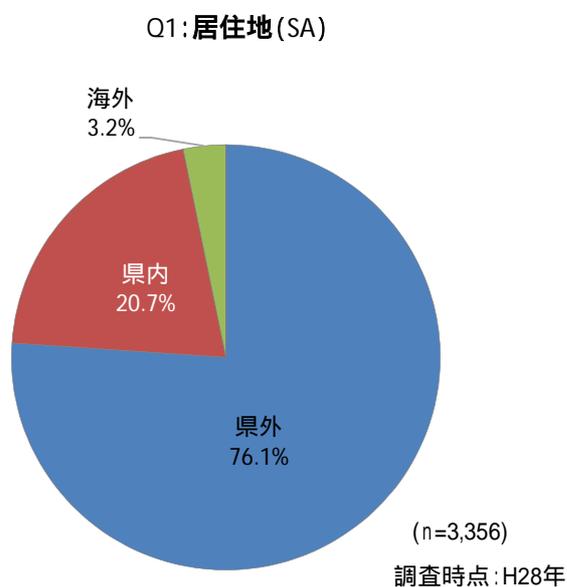
観光地アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と特徴を分析した。

(1) 本県観光客の全体像

居住地

観光客の居住地は、「県外」が76.1%、「県内」が20.7%、「海外」が3.2%である。

前年調査と比較すると、県外は1.4ポイント減少し、県内が1.8ポイント増加している。

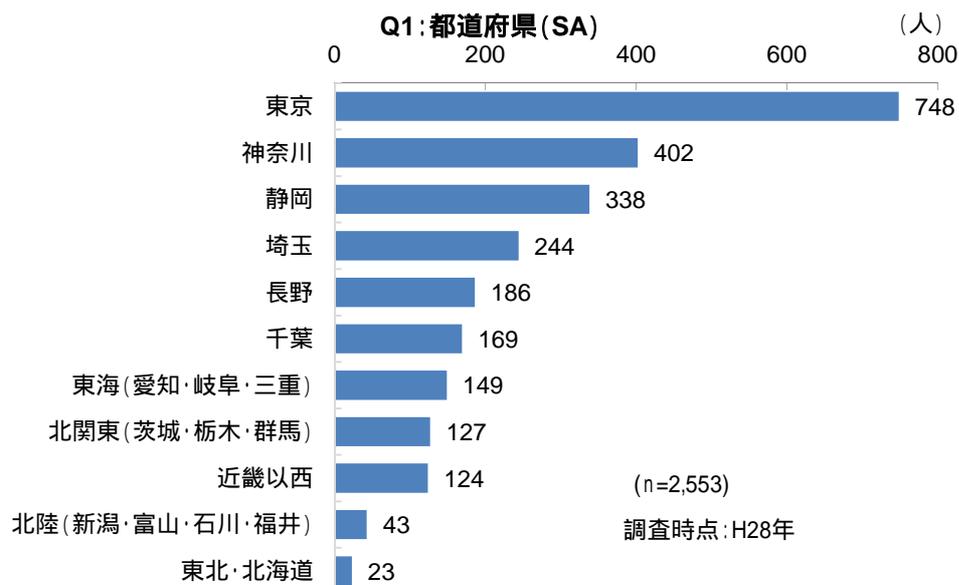


【前年対比】

カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
県外	76.1%	77.5%	1.4
県内	20.7%	18.9%	1.8
海外	3.2%	3.6%	0.4
不明	0.0%	0.0%	0.0

また、外国人を除いた県外客の居住地は、東京(29.3%)、神奈川(15.7%)、静岡(13.2%)、埼玉(9.6%)、長野(7.3%)と、隣接する都県からの来訪者が多い。

季節変動をみると、東京、長野からの来訪者は、冬に訪れる割合が他の季節と比較して高くなっているが、千葉からの来訪者は冬に訪れる割合が他の季節と比較して低くなっている。



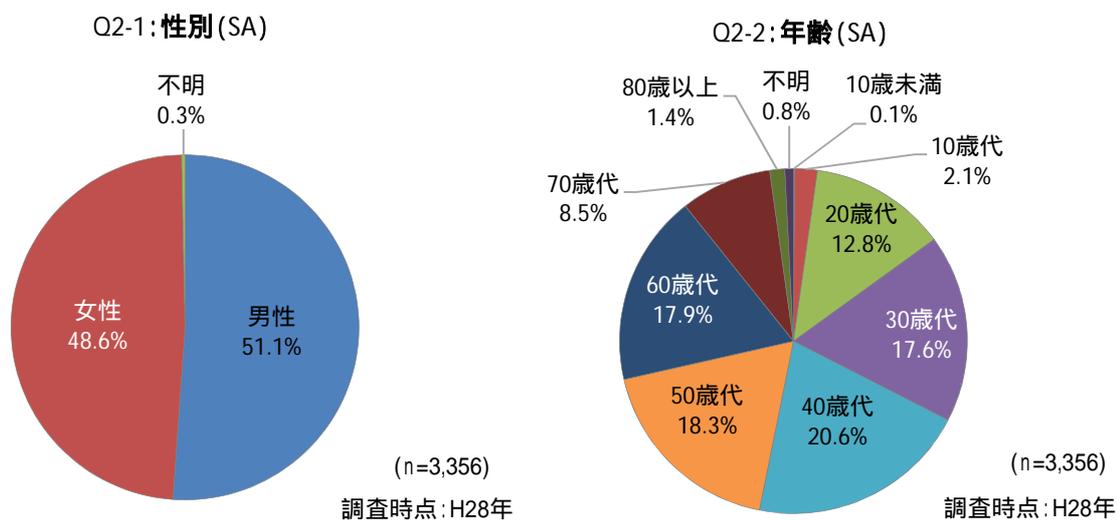
【季節対比】

カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	年間 (%ベース)
東京	35.6%	29.4%	29.0%	24.4%	29.3%
神奈川	16.2%	12.9%	19.7%	14.0%	15.7%
静岡	13.0%	15.1%	10.4%	14.7%	13.2%
埼玉	9.9%	9.8%	9.5%	9.1%	9.6%
長野	10.6%	6.1%	5.2%	7.7%	7.3%
千葉	4.9%	8.1%	7.1%	6.3%	6.6%
東海(愛知・岐阜・三重)	3.2%	5.8%	6.5%	7.4%	5.8%
北関東(茨城・栃木・群馬)	4.0%	6.1%	3.8%	6.0%	5.0%
近畿以西	1.6%	4.7%	6.2%	6.3%	4.9%
北陸(新潟・富山・石川・福井)	1.1%	1.0%	1.7%	2.7%	1.7%
東北・北海道	0.0%	1.0%	0.9%	1.6%	0.9%

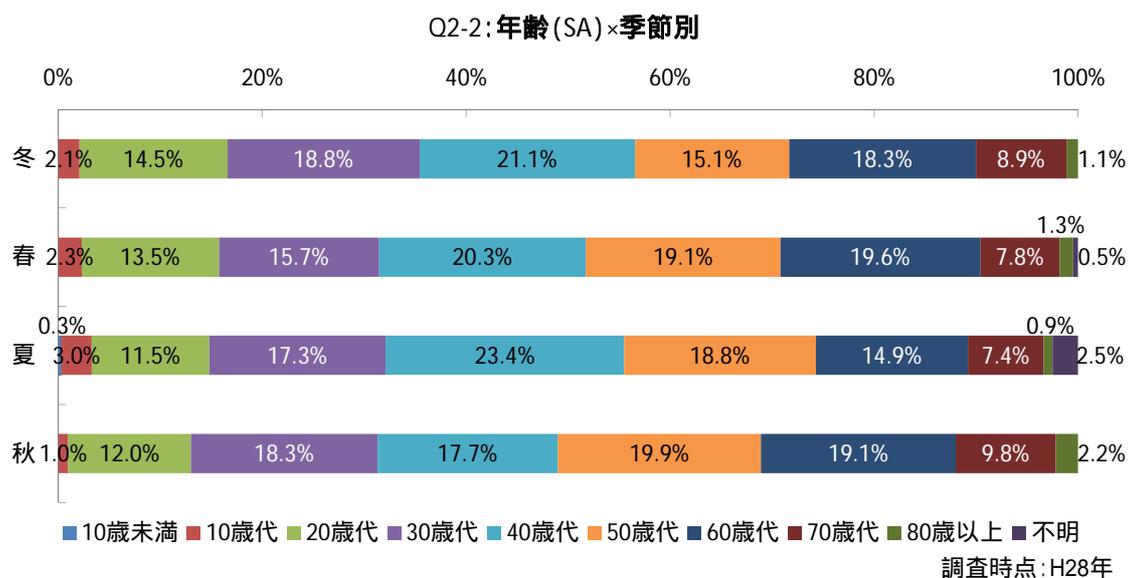
性別・年代別

アンケート回答者のうち、男性は51.1%、女性は48.6%である。

年齢層をみると、「40歳代」(20.6%)が最も多く、「50歳代」(18.3%)、「60歳代」(17.9%)、「30歳代」(17.6%)と続いている。



季節毎で見ると、冬・春・夏は「40歳代」、秋は「50歳代」の割合が最も高くなっている。

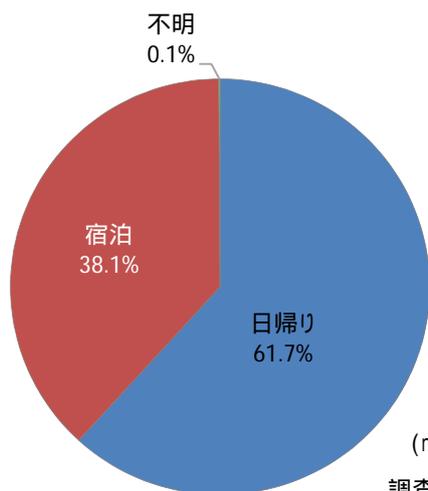


滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況は、「日帰り」が61.7%を占め、「宿泊」は38.1%となっている。

居住地別で見ると、県内は「日帰り」が96.3%を占めるのに対し、県外では46.6%、海外では61.7%が「宿泊」となっている。

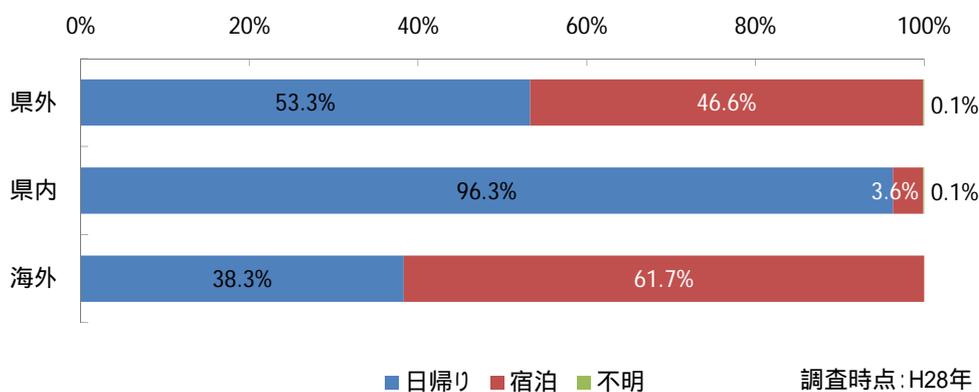
Q3-1: 滞在状況(日帰り、宿泊) (SA)



【前年対比】

カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
日帰り	61.7%	67.1%	5.4
宿泊	38.1%	32.8%	5.3
不明	0.1%	0.1%	0.0

Q3-1: 日帰りor宿泊(SA)×居住地別

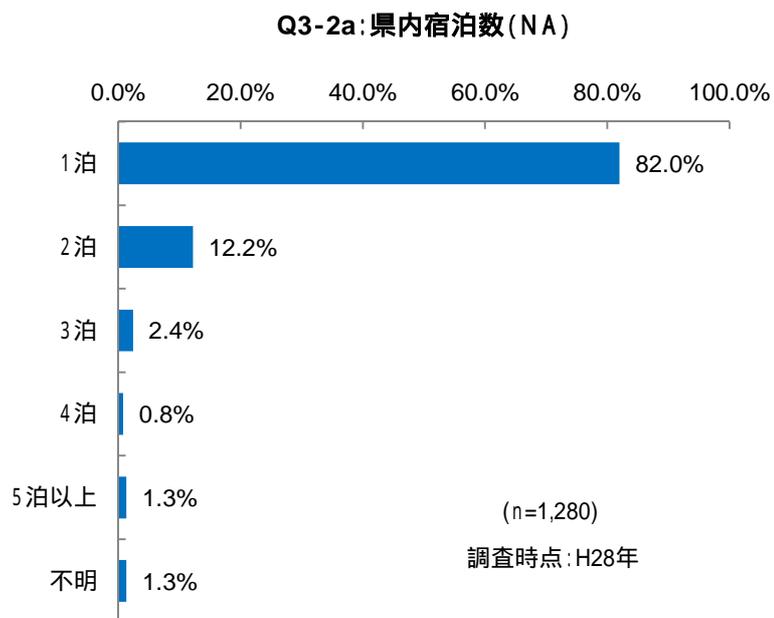


【居住地対比】

カテゴリ	県外 (%ベース)	県内 (%ベース)	海外 (%ベース)
日帰り	53.3%	96.3%	38.3%
宿泊	46.6%	3.6%	61.7%
不明	0.1%	0.1%	0.0%

宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」(82.0%)が最も高く、次いで「2泊」(12.2%)である。

前年調査と比較すると、「1泊」の割合が1.3ポイント増加し、「2泊」の割合が1.8ポイント減少した。



【前年対比】

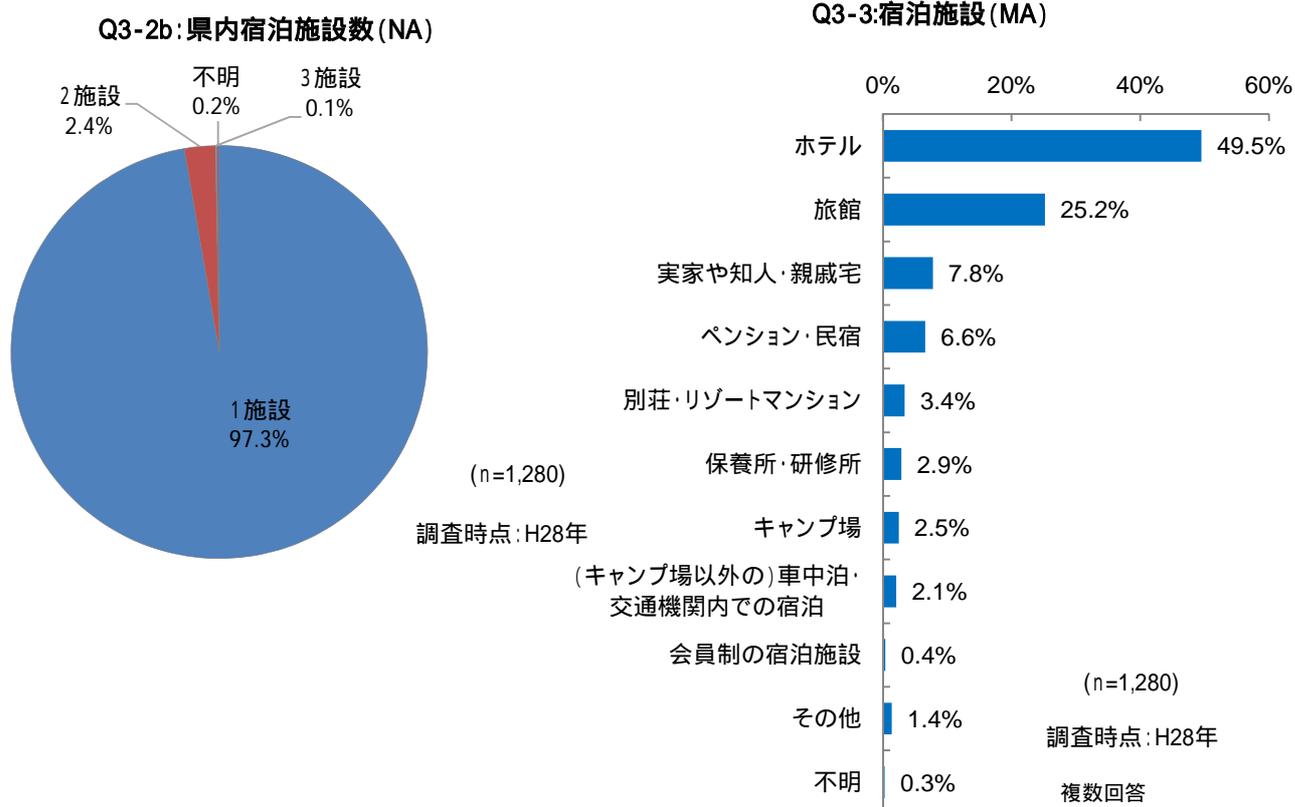
カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
1泊	82.0%	80.7%	1.3
2泊	12.2%	14.0%	1.8

10%以上を記載

宿泊施設

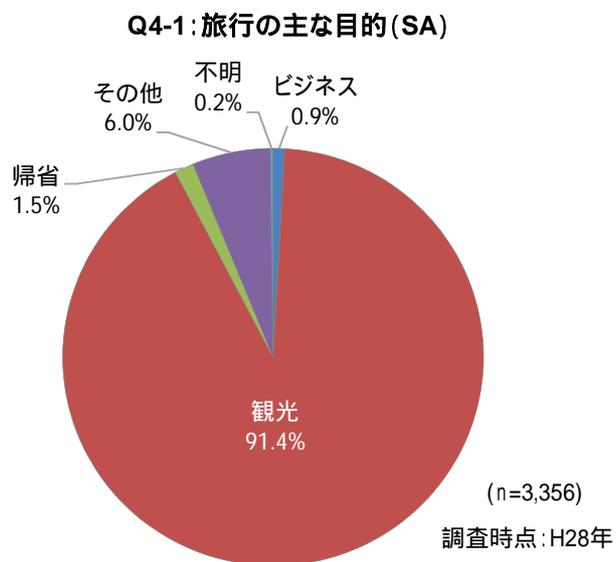
宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」が97.3%で大多数を占めている。

宿泊施設の種類は、「ホテル」(49.5%)が約半数を占め、次いで、「旅館」(25.2%)、「実家や知人・親戚宅」(7.8%)、「ペンション・民宿」(6.6%)の順となっている。前年調査と比較して、「旅館」の割合が3.7ポイント、「実家や知人・親戚宅」が2.0ポイント増加している。



旅行の主な目的

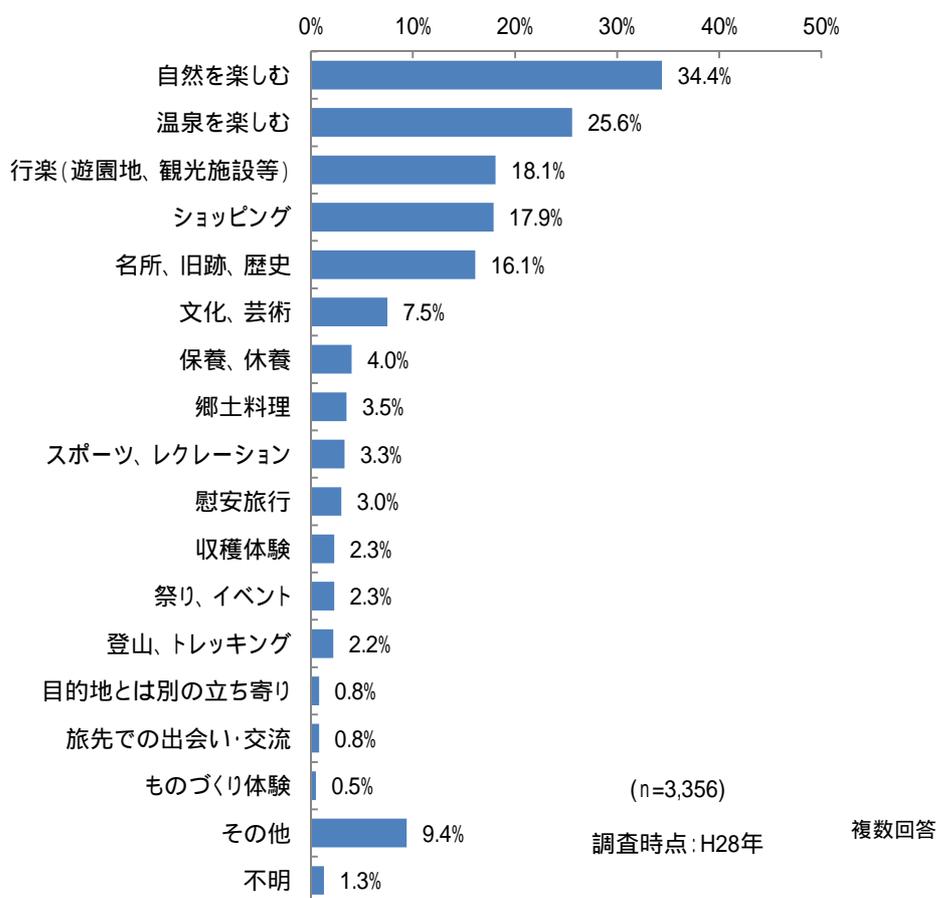
旅行の主な目的は、「観光」が91.4%を占める。また、「その他」(6.0%)の内容は「神社仏閣の参拝」や「ワイン」などである。



観光旅行の目的をみると、「自然を楽しむ」が 34.4%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(25.6%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(18.1%)、「ショッピング」(17.9%)となっている。

前年調査と比較すると、「行楽(遊園地、観光施設等)」の割合が「ショッピング」を上回り、3番目に高い割合となっているものの、1.1ポイント減少している。また、「温泉を楽しむ」が2.3ポイント増加し、「ショッピング」が4.6ポイント減少している。

Q4-2: 観光の主な目的(MA)



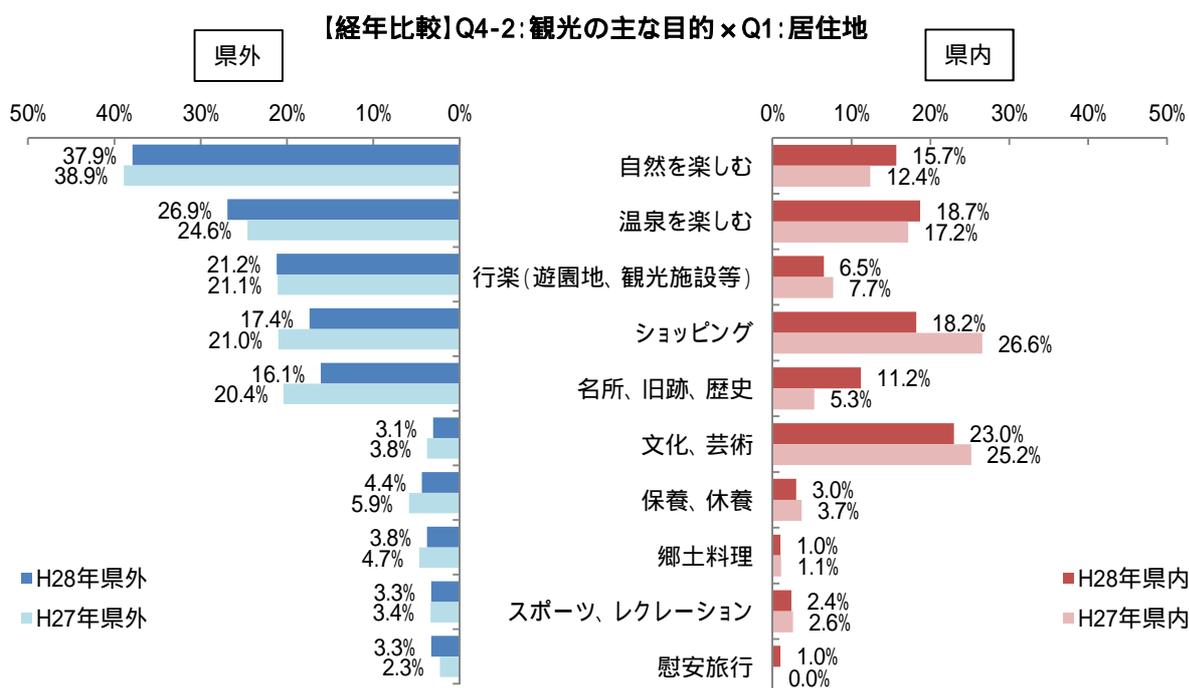
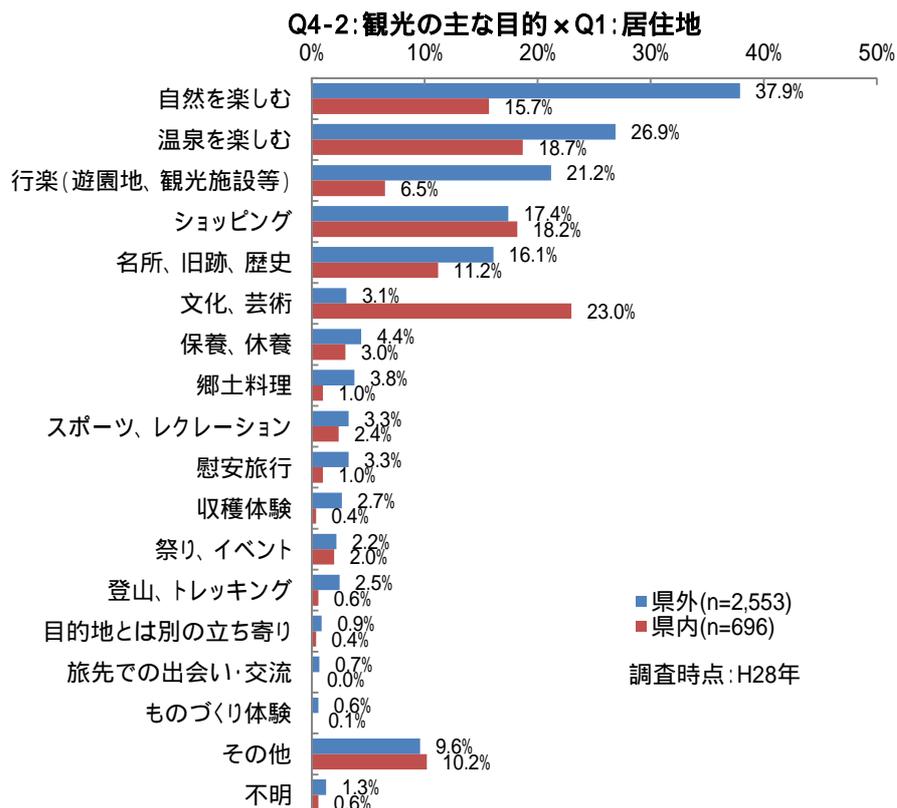
【季節対比・前年対比】

カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
自然を楽しむ	24.3%	39.9%	31.6%	41.5%	34.4%	34.5%	0.1
温泉を楽しむ	33.8%	21.3%	21.8%	25.5%	25.6%	23.3%	2.3
行楽(遊園地、観光施設等)	15.9%	16.3%	20.0%	19.8%	18.1%	19.2%	1.1
ショッピング	23.2%	16.5%	15.9%	16.2%	17.9%	22.5%	4.6
名所、旧跡、歴史	16.5%	17.6%	15.8%	14.6%	16.1%	18.7%	2.6
文化、芸術	8.1%	7.8%	6.5%	7.7%	7.5%	8.4%	0.9

全体で5%以上を掲載

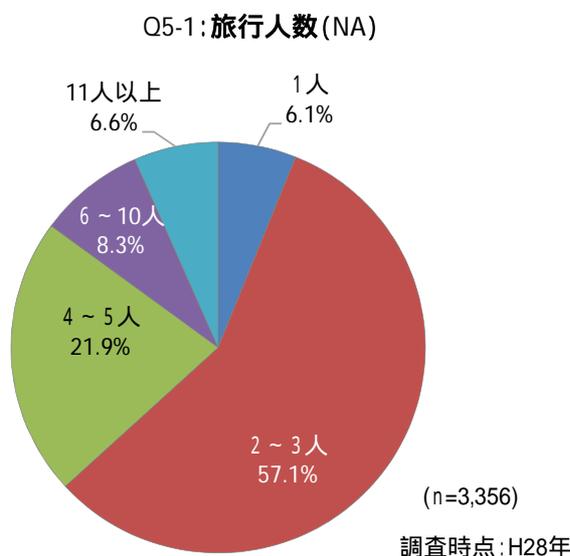
観光旅行の目的を居住地別にみると、県外客では「自然を楽しむ」(37.9%)が最も高く、次いで、「温泉を楽しむ」(26.9%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(21.2%)の順となっている。一方、県内客では「文化・芸術」が23.0%で最も高く、「温泉を楽しむ」(18.7%)、「ショッピング」(18.2%)が続いている。

前年調査と比較すると、県内客の「ショッピング」の割合が5ポイント以上減少している。



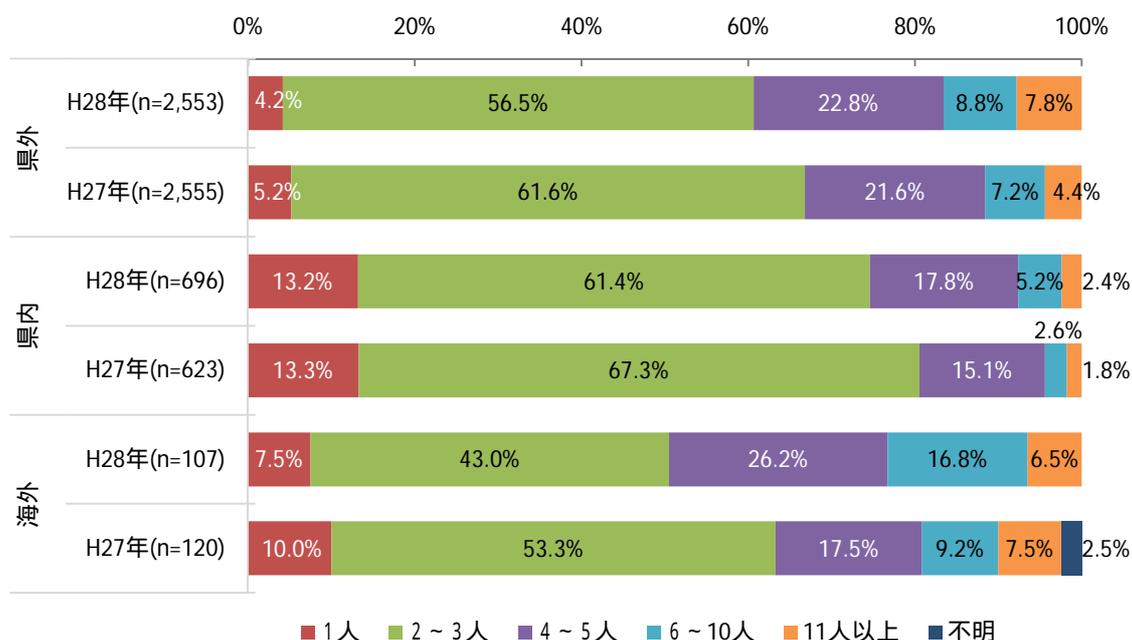
同行者

同行人数は、「2～3人」が57.1%と最も高く、次いで「4～5人」(21.9%)となっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が約8割を占めている。



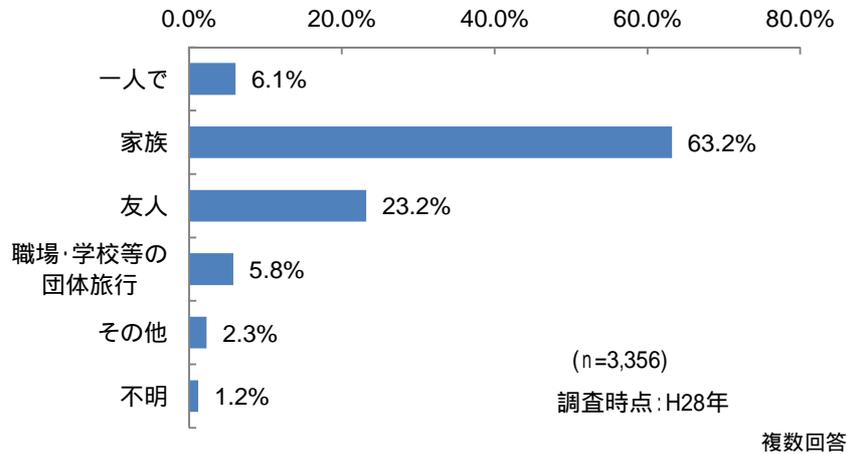
居住地別の旅行人数では、前年調査と同様に、県外・県内・海外いずれも「2～3人」のグループが最も多い傾向は変わらなかったが、海外については「4～5人」「6～10人」のグループの割合が、他に比べて多くなっている。

【経年比較】 Q5-1: 旅行人数×Q1: 居住地



同行者は「家族」が63.2%で最も高く、次いで「友人」(23.2%)となっている。
 前年調査と比較すると、「家族」が1.1ポイント減少し、「職場・学校等の団体旅行」
 が2.0ポイント増加している。

Q5-2: 誰と来たか(MA)

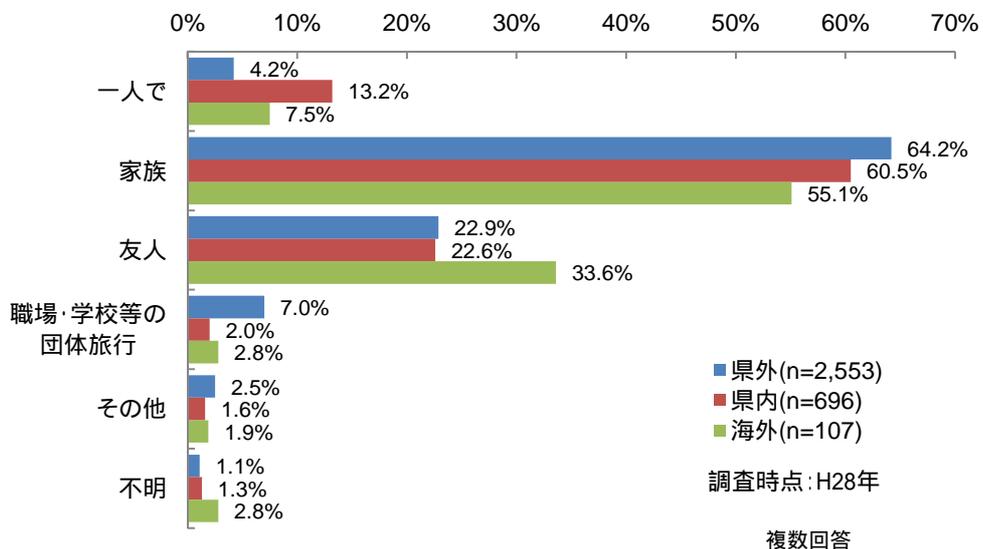


【前年対比】

カテゴリー	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
一人で	6.1%	6.9%	0.8
家族	63.2%	64.3%	1.1
友人	23.2%	24.0%	0.8
職場・学校等の団体旅行	5.8%	3.8%	2.0
その他	2.3%	1.0%	1.3
不明	1.2%	0.7%	0.5

居住地別でみると、県内外は概ね同様の傾向となっているものの、海外では県内外と比較して「友人」が30%台と高くなっている。また、県内で「一人で」が1割程度みられる。

Q5-2: 誰と来たか × Q1: 居住地



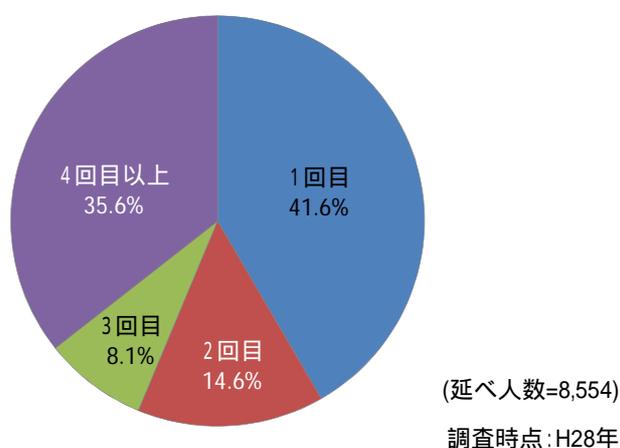
今いる観光地への訪問回数（同行者含む）

同行者全員の観光地への訪問回数を知っていると回答した2,518人（75.0%）について、回答した方と同行者も含めた「今いる観光地」への訪問回数をみると、「1回目」（41.6%）、「4回目以上」（35.6%）の順で高い割合となっている。

季節毎にみても、冬は「4回目以上」の割合が最も高く、春以降は「1回目」の割合が最も高くなっている。

前年調査と比較すると、「1回目」が3.2ポイント減少し、「2回目」が2.5ポイント増加している。

Q6: 観光地への訪問回数(同行者を含む) (NA)



【季節対比・前年対比】

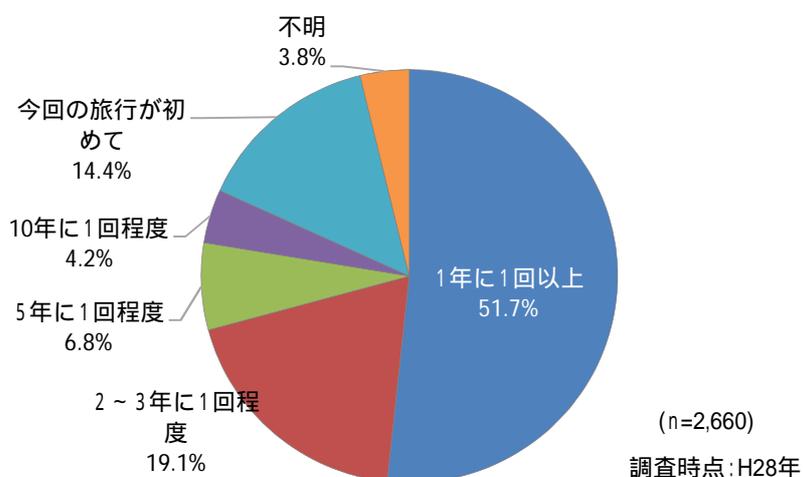
カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
1回目	38.2%	41.6%	41.6%	44.8%	41.6%	44.8%	3.2
2回目	11.1%	15.1%	15.1%	16.5%	14.6%	12.1%	2.5
3回目	6.0%	7.6%	9.4%	9.2%	8.1%	6.1%	2.0
4回目以上	44.8%	35.7%	33.9%	29.6%	35.6%	37.0%	1.4

県外客の山梨への訪問頻度

県外客が山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が51.7%で最も高く、次いで「2～3年に1回程度」(19.1%)、「今回の旅行が初めて」(14.4%)、「5年に1回程度」(6.8%)と続いている。

また、前年調査と比較すると、「今回の旅行が初めて」が4.9ポイント増加しているが、「1年に1回以上」が4.9ポイント減少している。

Q7-1: 来県頻度(県外・海外の方)(SA)



【前年対比】

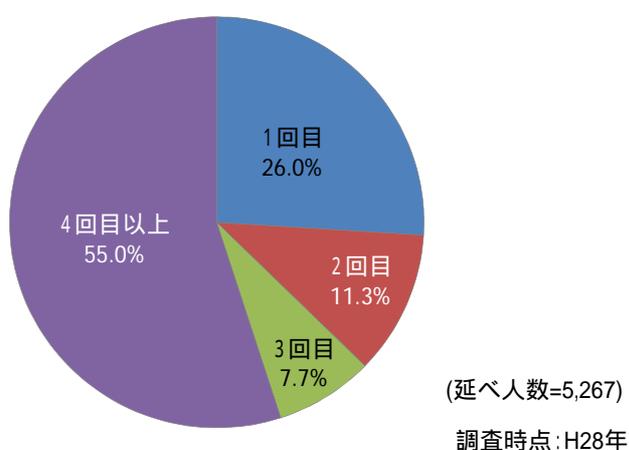
カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
1年に1回以上	51.7%	56.6%	4.9
2～3年に1回程度	19.1%	19.1%	0.0
5年に1回程度	6.8%	8.3%	1.5
10年に1回程度	4.2%	4.3%	0.1
今回の旅行が初めて	14.4%	9.5%	4.9
不明	3.8%	2.2%	1.6

同行者の本県への訪問回数

同行者全員の山梨県への訪問回数を知っていると回答した 1,597 人（県外居住者の 60.0%）について、回答した人と同行者も含めた山梨県への訪問回数をみると、「4 回目以上」が 55.0%と最も高く、次いで「1 回目」（26.0%）となっている。

季節毎では、1 年を通して「4 回目以上」が最も比率が高く、冬は 76.2%と特に高い割合になっている。

Q7-2: 来県回数(県外・海外の方)(NA)



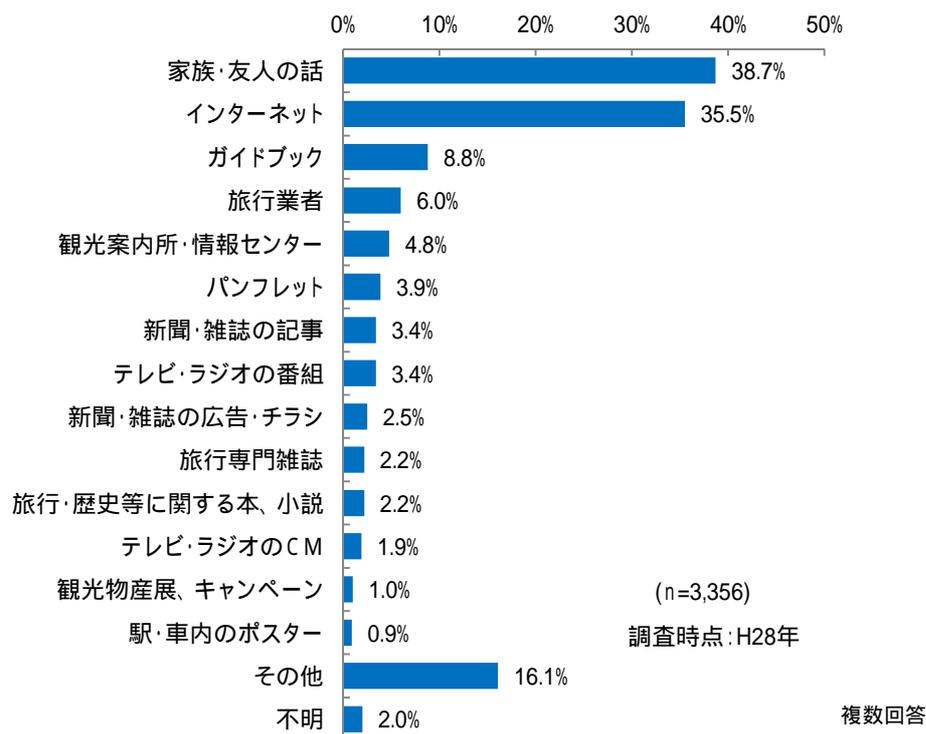
【季節対比・前年対比】

カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
1回目	12.1%	30.1%	29.0%	31.2%	26.0%	13.9%	12.1
2回目	6.4%	11.7%	12.4%	14.1%	11.3%	6.3%	5.0
3回目	5.4%	7.8%	11.1%	5.9%	7.7%	5.8%	1.9
4回目以上	76.2%	50.4%	47.5%	48.8%	55.0%	74.0%	19.0

旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が38.7%で最も高く、次いで「インターネット」(35.5%)、「ガイドブック」(8.8%)と続いている。また、「その他」が16.1%となっているが、これは訪問地を以前から知っていたという回答が多数を占めている。

Q8:旅行の参考にしたもの(MA)



【前年対比】

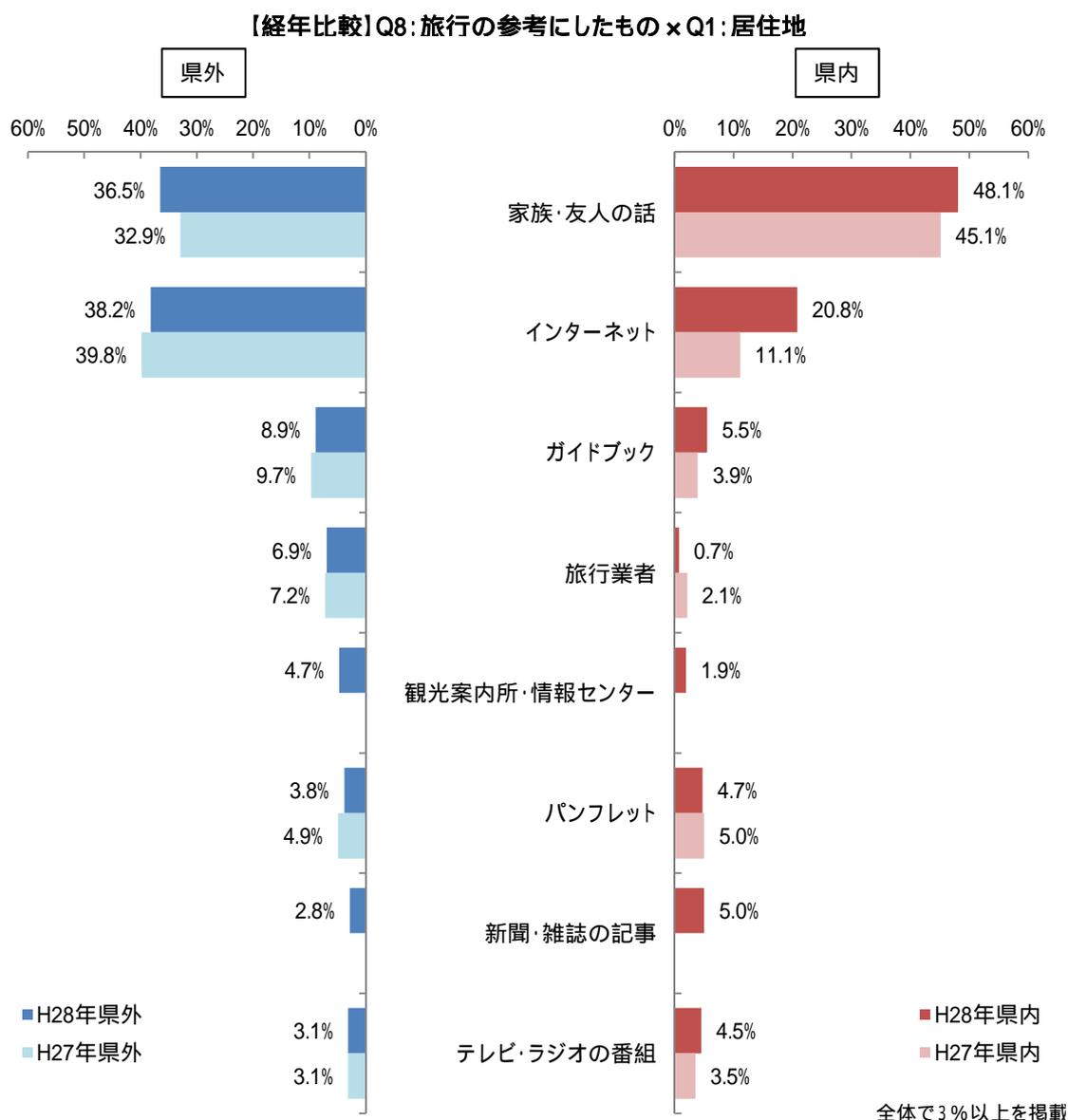
カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
家族・友人の話	38.7%	35.4%	3.3
インターネット	35.5%	35.1%	0.4
ガイドブック	8.8%	9.2%	0.4
旅行者	6.0%	6.5%	0.5
観光案内所・情報センター	4.8%	2.5%	2.3
パンフレット	3.9%	5.0%	1.1
新聞・雑誌の記事	3.4%	1.9%	1.5
テレビ・ラジオの番組	3.4%	3.3%	0.1

3%以上を掲載

旅行計画の参考資料を居住地別にみると、県外では「インターネット」(38.2%)が最も高く、次いで「家族・友人の話」(36.5%)、「ガイドブック」(8.9%)と続いている。

一方、県内では「家族・友人の話」(48.1%)が最も高くなっており、前年調査と比較すると、3.0ポイント増加している。

なお、前年の調査では全体で3%以上のみ掲載していたため、の項目は比較対象外となっている。



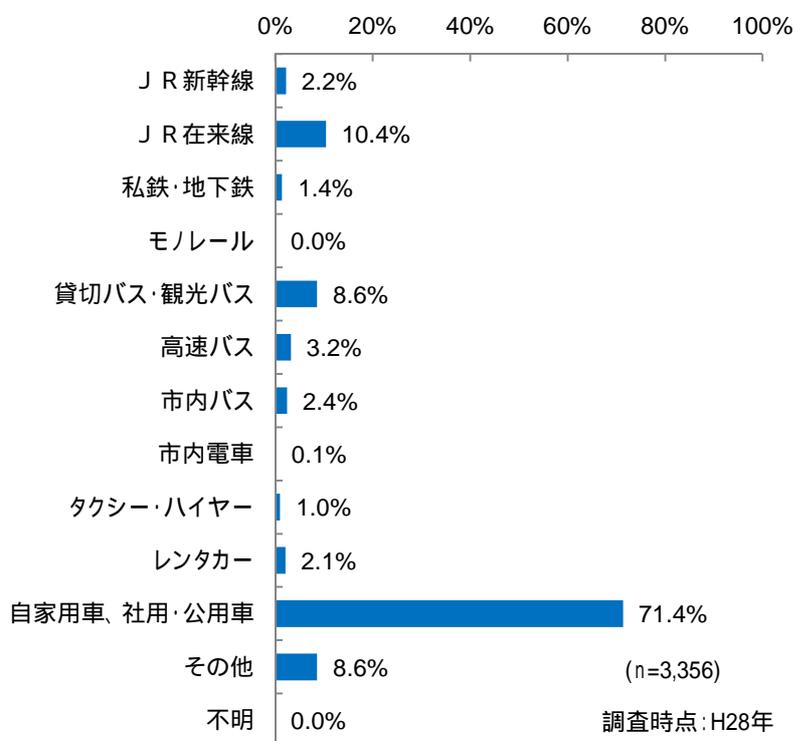
交通手段

県内観光の際に利用した交通手段は、「自家用車、社用・公用車」の割合が最も高く、7割以上を占めており、次いで「JR在来線」(10.4%)、「貸切バス・観光バス」(8.6%)となっている。

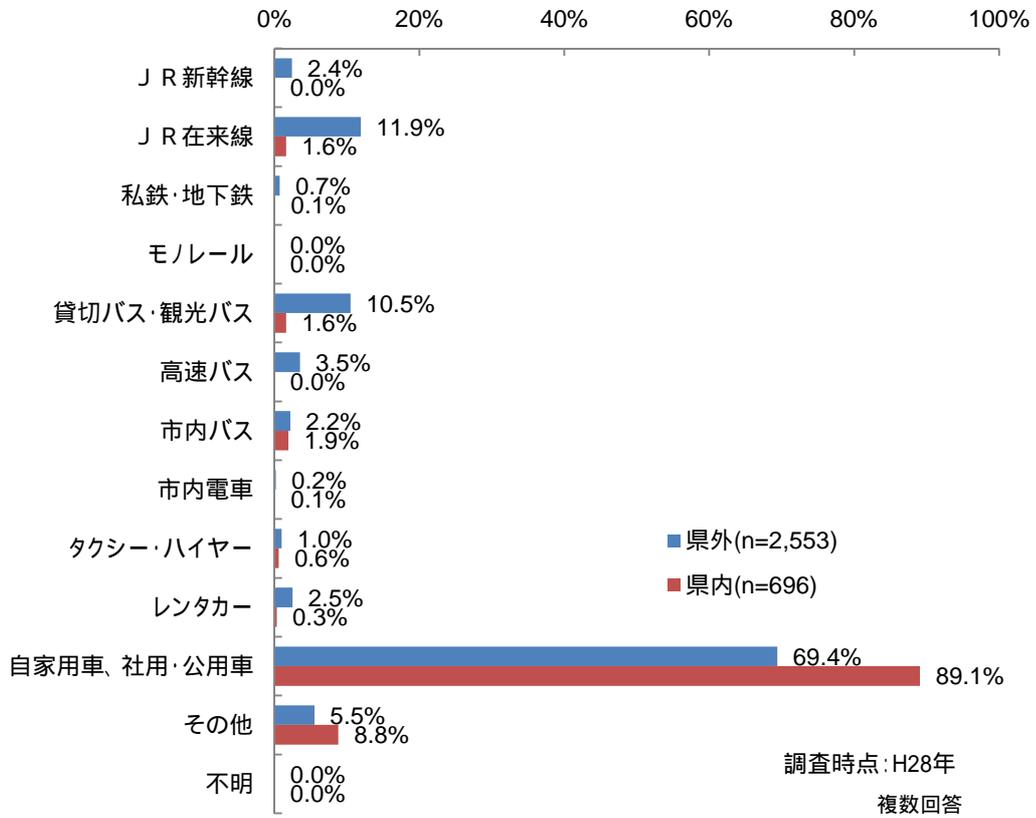
居住地別に見ると、県外は県内に比べて「自家用車、社用・公用車」の割合が低く、「JR在来線」、「貸切バス・観光バス」などの割合が高い。

また、前年調査と比較したところ大きな差は見られなかった。

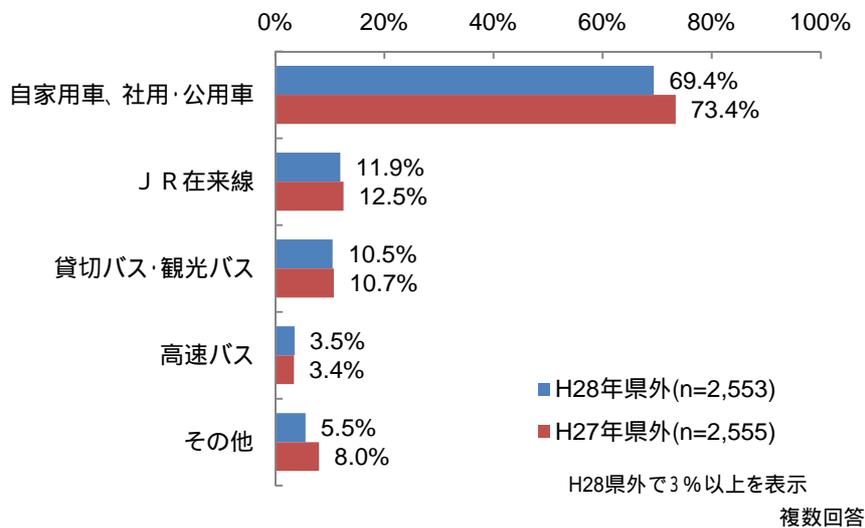
Q9-1(b)：利用交通機関(県内観光)(MA)



Q9-1(b) : 利用交通機関(県内観光) × Q1 : 居住地



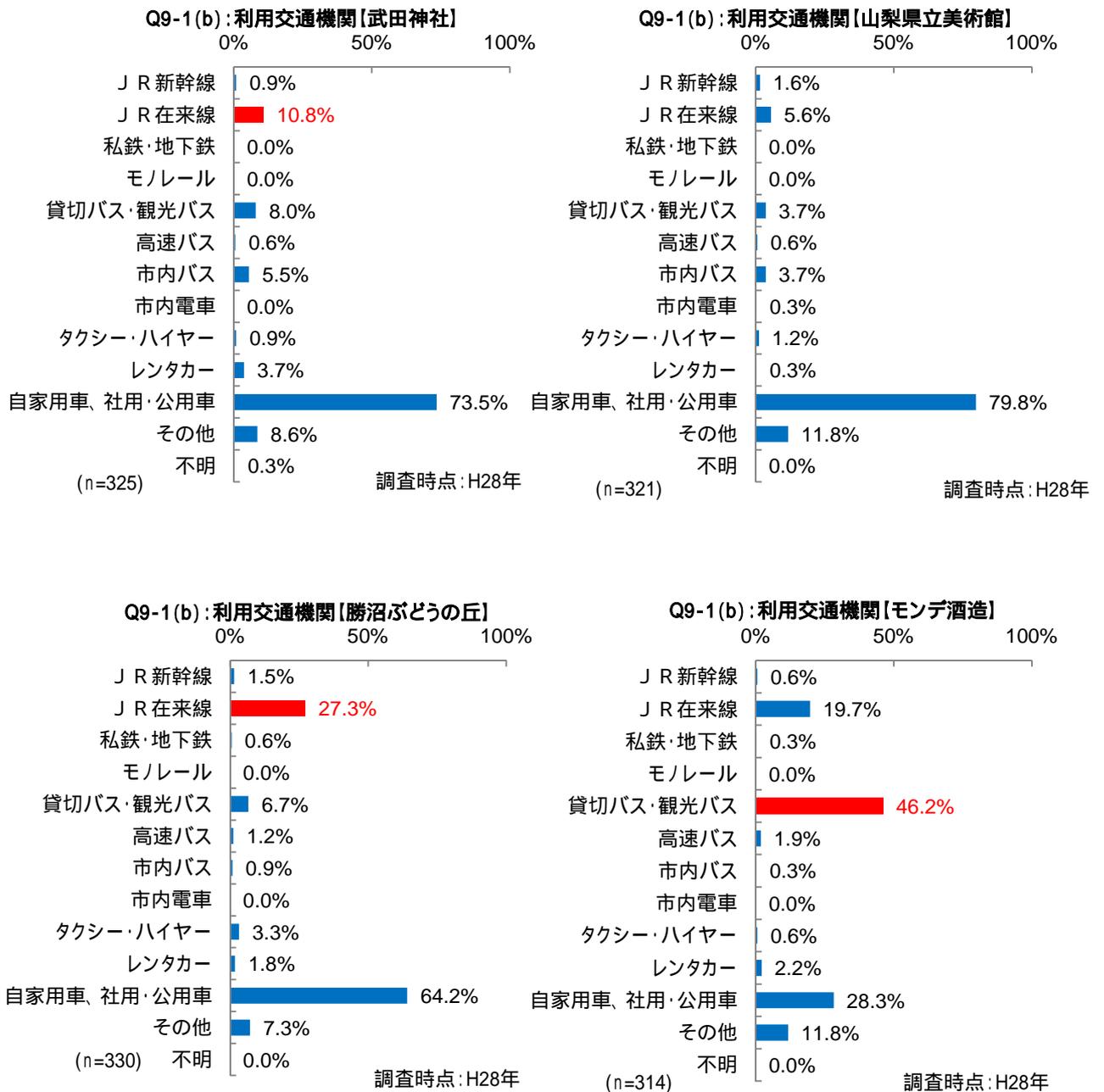
【経年比較】Q9-1(b) : 利用交通機関(県内観光) (県外) (MA)



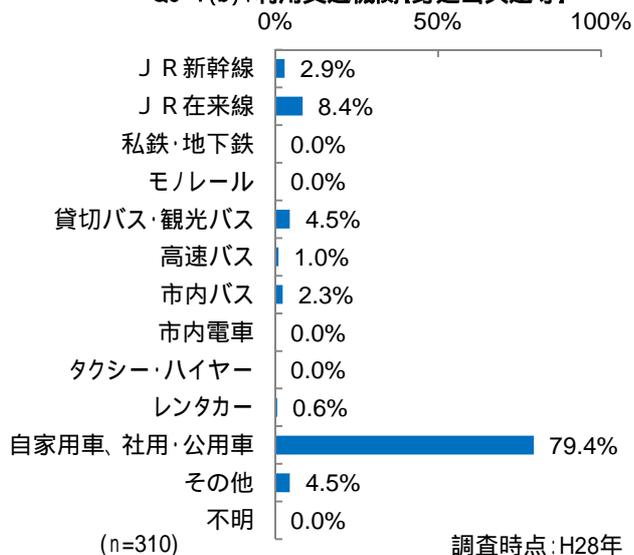
地点別では、「みはらしの丘みたまの湯」、「ハヶ岳リゾートアウトレット」では、「自家用車、社用・公用車」が9割以上を占めており、公共交通機関の利用はほとんど見られない。

一方、「武田神社」「勝沼ぶどうの丘」「カチカチ山ロープウェイ」では「JR在来線」、「富士急ハイランド」では「高速バス」などの利用が比較的高い。

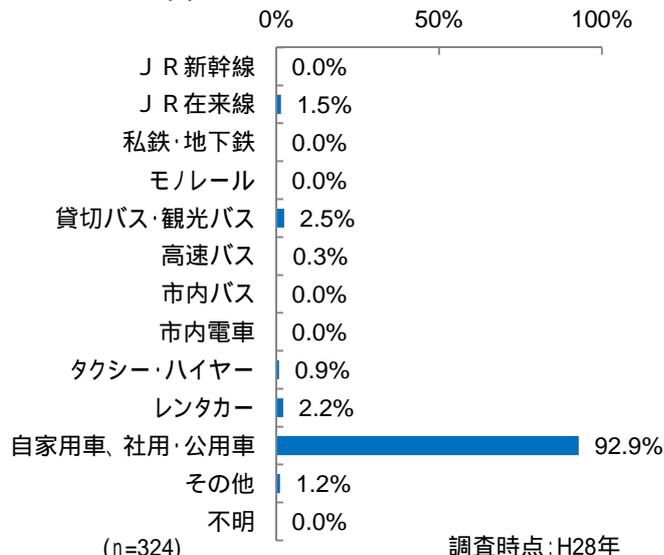
なお、「モンデ酒造」では「貸切バス・観光バス」の利用が約5割を占めており、団体バス旅行が有力顧客層を形成している状況が伺える。



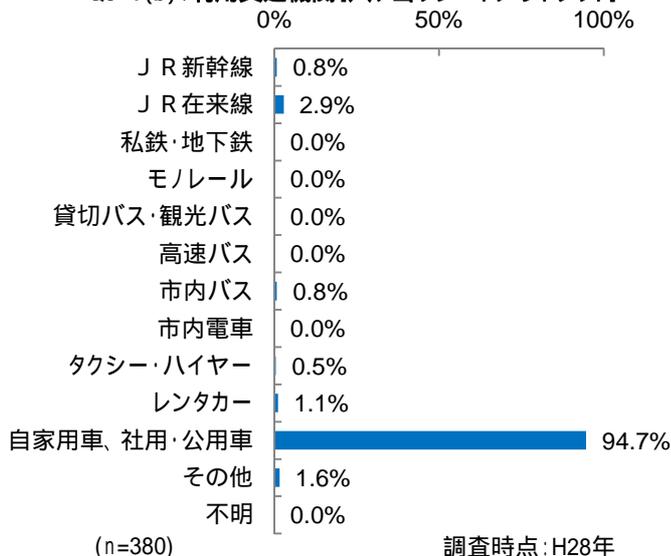
Q9-1(b) : 利用交通機関【身延山久遠寺】



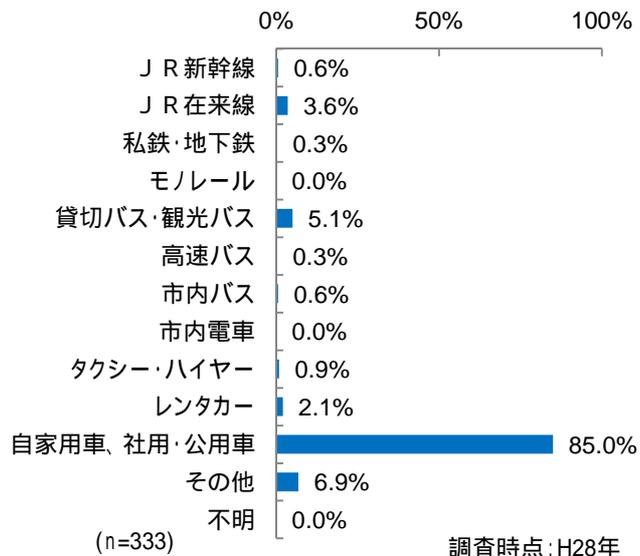
Q9-1(b) : 利用交通機関【みはらしの丘みたまの湯】



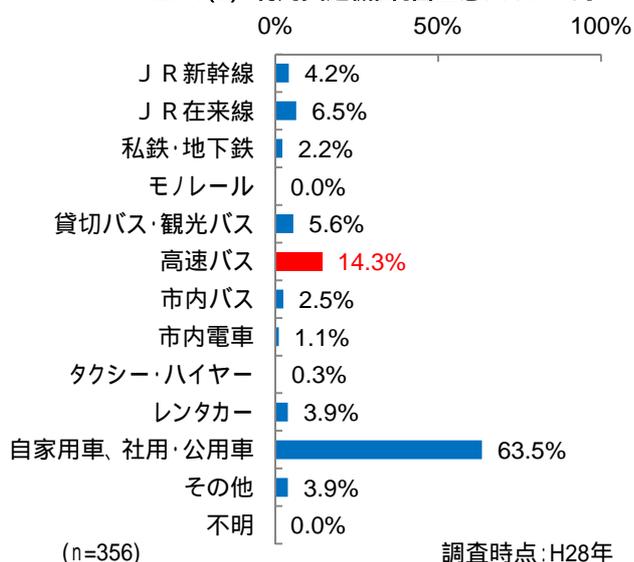
Q9-1(b) : 利用交通機関【ハヶ岳リゾートアウトレット】



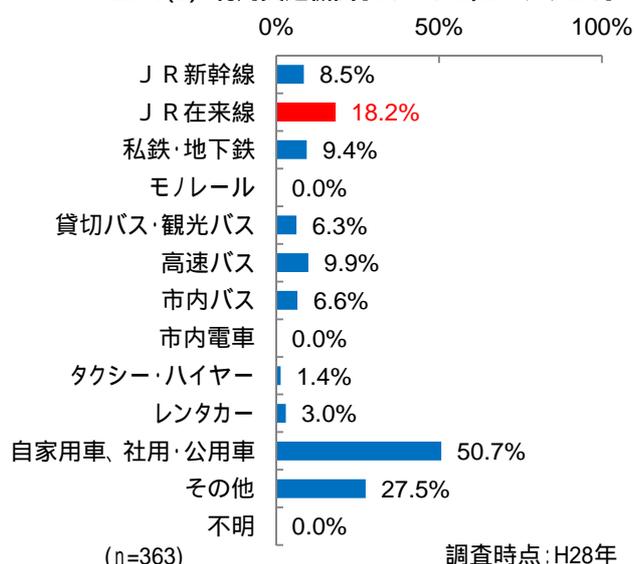
Q9-1(b) : 利用交通機関【道の駅こぶちさわ】



Q9-1(b) : 利用交通機関【富士急ハイランド】



Q9-1(b) : 利用交通機関【カチカチ山ロープウェイ】



県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「パック旅行以外の個人・団体旅行客」と「パック旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

また、パック旅行以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の3つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

A. パック旅行以外の個人・団体旅行客

県外宿泊客、県外及び県内日帰り客別の一人当たり平均観光消費額は、「県外宿泊客」が24,842円、「県外日帰り客」が9,462円、「県内日帰り客」が4,799円となり、全体の平均消費額は、宿泊が25,113円、日帰りが7,804円だった。

季節別にみると、県外客は宿泊では冬、日帰りでは夏で消費額が高くなっている。

前年調査と比較すると、宿泊全体の消費額、日帰り客の消費額ともに減少し、観光全体の消費額もやや減少した。

消費額全体の内訳をみると、「県外宿泊客」は3万円以上が28.7%、2万円以上では62.8%を占めている。「県外日帰り客」は5千円以上～2万円未満が69.7%、「県内日帰り客」は1千円以上3千円未満を中心に1万円未満までで83.4%（「なし」を除く）を占めている。

(単位:円)

属性		冬	春	夏	秋	H28年	H27年
宿泊	県外客	25,478	24,223	25,018	24,623	24,842	26,957
	県内客	26,056	24,858	25,158	24,473	25,113	27,330
日帰り	県外客	9,192	9,514	9,865	9,341	9,462	9,337
	県内客	5,766	4,162	4,606	4,492	4,799	4,786
		7,851	7,545	7,952	7,866	7,804	8,000
全体		13,710	13,725	15,646	14,121	14,317	14,448

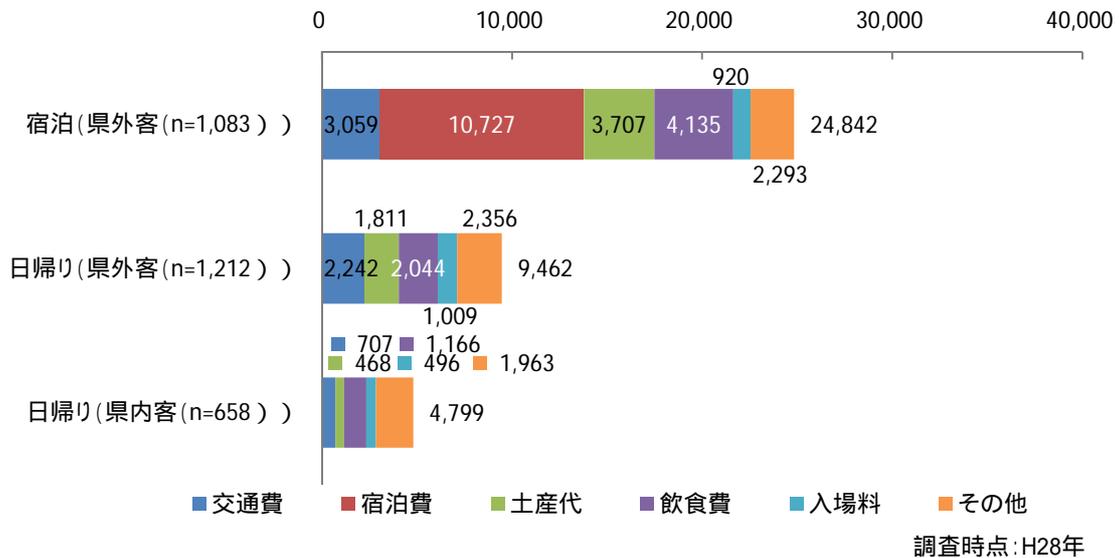
(単位:円)

調査時点: H28年			交通費 (県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費 (県外分)
宿泊	県外客 (n=1,083)	平均額	3,059	10,727	3,707	4,135	920	2,293	24,842	3,691
		中央値	2,500	10,000	3,000	3,000	0	0	18,500	2,000
	宿泊全体 (n=1,159)	平均額	3,106	10,823	3,674	4,282	953	2,274	25,113	4,180
		中央値	2,500	10,000	3,000	3,000	0	0	18,500	2,000
日帰り	県外客 (n=1,212)	平均額	2,242	0	1,811	2,044	1,009	2,356	9,462	1,920
		中央値	2,000	0	1,000	1,800	0	0	4,800	1,500
	県内客 (n=658)	平均額	707	0	468	1,166	496	1,963	4,799	21
		中央値	500	0	0	1,000	0	0	1,500	0
	日帰り全体 (n=1,903)	平均額	1,716	0	1,325	1,732	830	2,200	7,804	1,475
		中央値	1,200	0	0	1,500	0	0	2,700	150
全体 (n=3,062)	平均額	2,239	4,073	2,210	2,691	876	2,228	14,317	2,493	
	中央値	2,000	0	1,000	2,000	0	0	5,000	1,000	

全体には、海外客を含む
宿泊、日帰りの不明者およびパック利用者を除く

平均消費額

(単位:円)



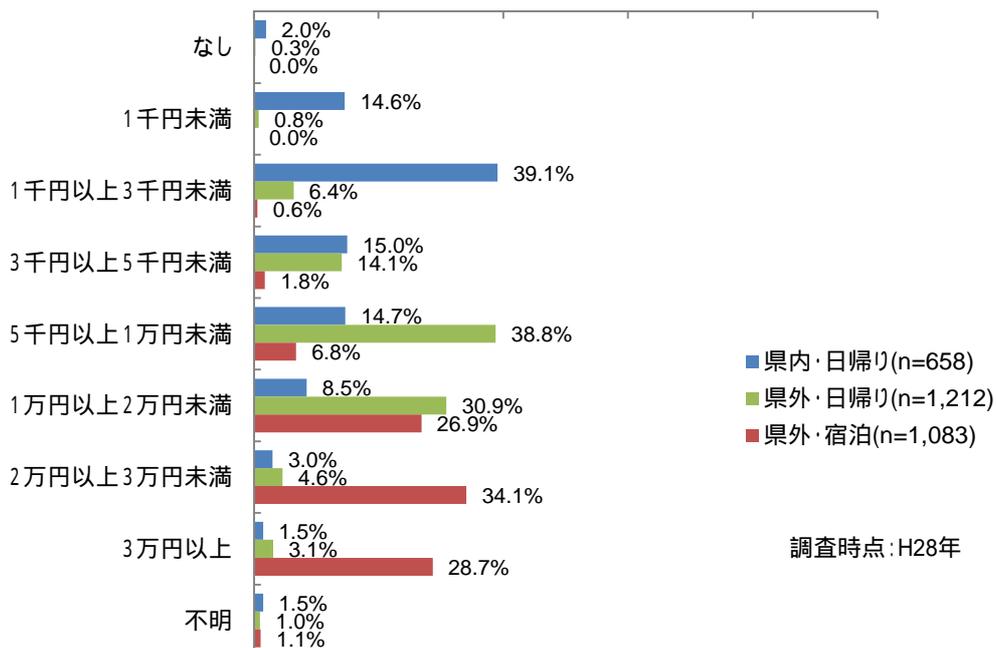
【前年対比】

カテゴリ	H28年	H27年	比較増減(円)	
宿泊全体	25,113	27,330	2,217	
日帰り	県外客	9,462	9,337	125
	県内客	4,799	4,786	13
	全体	7,804	8,000	196
観光全体	14,317	14,448	131	

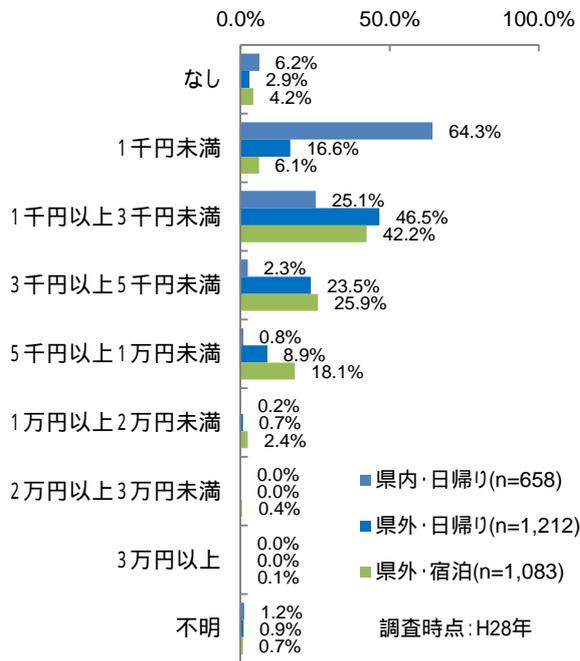
観光客が山梨県内で消費した金額の平均

Q10-1: 観光消費額【居住地/宿泊・日帰り別】

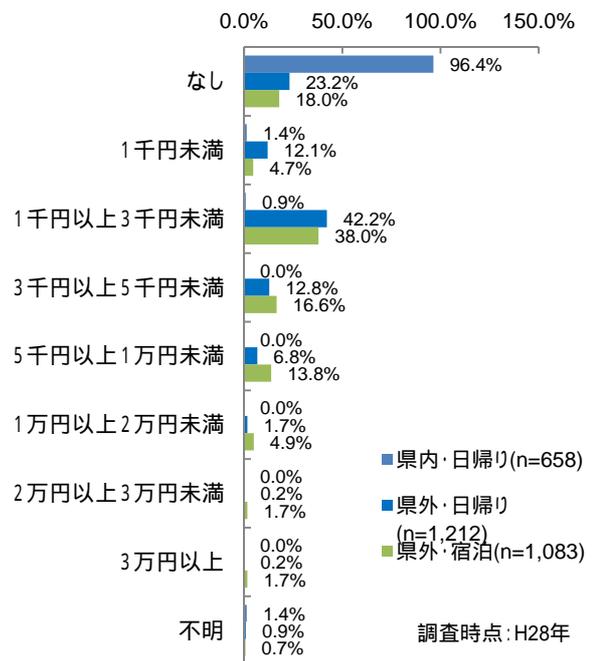
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



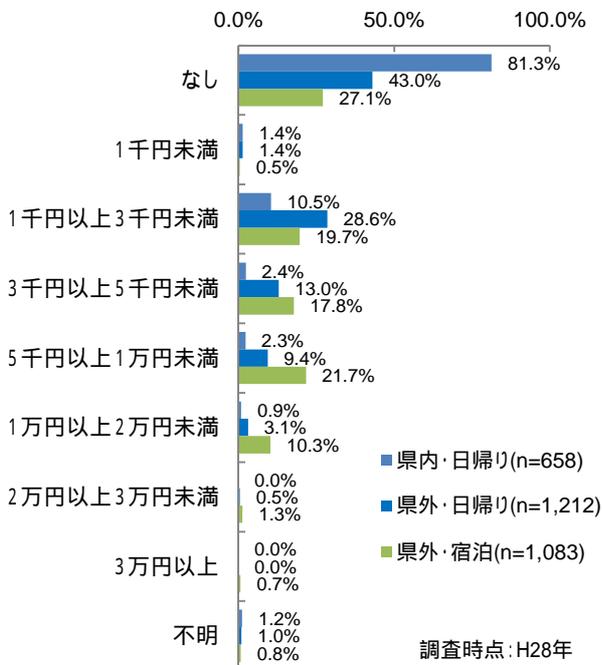
Q10-1 :交通費(県内)【居住地/宿泊・日帰り別】



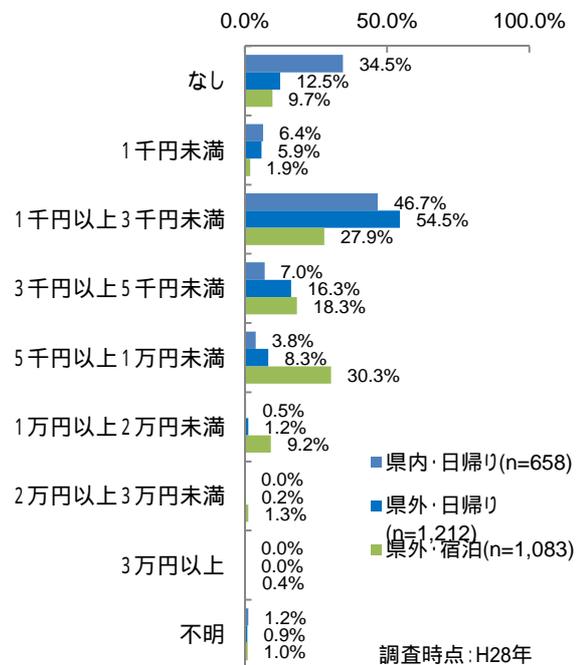
Q10-1 :交通費(県外)【居住地/宿泊・日帰り別】



Q10-1 :土産代【居住地/宿泊・日帰り別】



Q10-1 :飲食費【居住地/宿泊・日帰り別】



B. パック旅行者

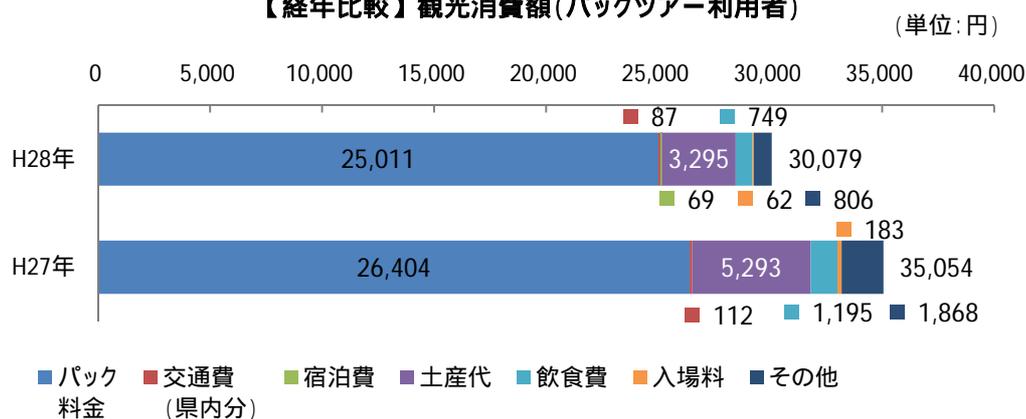
一人当たり平均観光消費額は、30,079 円であった。パック料金は「1万円未満」(34.1%)が最も高く、次いで、「1万円以上2万円未満」(27.9%)である。パック料金以外の消費額は「1万円未満」(80.3%)が大半を占めている。

前年調査と比較すると、「土産代」で約2千円、「その他」で約千円減少し、「宿泊費」以外の項目も若干の減少となったため、一人当たり平均観光消費額は5千円ほど減少した。

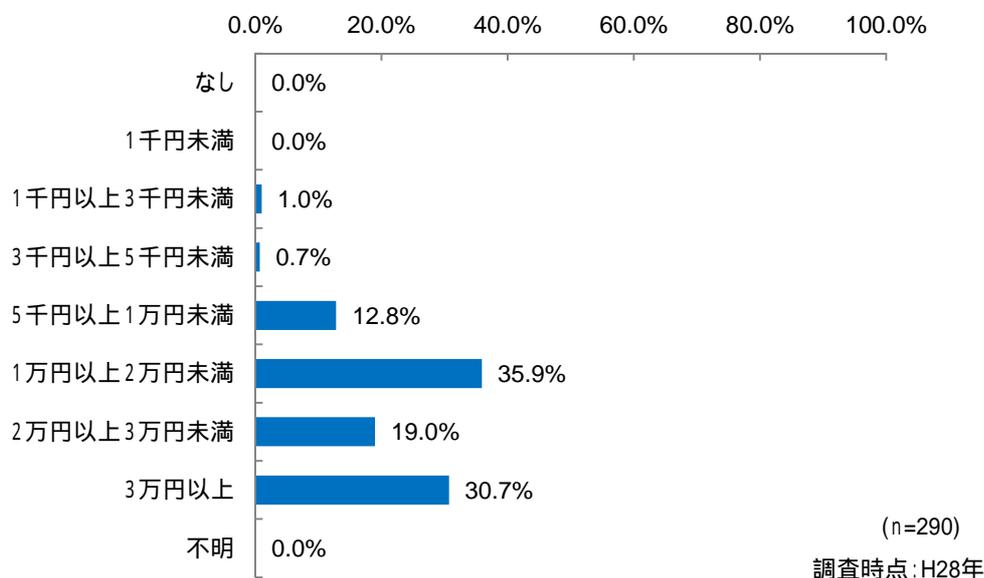
(単位:円)

調査時点:H28年	パック料金	交通費(県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費(県外分)	
全体	平均額	25,011	87	69	3,295	749	62	806	30,079	443
	中央値	14,000	0	0	2,000	0	0	0	16,000	0
(前年)	平均値	26,404	112	0	5,293	1,195	183	1,868	35,054	47

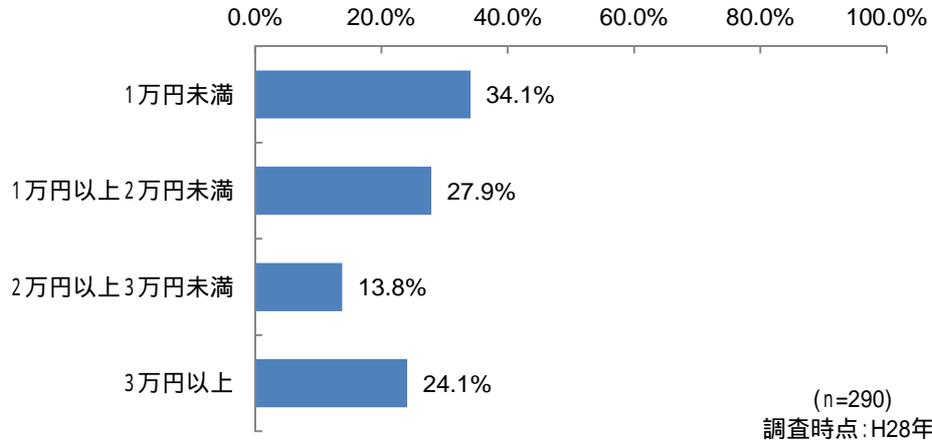
【経年比較】観光消費額(パックツアー利用者)



Q10-2:観光消費額合計(パックツアー利用者)



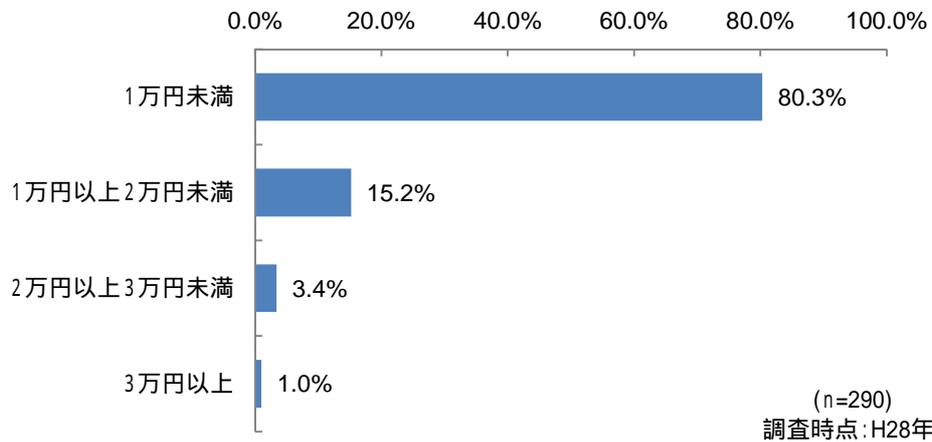
Q10-2:バック料金(バックツアー利用者)



【季節対比・前年対比】

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H28年	H27年
平均額(円)	13,265	30,253	24,600	24,611	25,011	26,404
1万円未満	36.4%	27.7%	38.9%	33.3%	34.1%	57.8%
1万円以上2万円未満	50.0%	23.1%	23.2%	30.6%	27.9%	18.6%
2万円以上3万円未満	13.6%	24.6%	12.6%	8.3%	13.8%	7.5%
3万円以上	0.0%	24.6%	25.3%	27.8%	24.1%	16.1%

Q10-2:バック料金以外の発生(バックツアー利用者)



【季節対比・前年対比】

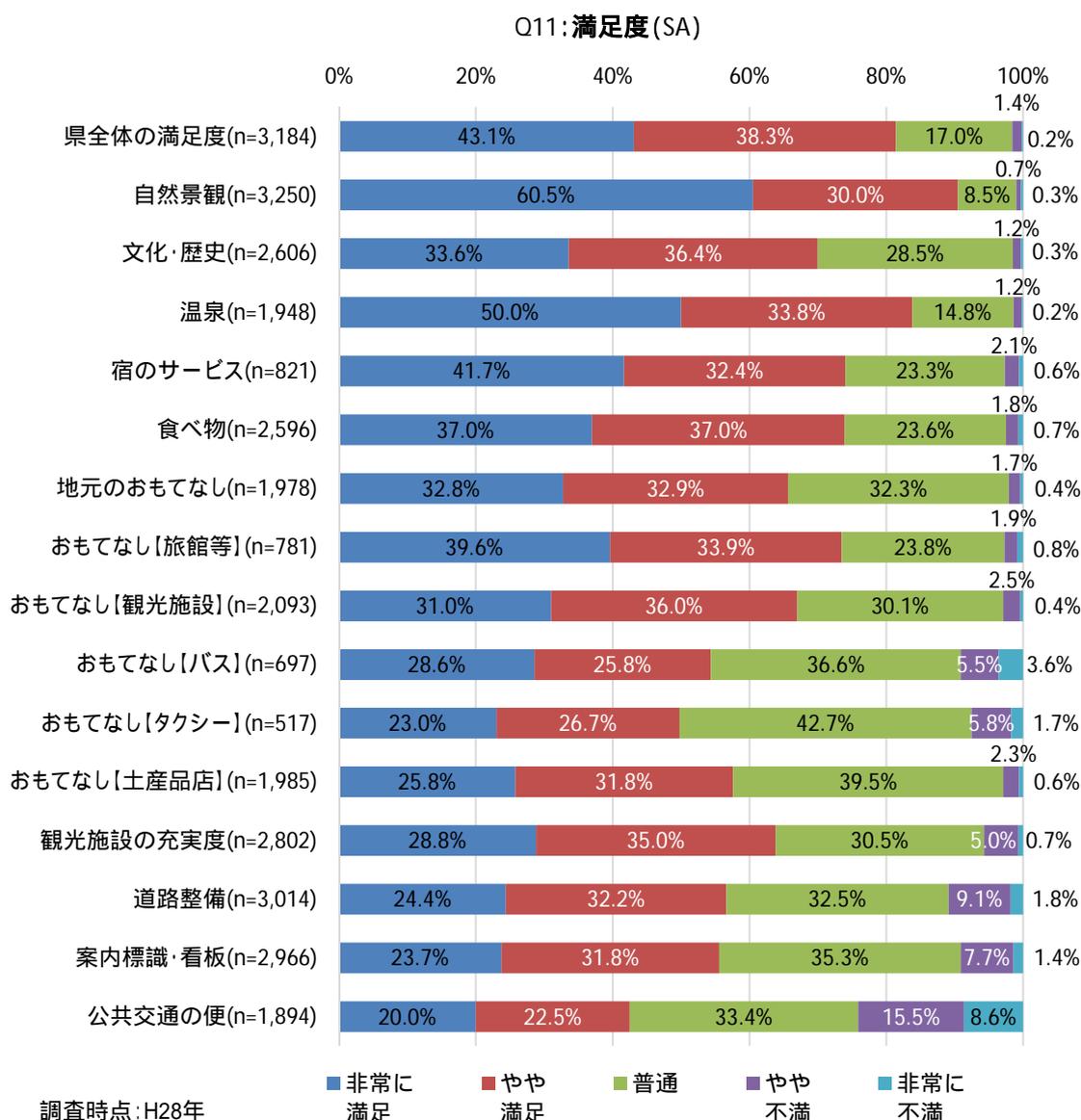
カテゴリ	冬	春	夏	秋	H28年	H27年
平均額(円)	6,205	7,319	4,780	3,756	5,068	8,650
1万円未満	81.8%	72.3%	82.1%	83.3%	80.3%	83.9%
1万円以上2万円未満	18.2%	20.0%	14.7%	12.0%	15.2%	11.6%
2万円以上3万円未満	0.0%	6.2%	2.1%	3.7%	3.4%	0.0%
3万円以上	0.0%	1.5%	1.1%	0.9%	1.0%	4.5%

満足度

今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは、個別項目では「自然景観」（90.5%）で、次いで「温泉」（83.8%）、「県全体の満足度」（81.4%）となっている。

一方、『不満』の割合（「非常に不満」または「やや不満」と回答した人の割合）が高いのは、「公共交通の便」（24.1%）、「道路整備」（10.9%）の順となった。

上記項目について前年調査と比較すると、「県全体の満足度」についての『満足』の割合は5ポイント以上減少している。一方、「道路整備」についての『不満』の割合は3ポイント以上増加している。



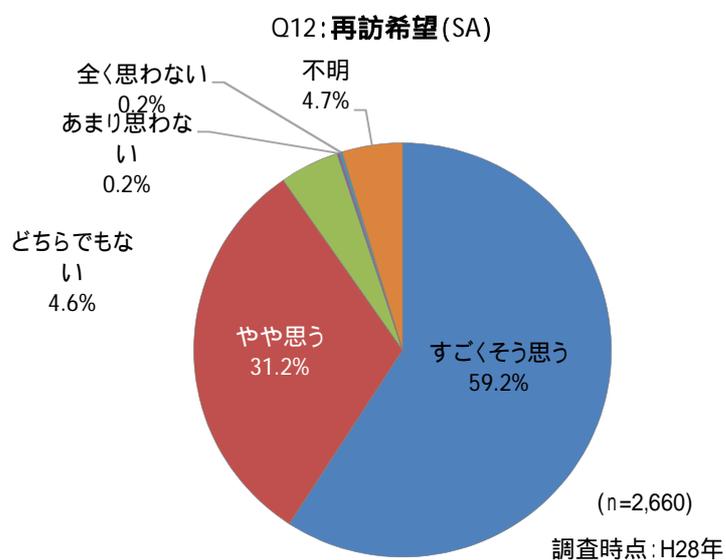
	満足			普通	不満		
		非常に満足	やや満足			やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=3,184)	81.4%	43.1%	38.3%	17.0%	1.6%	1.4%	0.2%
自然景観(n=3,250)	90.5%	60.5%	30.0%	8.5%	1.0%	0.7%	0.3%
文化・歴史(n=2,606)	70.0%	33.6%	36.4%	28.5%	1.5%	1.2%	0.3%
温泉(n=1,948)	83.8%	50.0%	33.8%	14.8%	1.4%	1.2%	0.2%
宿のサービス(n=821)	74.1%	41.7%	32.4%	23.3%	2.7%	2.1%	0.6%
食べ物(n=2,596)	74.0%	37.0%	37.0%	23.6%	2.5%	1.8%	0.7%
地元のおもてなし(n=1,978)	65.7%	32.8%	32.9%	32.3%	2.1%	1.7%	0.4%
おもてなし【旅館等】(n=781)	73.5%	39.6%	33.9%	23.8%	2.7%	1.9%	0.8%
おもてなし【観光施設】(n=2,093)	67.0%	31.0%	36.0%	30.1%	2.9%	2.5%	0.4%
おもてなし【バス】(n=697)	54.4%	28.6%	25.8%	36.6%	9.1%	5.5%	3.6%
おもてなし【タクシー】(n=517)	49.7%	23.0%	26.7%	42.7%	7.5%	5.8%	1.7%
おもてなし【土産品店】(n=1,985)	57.6%	25.8%	31.8%	39.5%	2.9%	2.3%	0.6%
観光施設の充実度(n=2,802)	63.8%	28.8%	35.0%	30.5%	5.7%	5.0%	0.7%
道路整備(n=3,014)	56.6%	24.4%	32.2%	32.5%	10.9%	9.1%	1.8%
案内標識・看板(n=2,966)	55.5%	23.7%	31.8%	35.3%	9.1%	7.7%	1.4%
公共交通の便(n=1,894)	42.5%	20.0%	22.5%	33.4%	24.1%	15.5%	8.6%

【前年対比】

カテゴリ	H28年 (%ベース)	H27年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
満足			
自然景観(n=3,250)	90.5%	92.8%	2.3
温泉(n=1,948)	83.8%	87.3%	3.5
県全体の満足度(n=3,184)	81.4%	86.5%	5.1
不満			
公共交通の便(n=1,894)	24.1%	28.5%	4.4
道路整備(n=3,014)	10.9%	7.3%	3.6

再訪希望

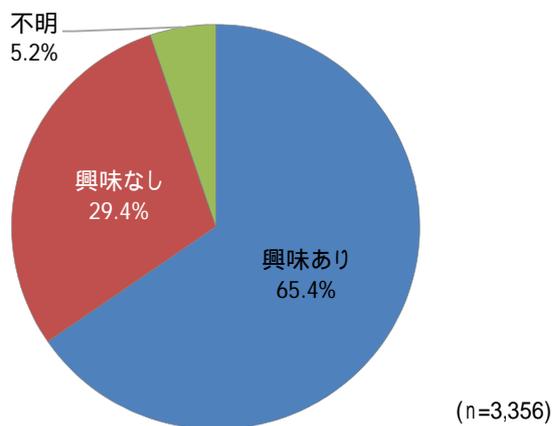
県外・海外からの観光客に山梨再訪の意向については、「すごくそう思う」(59.2%)、「やや思う」(31.2%)をあわせて90.4%を占めている。



ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味

ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味については、65.4%が「興味あり」と回答した。

Q13: ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味(SA)

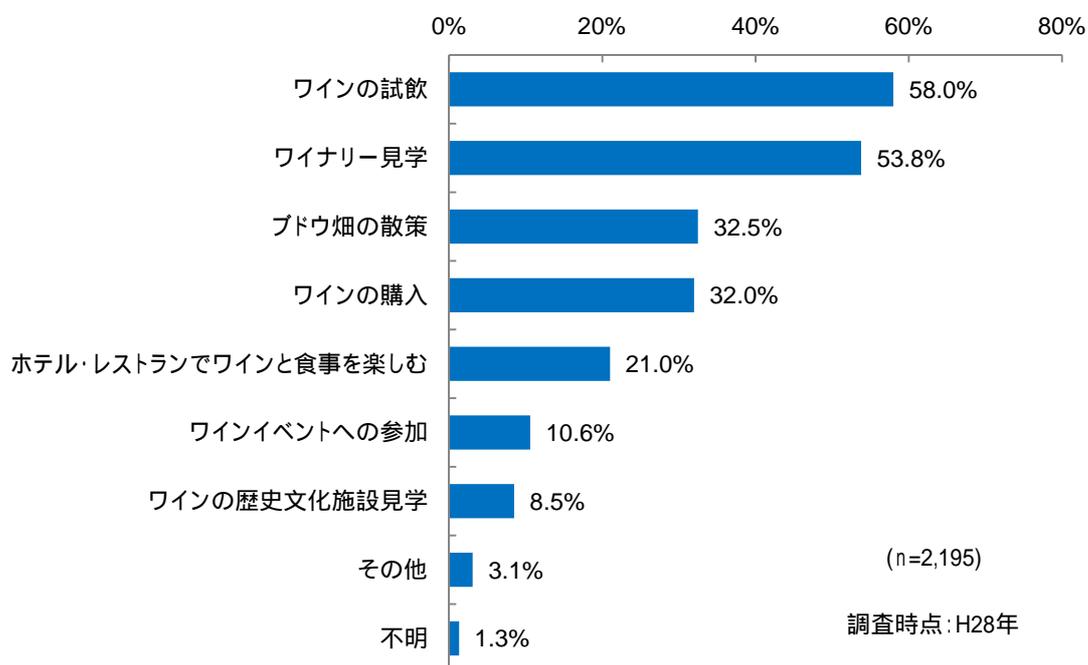


(n=3,356)
調査時点: H28年

どのようなことに興味がありますか

ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅に興味ありと答えた人に、具体的にどのようなことに興味があるかをたずねたところ、「ワインの試飲」が 58.0%と最も高く、次いで「ワイナリー見学」(53.8%)、「ブドウ畑の散策」(32.5%)、「ワインの購入」(32.0%)、「ホテル・レストランでワインと食事を楽しむ」(21.0%)と続いている。

Q14: どのようなことに興味がありますか(MA)



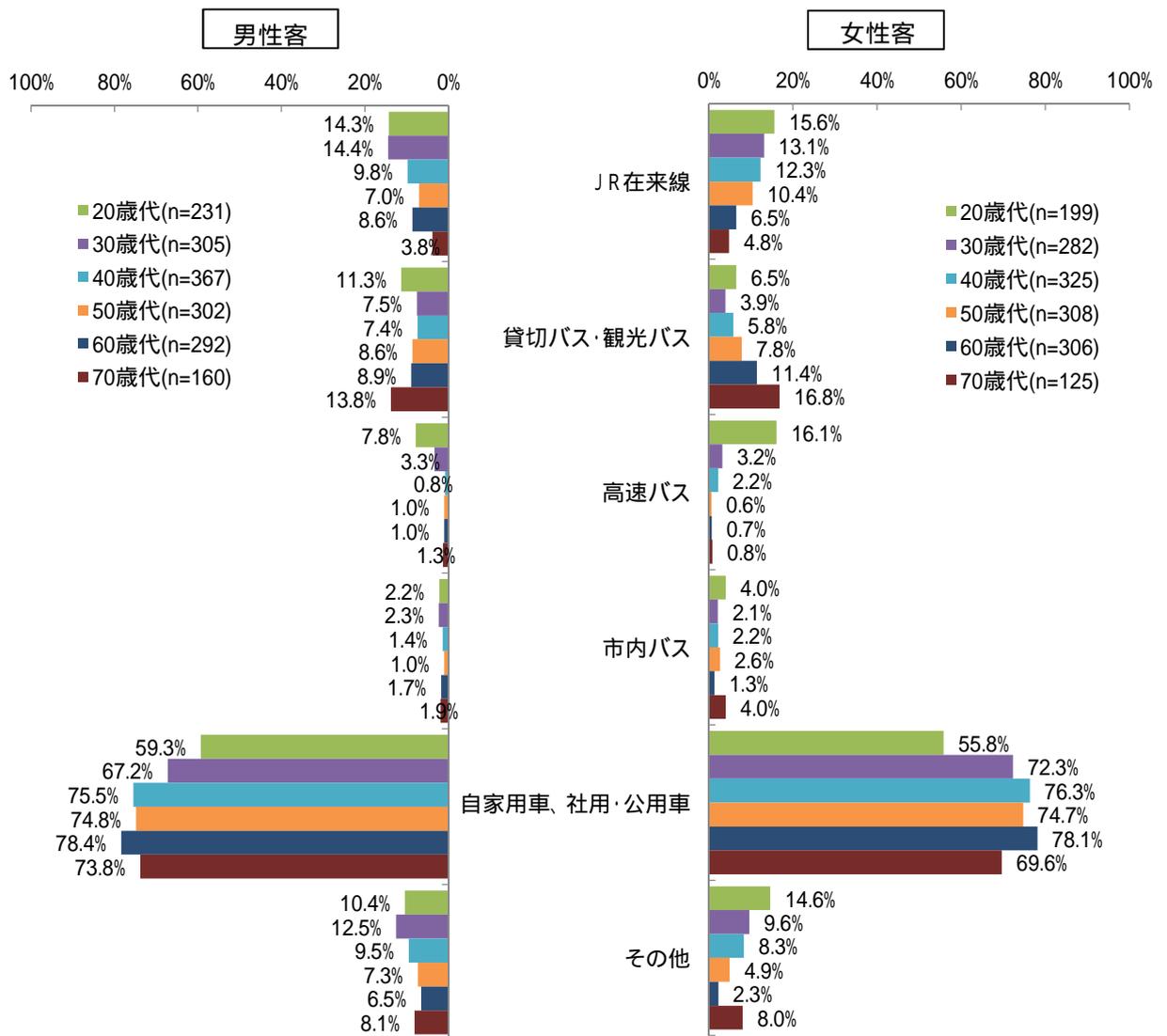
(2) 性別・年代別の観光客の特徴

アンケート回答者の性別及び年代(20 ~ 70 歳代)別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った(10 歳代、80 歳以上はサンプル数が少ない為除外)

- 交通手段
- 旅行の主な目的
- 旅行計画の参考資料
- 滞在状況(日帰り・宿泊)

交通手段

交通手段は、性別・年代別を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も高くなっている。また、20 歳代では男女とも「JR 在来線」、男性の 20 歳代で「貸切バス・観光バス」、女性の 20 歳代で「高速バス」の割合が比較的高くなっている。



調査時点: H28年

* 複数回答

旅行の主な目的

旅行目的の上位3項目は、男性では「自然を楽しむ」、「温泉を楽しむ」、「名所・旧跡・歴史」、「ショッピング」、女性では「自然を楽しむ」、「温泉を楽しむ」、「行楽（遊園地、観光施設等）」となっている。

性別、年代別にみると、女性の60歳代で「温泉を楽しむ」の割合が最も高くなっており、その他の年代では男女ともに「自然を楽しむ」が最も高くなっている。

男性(H28年)	20歳代 (n=231)	30歳代 (n=305)	40歳代 (n=367)	50歳代 (n=302)	60歳代 (n=292)	70歳代 (n=160)	合計 (n=1,706)
自然を楽しむ	31.6%	39.7%	33.5%	43.7%	35.3%	30.6%	35.9%
温泉を楽しむ	18.2%	23.6%	28.1%	21.5%	28.8%	30.0%	24.7%
名所・旧跡・歴史	12.6%	18.0%	14.7%	21.9%	22.3%	17.5%	18.3%
行楽(遊園地、観光施設等)	29.4%	22.6%	19.6%	10.6%	9.2%	8.8%	17.2%
慰安旅行	8.7%	3.6%	3.3%	2.6%	3.8%	3.8%	4.0%
登山・トレッキング	3.5%	2.6%	1.4%	3.6%	1.7%	0.6%	2.3%
スポーツ・レクリエーション	3.0%	4.9%	4.6%	4.0%	2.1%	2.5%	3.7%
収穫体験	0.9%	2.0%	2.2%	0.7%	1.4%	1.3%	1.5%
ものづくり体験	0.0%	1.0%	0.8%	0.7%	0.0%	0.6%	0.5%
ショッピング	12.6%	22.0%	20.4%	20.5%	19.5%	9.4%	18.3%
郷土料理	2.6%	5.2%	3.3%	5.6%	1.4%	2.5%	3.6%
文化・芸術	4.3%	3.0%	3.0%	7.6%	7.5%	14.4%	5.9%
祭り・イベント	2.2%	2.6%	3.3%	2.0%	1.4%	0.6%	2.2%
保養・休養	2.2%	5.2%	3.8%	4.0%	5.8%	5.0%	4.5%
旅先での出会い・交流	2.2%	0.3%	0.5%	0.7%	1.4%	0.6%	0.9%
目的地とは別の立ち寄り	0.0%	1.0%	0.5%	1.7%	1.7%	0.0%	0.9%
その他	9.5%	4.3%	7.9%	12.6%	14.0%	13.1%	9.7%
不明	1.7%	2.6%	0.5%	1.3%	0.3%	0.0%	1.2%
サンプル数	231	305	367	302	292	160	1,706

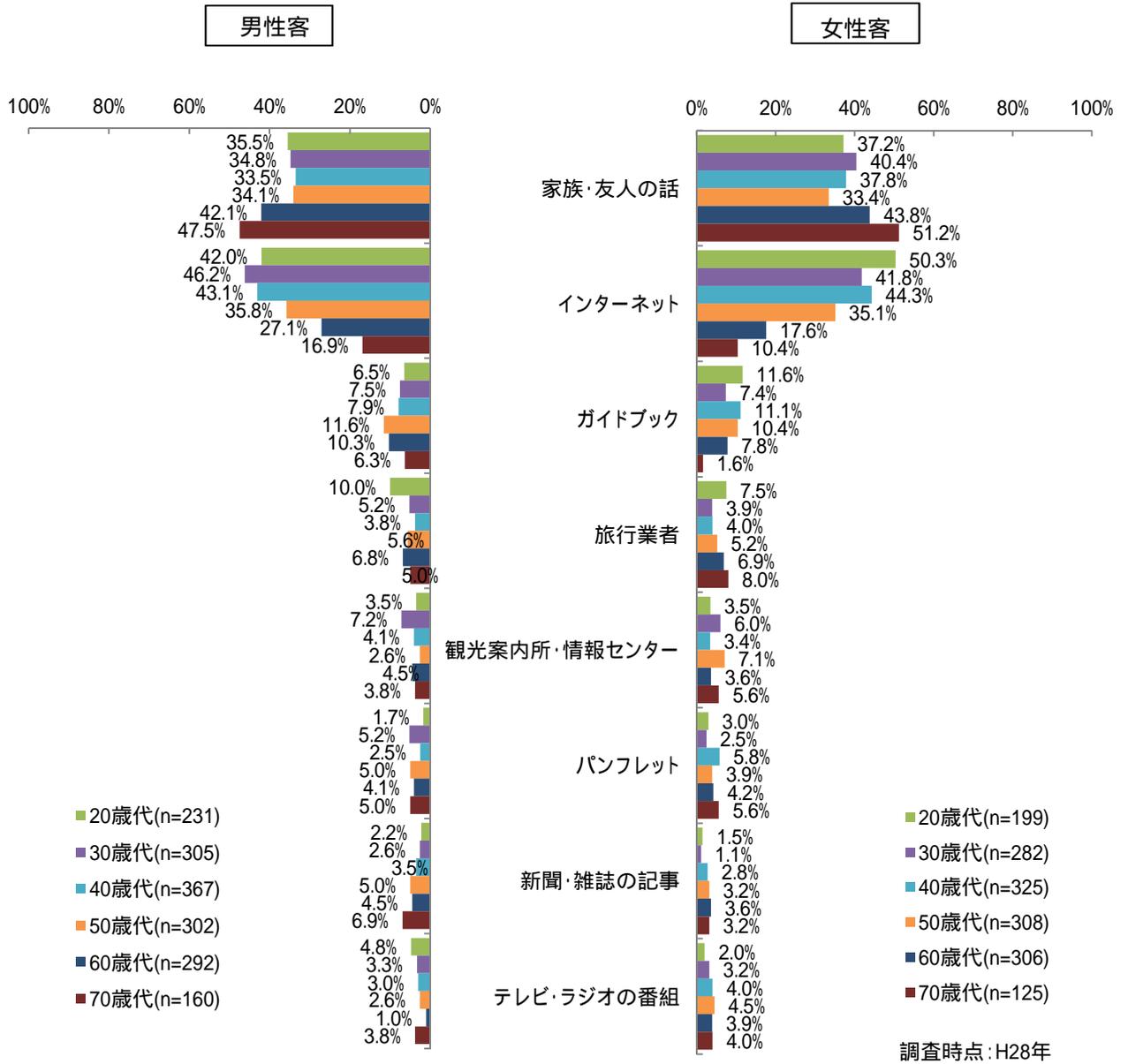
各上位3位

女性(H28年)	20歳代 (n=199)	30歳代 (n=282)	40歳代 (n=325)	50歳代 (n=308)	60歳代 (n=306)	70歳代 (n=125)	合計 (n=1,615)
自然を楽しむ	32.7%	38.3%	31.4%	34.4%	32.4%	32.0%	33.1%
温泉を楽しむ	21.1%	23.8%	25.5%	28.2%	34.3%	24.8%	26.7%
名所・旧跡・歴史	13.6%	12.4%	15.1%	14.9%	11.4%	18.4%	13.5%
行楽(遊園地、観光施設等)	30.2%	21.3%	23.1%	9.4%	10.8%	12.0%	18.5%
慰安旅行	4.0%	1.1%	0.0%	1.9%	2.9%	4.8%	2.0%
登山・トレッキング	2.5%	2.5%	3.7%	1.9%	1.0%	0.0%	2.1%
スポーツ・レクリエーション	4.0%	5.7%	1.8%	2.9%	2.3%	0.0%	2.9%
収穫体験	2.5%	3.9%	3.7%	3.2%	2.3%	1.6%	3.0%
ものづくり体験	0.0%	1.1%	0.9%	0.3%	0.7%	0.0%	0.6%
ショッピング	19.1%	23.4%	15.1%	18.8%	17.0%	11.2%	17.8%
郷土料理	4.5%	2.5%	5.2%	4.2%	2.0%	2.4%	3.5%
文化・芸術	5.5%	5.7%	10.5%	6.8%	11.4%	17.6%	9.2%
祭り・イベント	3.0%	2.5%	2.8%	2.6%	0.7%	1.6%	2.3%
保養・休養	2.0%	3.9%	3.1%	5.2%	3.9%	4.0%	3.7%
旅先での出会い・交流	1.5%	0.0%	0.3%	1.0%	0.7%	0.0%	0.6%
目的地とは別の立ち寄り	0.0%	0.7%	1.5%	1.0%	0.7%	0.0%	0.7%
その他	4.0%	9.9%	10.5%	14.3%	8.2%	8.0%	9.4%
不明	0.5%	1.4%	1.2%	1.6%	2.3%	0.0%	1.4%
サンプル数	199	282	325	308	306	125	1,615

各上位3位

旅行計画の参考資料

旅行計画を立てる際に参考にするのは、男女ともに20～50歳代で「インターネット」の割合が最も高くなっており、その他の年代では男女ともに「家族・友人の話」が最も高くなっている。

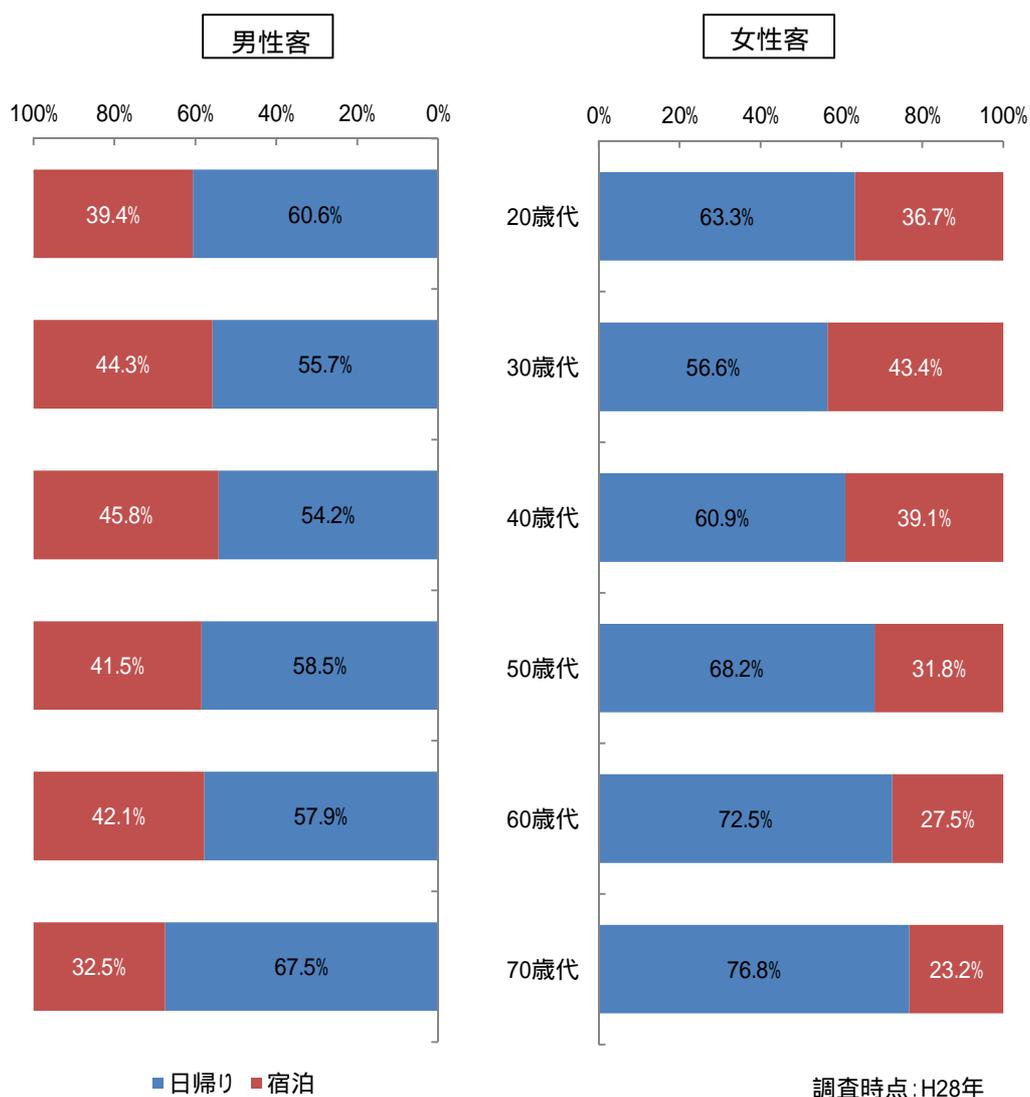


調査時点：H28年

* 複数回答

滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況を見ると、宿泊の割合は男性では40歳代(45.8%)が最も高く、70歳代(32.5%)が最も低くなっている。女性では30歳代(43.4%)が最も高く、70歳代(23.2%)が最も低くなっている。



(3) 圏域別の観光客の特徴

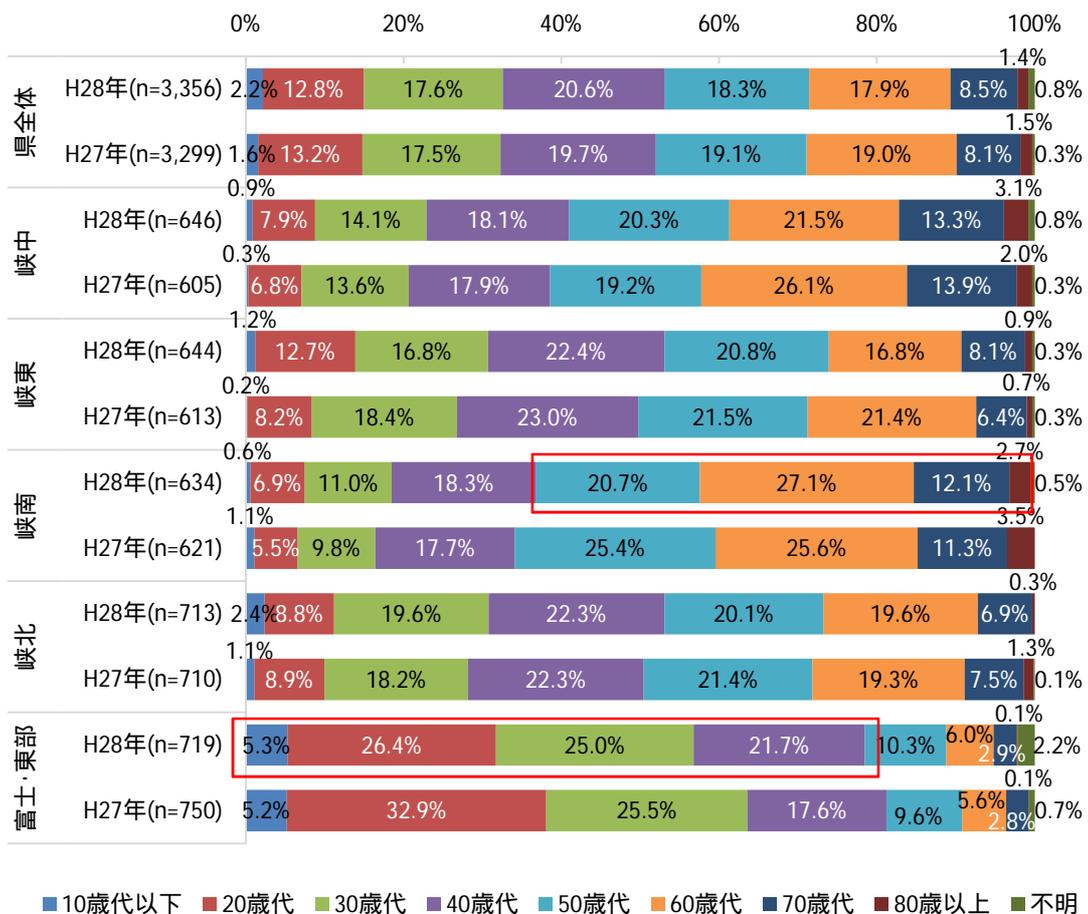
圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- 属性
- 同行者
- グループ形態
- 滞在状況（日帰り・宿泊）
- 満足度

属性

年代層をみると、「峡南」では50歳以上が62.6%を占め、他の圏域よりも割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳以下が78.4%を占めている。

【経年比較】Q2-2:年代別×圏域



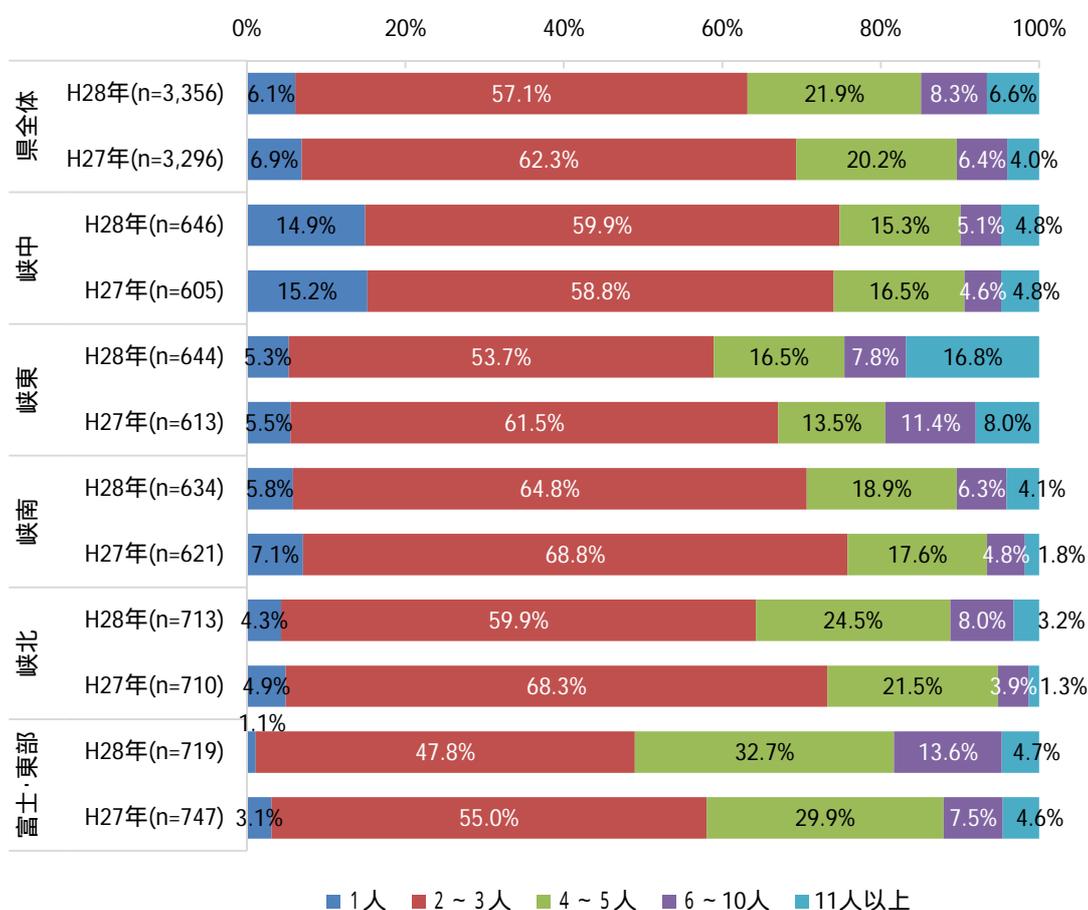
同行者

同行人数は、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高いが、「富士・東部」では4人以上の割合（51.0%）が他の圏域に比べて高くなっており、「峡中」では「1人」の割合（14.9%）が高くなっている。

前年調査と比較すると、「峡東」では11人以上の割合が他の圏域に比べて大きく増加している。

	峡中		峡東		峡南		峡北		富士・東部	
	H28年 (n=646)	H27年 (n=605)	H28年 (n=644)	H27年 (n=613)	H28年 (n=634)	H27年 (n=621)	H28年 (n=713)	H27年 (n=710)	H28年 (n=719)	H27年 (n=747)
1人	14.9%	15.2%	5.3%	5.5%	5.8%	7.1%	4.3%	4.9%	1.1%	3.1%
2～3人	59.9%	58.8%	53.7%	61.5%	64.8%	68.8%	59.9%	68.3%	47.8%	55.0%
4～5人	15.3%	16.5%	16.5%	13.5%	18.9%	17.6%	24.5%	21.5%	32.7%	29.9%
6～10人	5.1%	4.6%	7.8%	11.4%	6.3%	4.8%	8.0%	3.9%	13.6%	7.5%
11人以上	4.8%	4.8%	16.8%	8.0%	4.1%	1.8%	3.2%	1.3%	4.7%	4.6%

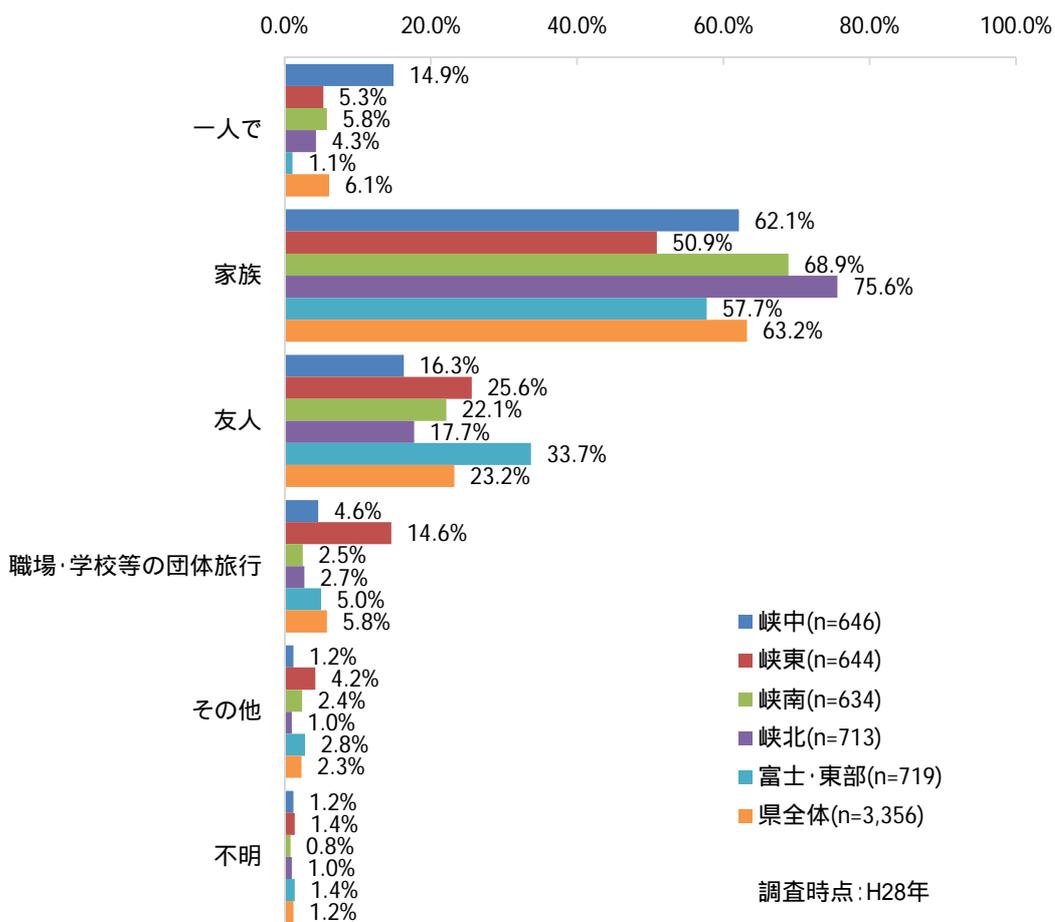
【経年比較】Q5-1: 旅行人数×圏域



グループ形態

グループ形態は、いずれの圏域も「家族」の割合が最も高くなっており、次いで「友人」と続いている。また、他の圏域に比べて、「峡中」では「一人で」(14.9%)、「峡東」では「職場・学校等の団体旅行」(14.6%)の割合が高くなっている。

Q5-2: 誰と来たか×圏域

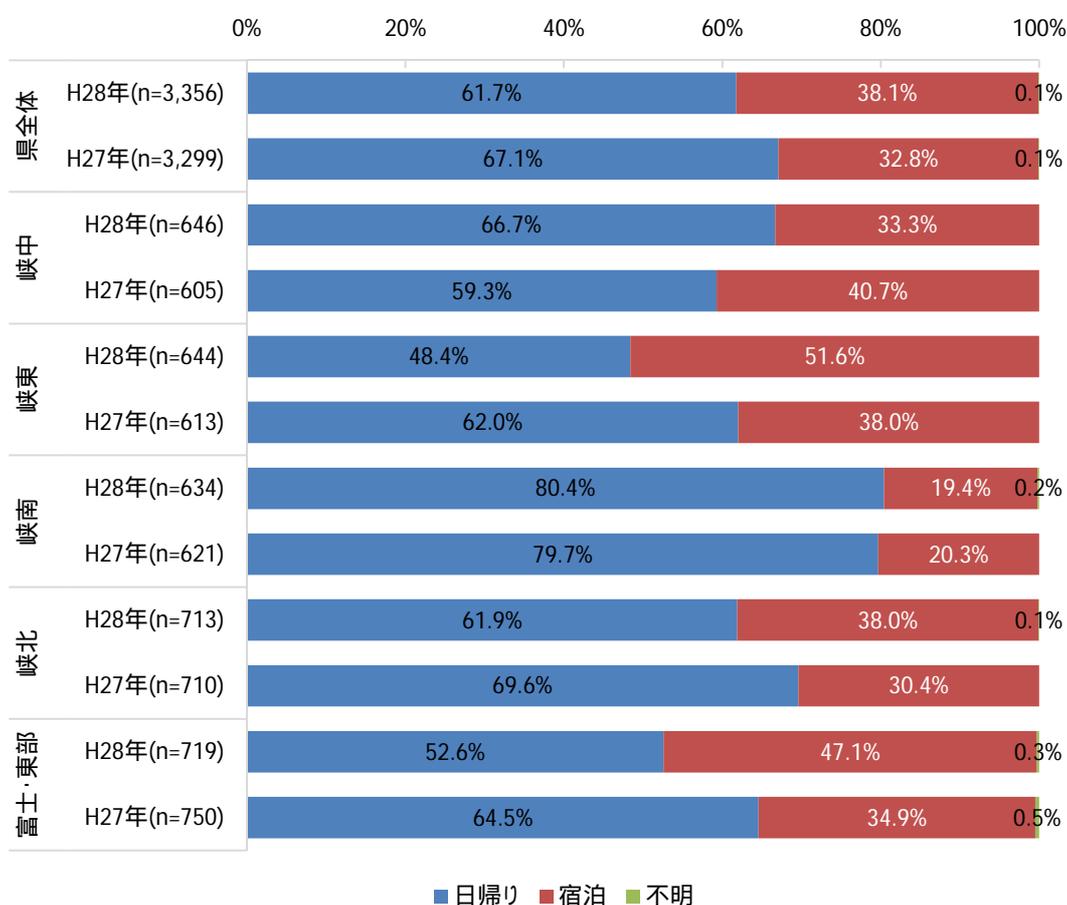


滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況（日帰り・宿泊）をみると、「日帰り」では「峡南」（80.4%）が他圏域に比べて高くなっており、「宿泊」では「峡東」（51.6%）、「富士・東部」（47.1%）が5割前後を占めている。

前年調査と比較すると、「峡中」「峡南」以外の圏域で「宿泊」の割合が増加している。

【経年比較】Q3-1:滞在状況(日帰り、宿泊)(SA) × 圏域



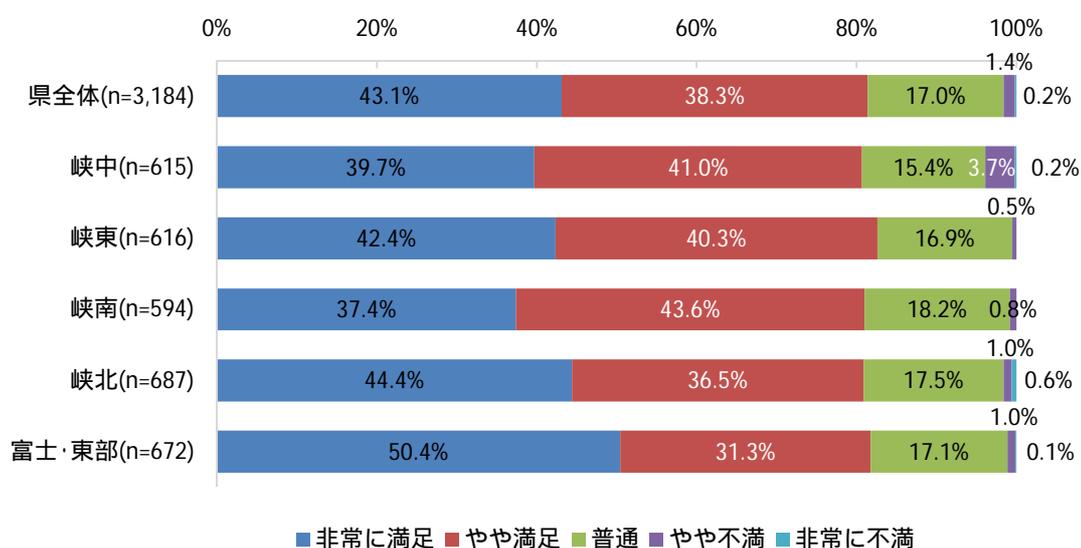
満足度

山梨県全体

「県全体の満足度」に対して『満足』と回答した割合（「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）は、全ての圏域で8割以上となっている。また、「非常に満足」だけを見ると、富士・東部（50.4%）が最も割合が高く、他の圏域も約4割以上となっている。

【山梨県全体の満足度】

Q11: 満足度(SA) × 圏域別



調査時点: H28年

峡中

16 項目中 12 項目で『満足』（「非常に満足」＋「やや満足」）と答えた割合が県平均に比べて低くなっており、特に「おもてなし【バス】」では 16.6 ポイント低くなっている。一方、『不満』（やや不満＋非常に不満）と答えた割合は、「宿のサービス」以外の項目が県平均と比べて高くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「公共交通の便」でそれぞれ 16.1、15.7 ポイント高くなっている。

峡東

16 項目中 11 項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて高くなっており、特に「公共交通の便」で 5.0 ポイント高くなっている一方、『不満』と答えた割合は「公共交通の便」が県平均と比べて 11.6 ポイント低くなっている。

峡南

16 項目中 12 項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて低くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「公共交通の便」でそれぞれ 11.8、17.3 ポイント低くなっている。一方、『不満』と答えた割合は「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「公共交通の便」で県平均と比べて高くなっており、特に「公共交通の便」で 14.5 ポイント高くなっている。

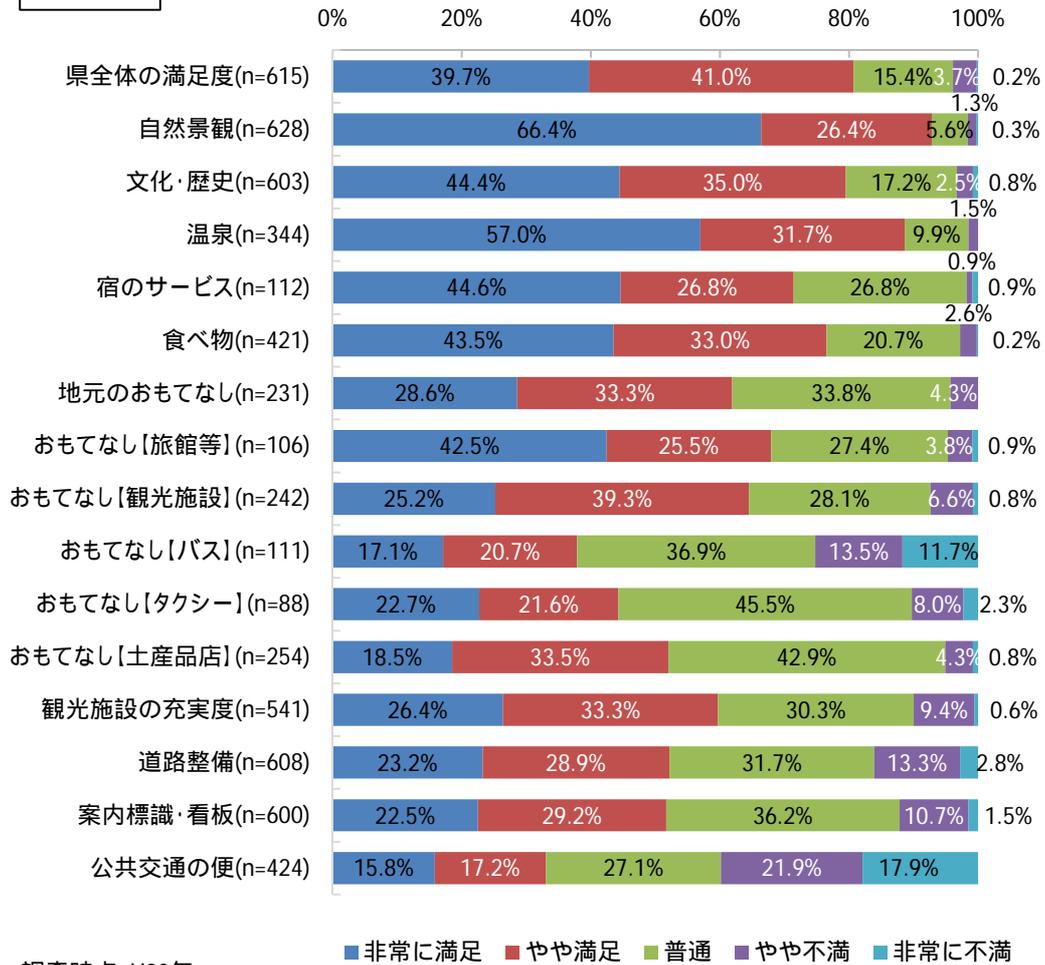
峡北

16 項目中 9 項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて低くなっており、特に「温泉」で 9.6 ポイント低くなっている。一方、『不満』と答えた割合は「宿のサービス」、「食べ物」、「地元のおもてなし」、「おもてなし【旅館等】」、「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「案内標識・看板」、「公共交通の便」で県平均と比べて低くなっており、特に「公共交通の便」で 6.6 ポイント低くなっている。

富士・東部

16 項目中 11 項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて高くなっており、特に、「おもてなし【バス】」、「公共交通の便」でともに 11.7 ポイント高くなっている。一方、『不満』と答えた割合は、「自然景観」、「温泉」、「宿のサービス」、「食べ物」以外の項目で県平均と比べて低くなっている。

峡中

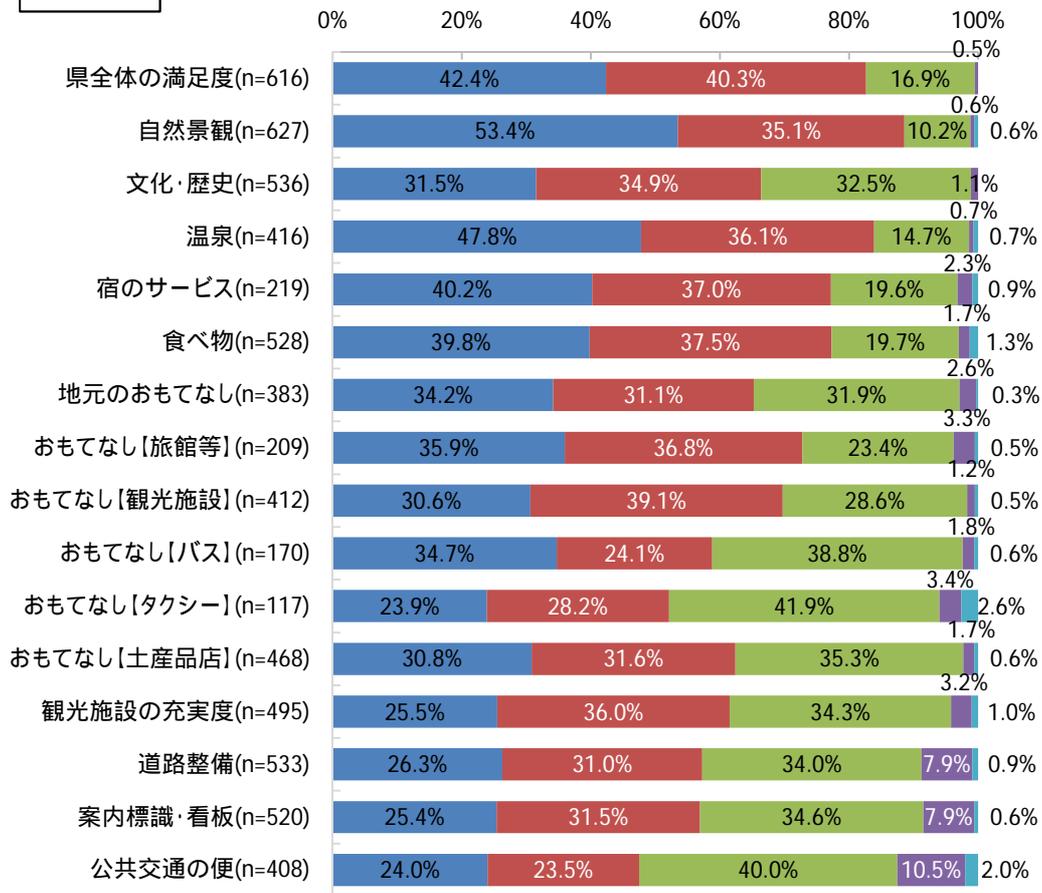


調査時点: H28年

【峡中】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=615)	-0.7	-3.4	2.7	-1.6	2.3	2.3	0.0
自然景観(n=628)	2.3	5.9	-3.6	-2.9	0.6	0.6	0.0
文化・歴史(n=603)	9.4	10.8	-1.4	-11.3	1.8	1.3	0.5
温泉(n=344)	4.9	7.0	-2.1	-4.9	0.1	0.3	-0.2
宿のサービス(n=112)	-2.7	2.9	-5.6	3.5	-0.9	-1.2	0.3
食べ物(n=421)	2.5	6.5	-4.0	-2.9	0.3	0.8	-0.5
地元のおもてなし(n=231)	-3.8	-4.2	0.4	1.5	2.2	2.6	-0.4
おもてなし【旅館等】(n=106)	-5.5	2.9	-8.4	3.6	2.0	1.9	0.1
おもてなし【観光施設】(n=242)	-2.5	-5.8	3.3	-2.0	4.5	4.1	0.4
おもてなし【バス】(n=111)	-16.6	-11.5	-5.1	0.3	16.1	8.0	8.1
おもてなし【タクシー】(n=88)	-5.4	-0.3	-5.1	2.8	2.8	2.2	0.6
おもてなし【土産品店】(n=254)	-5.6	-7.3	1.7	3.4	2.2	2.0	0.2
観光施設の充実度(n=541)	-4.1	-2.4	-1.7	-0.2	4.3	4.4	-0.1
道路整備(n=608)	-4.5	-1.2	-3.3	-0.8	5.2	4.2	1.0
案内標識・看板(n=600)	-3.8	-1.2	-2.6	0.9	3.1	3.0	0.1
公共交通の便(n=424)	-9.5	-4.2	-5.3	-6.3	15.7	6.4	9.3

+10ポイント以上
 0ポイント以上+10ポイント未満
 -10ポイント未満
 -10ポイント以上0ポイント未満

峡東



調査時点：H28年

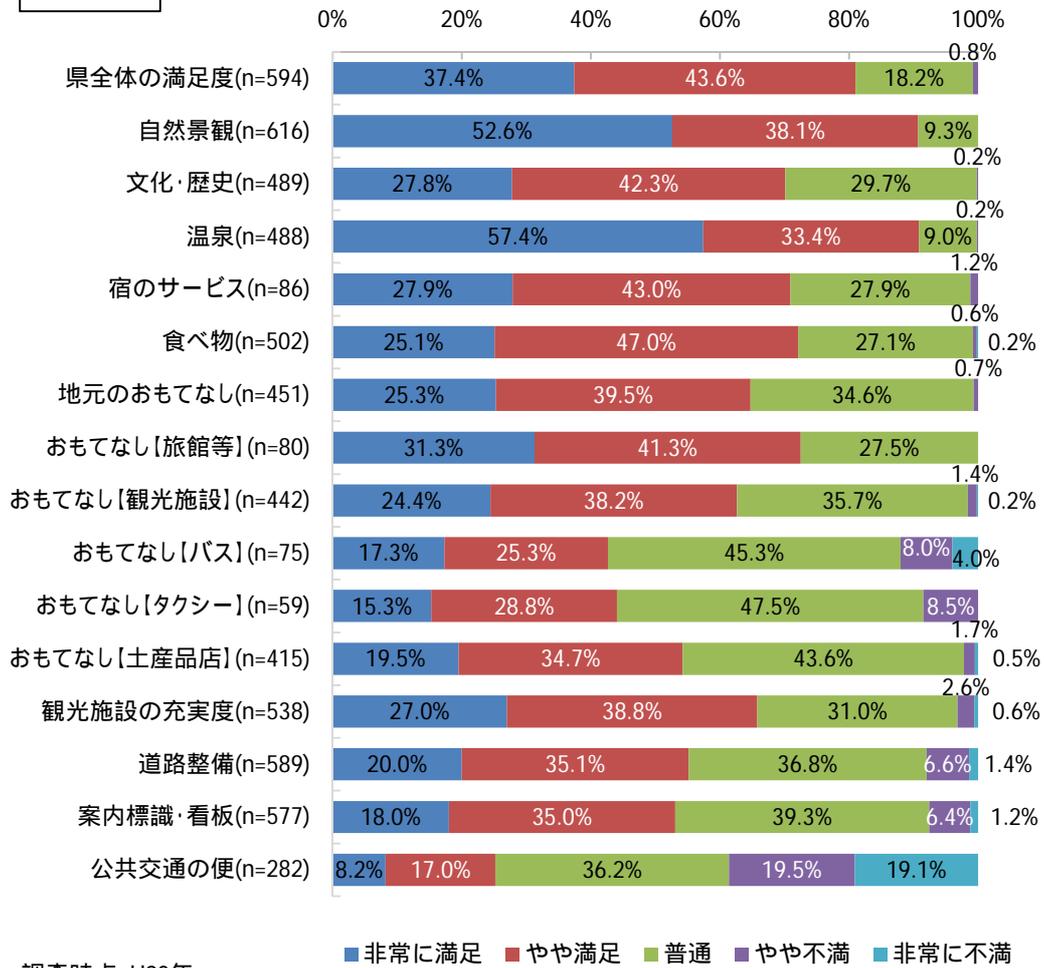
■非常に満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■非常に不満

【峡東】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=616)	1.3	-0.7	2.0	-0.1	-1.1	-0.9	-0.2
自然景観(n=627)	-2.0	-7.1	5.1	1.7	0.2	-0.1	0.3
文化・歴史(n=536)	-3.6	-2.1	-1.5	4.0	-0.4	-0.1	-0.3
温泉(n=416)	0.1	-2.2	2.3	-0.1	0.0	-0.5	0.5
宿のサービス(n=219)	3.1	-1.5	4.6	-3.7	0.5	0.2	0.3
食べ物(n=528)	3.3	2.8	0.5	-3.9	0.5	-0.1	0.6
地元のおもてなし(n=383)	-0.4	1.4	-1.8	-0.4	0.8	0.9	-0.1
おもてなし【旅館等】(n=209)	-0.8	-3.7	2.9	-0.4	1.1	1.4	-0.3
おもてなし【観光施設】(n=412)	2.7	-0.4	3.1	-1.5	-1.2	-1.3	0.1
おもてなし【バス】(n=170)	4.4	6.1	-1.7	2.2	-6.7	-3.7	-3.0
おもてなし【タクシー】(n=117)	2.4	0.9	1.5	-0.8	-1.5	-2.4	0.9
おもてなし【土産品店】(n=468)	4.8	5.0	-0.2	-4.2	-0.6	-0.6	0.0
観光施設の充実度(n=495)	-2.3	-3.3	1.0	3.8	-1.5	-1.8	0.3
道路整備(n=533)	0.7	1.9	-1.2	1.5	-2.1	-1.2	-0.9
案内標識・看板(n=520)	1.4	1.7	-0.3	-0.7	-0.6	0.2	-0.8
公共交通の便(n=408)	5.0	4.0	1.0	6.6	-11.6	-5.0	-6.6

■ +10ポイント以上
0ポイント以上+10ポイント未満

■ -10ポイント未満
-10ポイント以上0ポイント未満

峡南



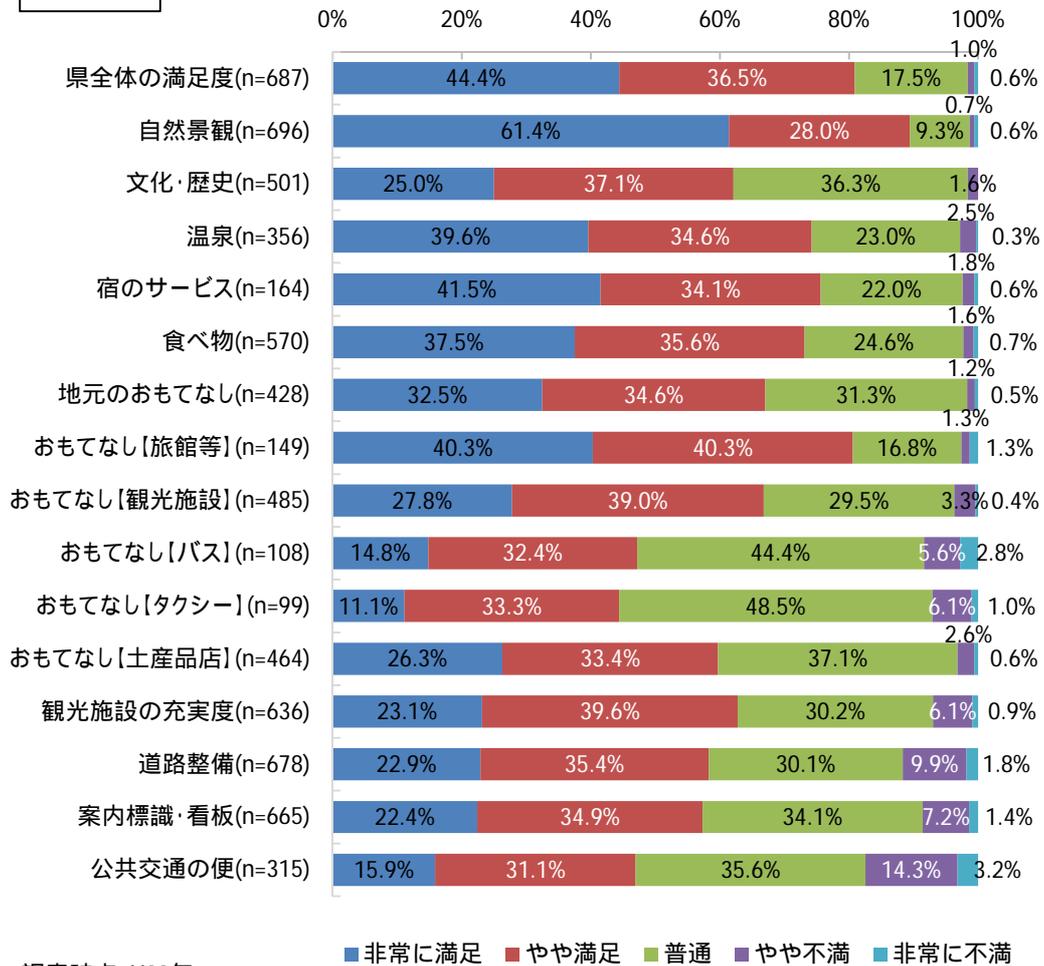
調査時点：H28年

【峡南】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=594)	-0.4	-5.7	5.3	1.2	-0.8	-0.6	-0.2
自然景観(n=616)	0.2	-7.9	8.1	0.8	-1.0	-0.7	-0.3
文化・歴史(n=489)	0.1	-5.8	5.9	1.2	-1.3	-1.0	-0.3
温泉(n=488)	7.0	7.4	-0.4	-5.8	-1.2	-1.0	-0.2
宿のサービス(n=86)	-3.2	-13.8	10.6	4.6	-1.5	-0.9	-0.6
食べ物(n=502)	-1.9	-11.9	10.0	3.5	-1.7	-1.2	-0.5
地元のおもてなし(n=451)	-0.9	-7.5	6.6	2.3	-1.4	-1.0	-0.4
おもてなし【旅館等】(n=80)	-0.9	-8.3	7.4	3.7	-2.7	-1.9	-0.8
おもてなし【観光施設】(n=442)	-4.4	-6.6	2.2	5.6	-1.3	-1.1	-0.2
おもてなし【バス】(n=75)	-11.8	-11.3	-0.5	8.7	2.9	2.5	0.4
おもてなし【タクシー】(n=59)	-5.6	-7.7	2.1	4.8	1.0	2.7	-1.7
おもてなし【土産品店】(n=415)	-3.4	-6.3	2.9	4.1	-0.7	-0.6	-0.1
観光施設の充実度(n=538)	2.0	-1.8	3.8	0.5	-2.5	-2.4	-0.1
道路整備(n=589)	-1.5	-4.4	2.9	4.3	-2.9	-2.5	-0.4
案内標識・看板(n=577)	-2.5	-5.7	3.2	4.0	-1.5	-1.3	-0.2
公共交通の便(n=282)	-17.3	-11.8	-5.5	2.8	14.5	4.0	10.5

+10ポイント以上
0ポイント以上+10ポイント未満

-10ポイント未満
-10ポイント以上0ポイント未満

峡北

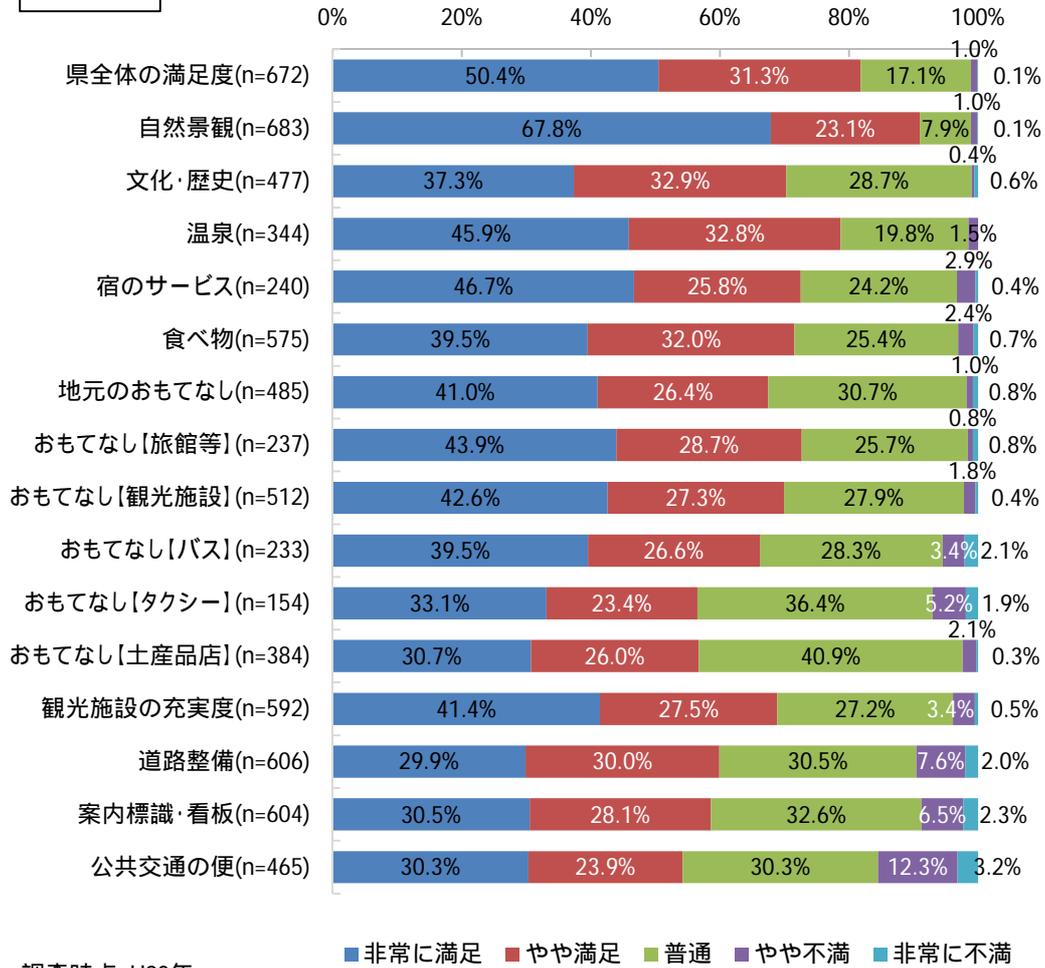


調査時点：H28年

【峡北】県全体との比較	満足			普通	不満	不満	
	満足	非常に満足	やや満足			やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=687)	-0.5	1.3	-1.8	0.5	0.0	-0.4	0.4
自然景観(n=696)	-1.1	0.9	-2.0	0.8	0.3	0.0	0.3
文化・歴史(n=501)	-7.9	-8.6	0.7	7.8	0.1	0.4	-0.3
温泉(n=356)	-9.6	-10.4	0.8	8.2	1.4	1.3	0.1
宿のサービス(n=164)	1.5	-0.2	1.7	-1.3	-0.3	-0.3	0.0
食べ物(n=570)	-0.9	0.5	-1.4	1.0	-0.2	-0.2	0.0
地元のおもてなし(n=428)	1.4	-0.3	1.7	-1.0	-0.4	-0.5	0.1
おもてなし【旅館等】(n=149)	7.1	0.7	6.4	-7.0	-0.1	-0.6	0.5
おもてなし【観光施設】(n=485)	-0.2	-3.2	3.0	-0.6	0.8	0.8	0.0
おもてなし【バス】(n=108)	-7.2	-13.8	6.6	7.8	-0.7	0.1	-0.8
おもてなし【タクシー】(n=99)	-5.3	-11.9	6.6	5.8	-0.4	0.3	-0.7
おもてなし【土産品店】(n=464)	2.1	0.5	1.6	-2.4	0.3	0.3	0.0
観光施設の充実度(n=636)	-1.1	-5.7	4.6	-0.3	1.3	1.1	0.2
道路整備(n=678)	1.7	-1.5	3.2	-2.4	0.8	0.8	0.0
案内標識・看板(n=665)	1.8	-1.3	3.1	-1.2	-0.5	-0.5	0.0
公共交通の便(n=315)	4.5	-4.1	8.6	2.2	-6.6	-1.2	-5.4



富士・東部



調査時点：H28年

【富士・東部】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度(n=672)	0.3	7.3	-7.0	0.1	-0.5	-0.4	-0.1
自然景観(n=683)	0.4	7.3	-6.9	-0.6	0.1	0.3	-0.2
文化・歴史(n=477)	0.2	3.7	-3.5	0.2	-0.5	-0.8	0.3
温泉(n=344)	-5.1	-4.1	-1.0	5.0	0.1	0.3	-0.2
宿のサービス(n=240)	-1.6	5.0	-6.6	0.9	0.6	0.8	-0.2
食べ物(n=575)	-2.5	2.5	-5.0	1.8	0.6	0.6	0.0
地元のおもてなし(n=485)	1.7	8.2	-6.5	-1.6	-0.3	-0.7	0.4
おもてなし【旅館等】(n=237)	-0.9	4.3	-5.2	1.9	-1.1	-1.1	0.0
おもてなし【観光施設】(n=512)	2.9	11.6	-8.7	-2.2	-0.7	-0.7	0.0
おもてなし【バス】(n=233)	11.7	10.9	0.8	-8.3	-3.6	-2.1	-1.5
おもてなし【タクシー】(n=154)	6.8	10.1	-3.3	-6.3	-0.4	-0.6	0.2
おもてなし【土産品店】(n=384)	-0.9	4.9	-5.8	1.4	-0.5	-0.2	-0.3
観光施設の充実度(n=592)	5.1	12.6	-7.5	-3.3	-1.8	-1.6	-0.2
道路整備(n=606)	3.3	5.5	-2.2	-2.0	-1.3	-1.5	0.2
案内標識・看板(n=604)	3.1	6.8	-3.7	-2.7	-0.3	-1.2	0.9
公共交通の便(n=465)	11.7	10.3	1.4	-3.1	-8.6	-3.2	-5.4

+10ポイント以上
0ポイント以上+10ポイント未満

-10ポイント未満
-10ポイント以上0ポイント未満

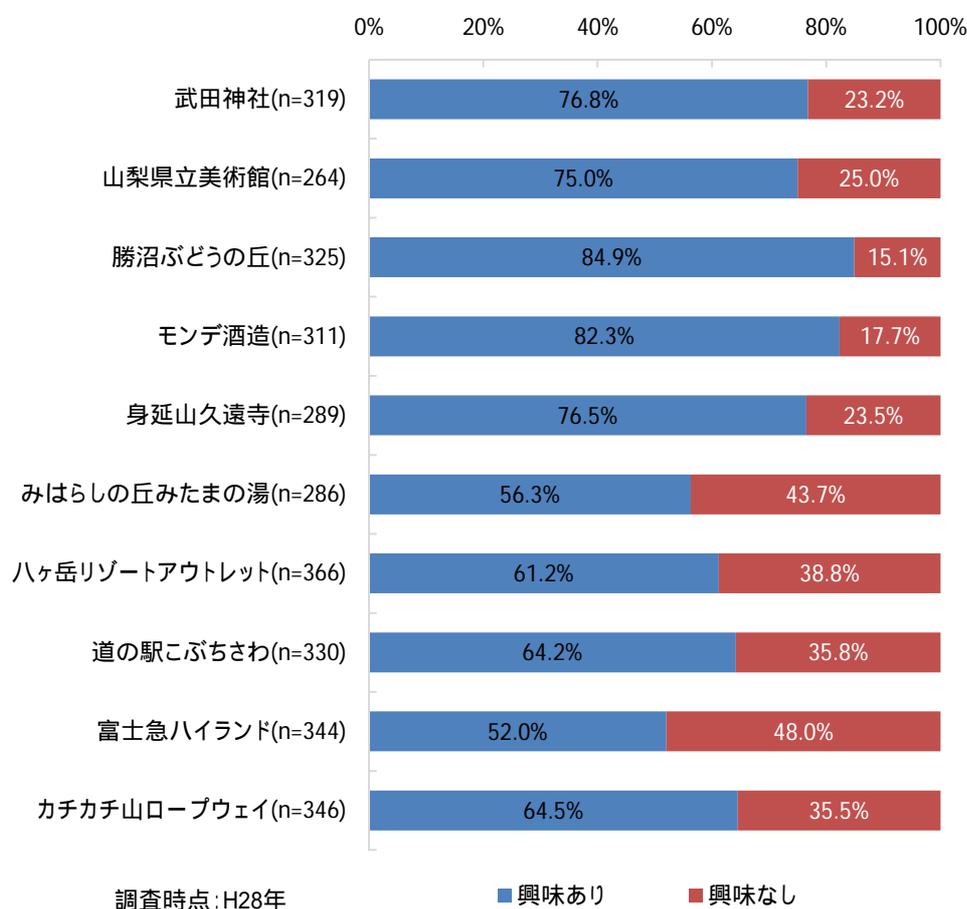
(4) ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味別の特徴

調査地点

「興味あり」は、「勝沼ぶどうの丘」で最も高く 84.9%、次いで「モンデ酒造」の 82.3% だった。

一方、「興味なし」は「富士急ハイランド」で最も高く 48.0%、次いで「みはらしの丘みたまの湯」の 43.7% だった。

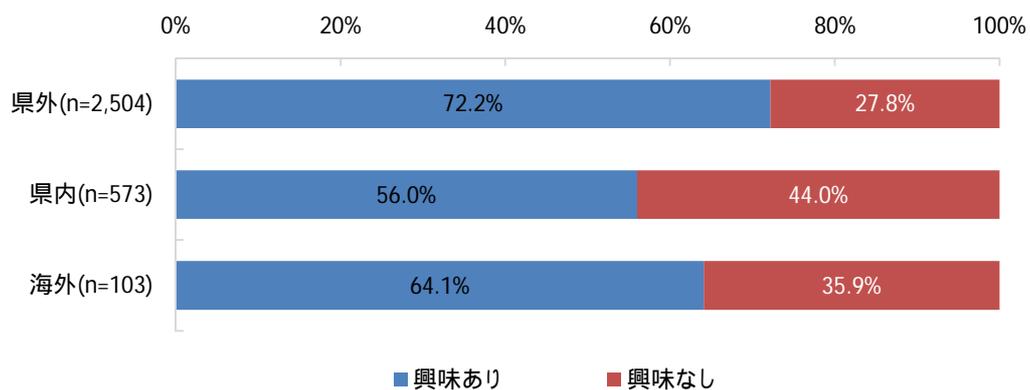
調査地点 × Q13: ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味



居住地

「興味あり」は、「県外」で最も高く 72.2%、次いで「海外」で 64.1%、「県内」で 56.0%となっている。

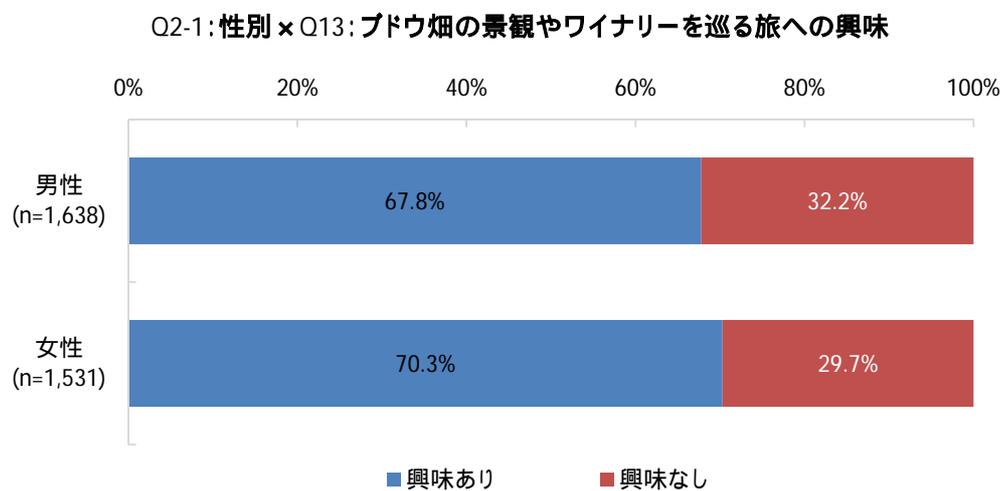
Q1:居住地 × Q13:ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味



調査時点: H28年

性別

「興味あり」の回答は男女ともほぼ同じ割合で、差はみられなかった。

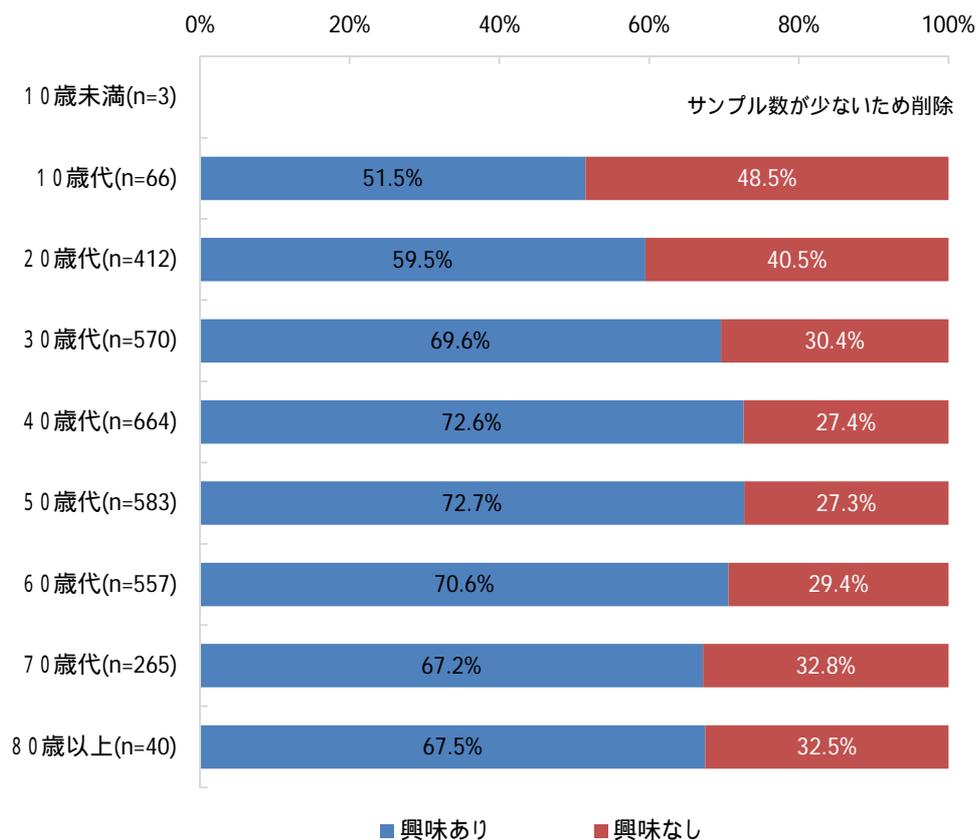


調査時点: H28年

年代

サンプル数が10以上の年代についてみると、20歳代以上のすべての年代で約6割以上が「興味あり」としており、「10歳代」でも5割を超えている。

Q2-2:年代別×Q13:ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味

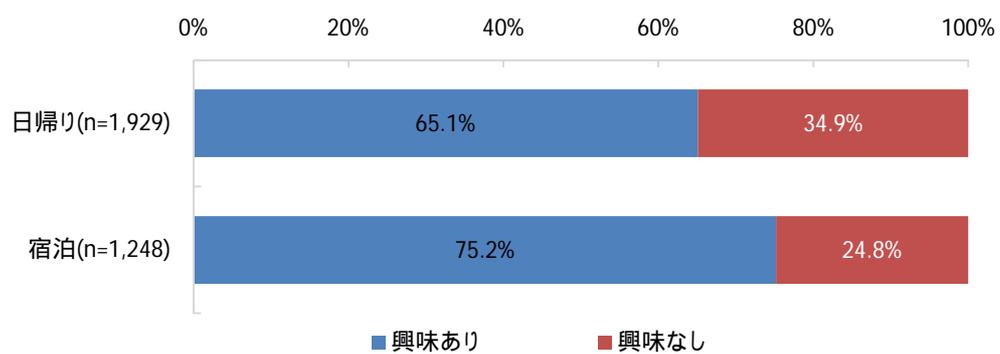


調査時点: H28年

滞在状況（日帰り、宿泊）

日帰り客と宿泊客別で比較すると、宿泊客のほうが「興味あり」がやや高い。

Q3-1:滞在状況(日帰り・宿泊) × Q13:ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味



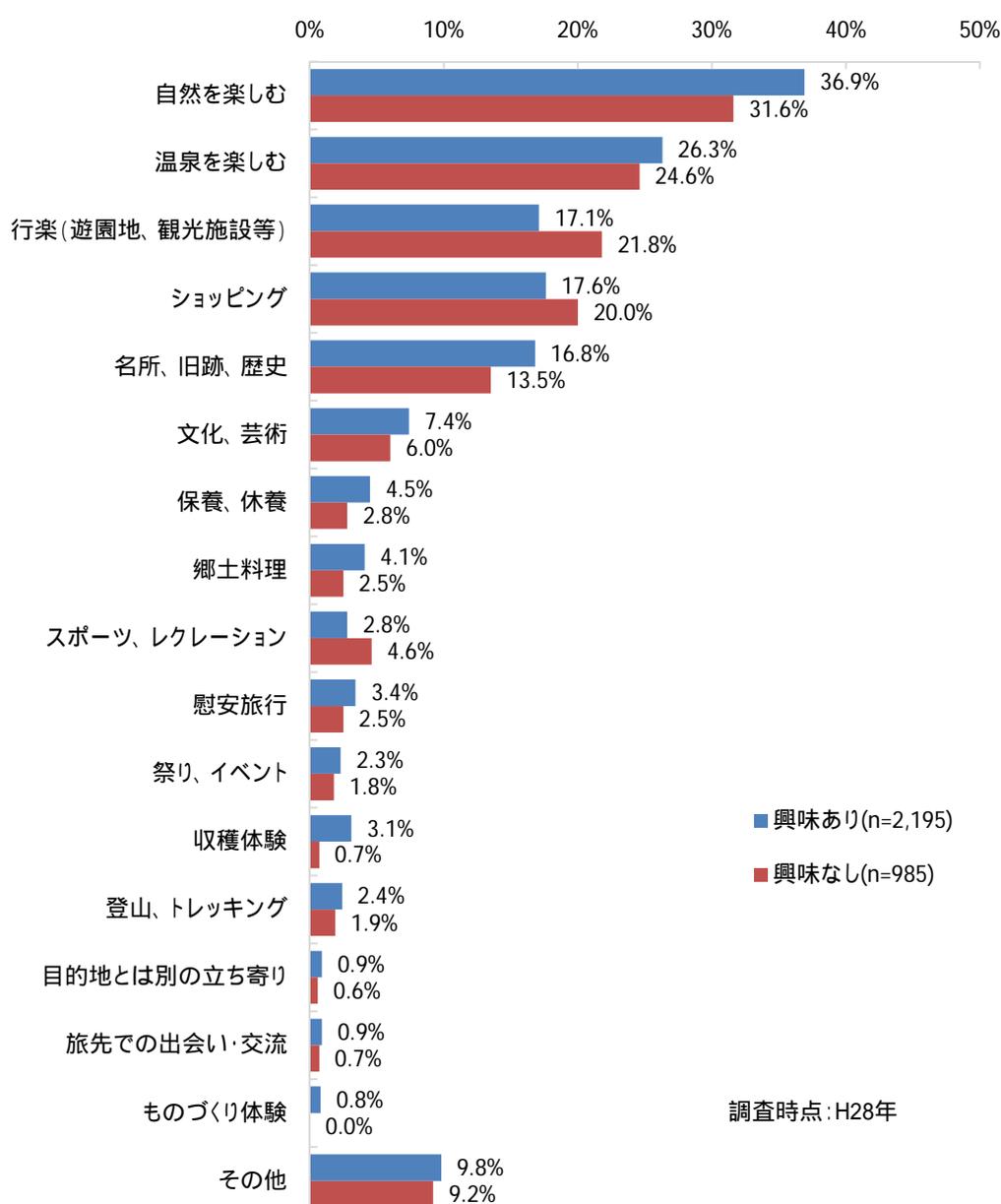
調査時点: H28年

観光目的（複数回答）

観光の目的別で「興味あり」が「興味なし」を上回った主な項目は、「自然を楽しむ」、「温泉を楽しむ」、「名所・旧跡・歴史」等となっている。

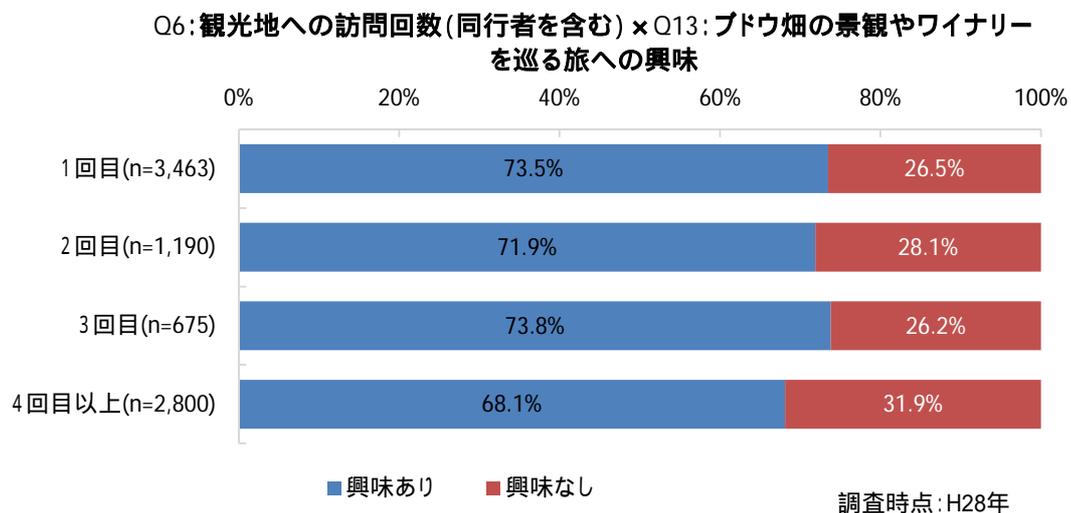
一方、「興味なし」が「興味あり」を上回った主な項目は、「行楽（遊園地、観光施設等）」、「ショッピング」、「スポーツ・レクリエーション」となっている。

Q4-2: 観光の主な目的 × Q13: ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味



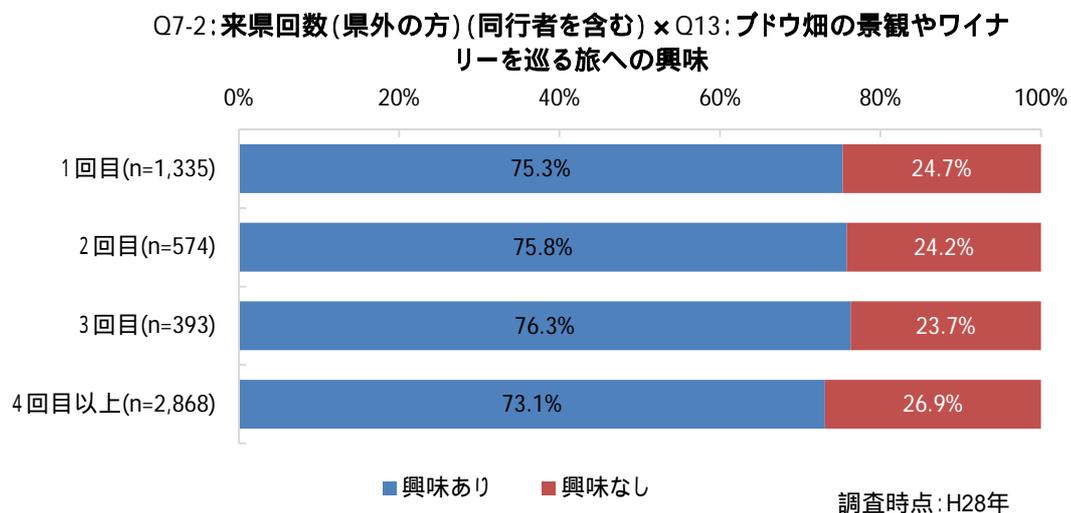
観光地への訪問回数（同行者を含む）

「興味あり」について調査地点への訪問回数で比較すると、大きな差はみられなかったが、「4回目以上」が他と比較して若干低くなっている。



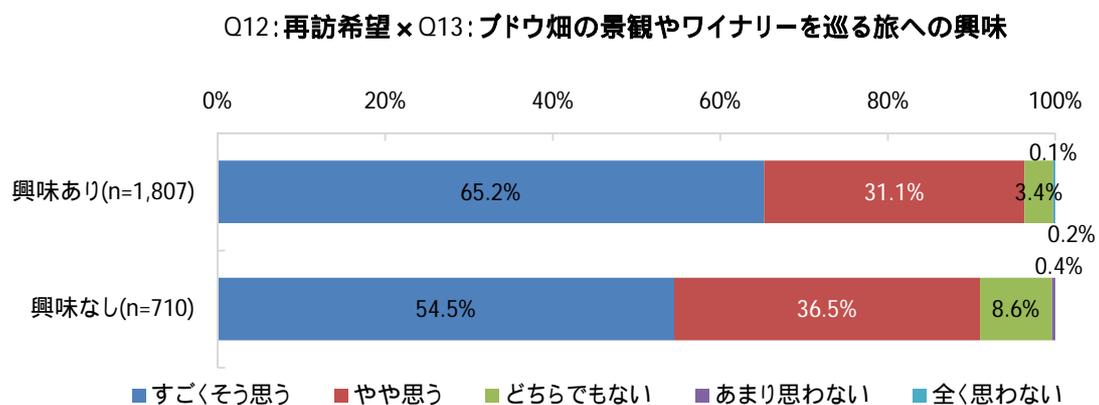
来県回数（県外の方）（同行者を含む）

同行者を含めた山梨県への来県回数別で、「興味あり」と回答した割合に大きな差はみられない。



再訪希望

ワイナリーを巡る旅について「興味あり」とした人の方が、「興味なし」とした人より高い割合で再訪を希望している。



調査時点:H28年08月

3. アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____) 海外の場合(国名: _____)

山梨県内の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性

年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。1つだけ
宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。
また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

→ 宿泊数 _____ 泊 そのうち県内 _____ 泊 県内宿泊施設数 _____ 施設

宿泊した施設の数 ↓

< 県内宿泊施設 >

1. 実家や知人・親戚宅 2. 旅館 3. ホテル 4. ペンション・民宿 5. 保養所・研修所
6. キャンプ場 7. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊 8. 別荘・リゾートマンション
9. 会員制の宿泊施設 10. その他(_____)

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。1つだけ
また観光の場合、その目的はなんですか(複数回答可)

1. ビジネス 2. 観光 3. 帰省 4. (1~3のどれでもない)その他(_____)

観光の目的

1. 自然を楽しむ 2. 温泉を楽しむ 3. 名所、旧跡、歴史 4. 行楽(遊園地、観光施設等)
5. 慰安旅行 6. 登山、トレッキング 7. スポーツ、レクリエーション 8. 収穫体験
9. ものづくり体験 10. ショッピング 11. 郷土料理 12. 文化、芸術 13. 祭り、イベント
14. 保養、休養 15. 旅先での出会い・交流 16. 目的地とは別の立ち寄り
17. その他(_____)

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。子供や乳幼児も含む

(_____)人

2人以上の場合
→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他(_____)

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている 1回目の人数(_____)人、2回目の人数(_____)人
3回目の人数(_____)人、4回目以上の人数(_____)人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたの山梨県への訪問割合はどれくらいですか。

また、ご一緒のみなさん全員の、当県の訪問が何回目かご存じですか。回答の合計はQ5と一致

訪問割合 1. 1年に1回以上 2. 2~3年に1回程度 3. 5年に1回程度
4. 10年に1回程度 5. 今回の旅行が初めて

1. 知らない 2. 知っている 1回目の人数(_____)人、2回目の人数(_____)人
3回目の人数(_____)人、4回目以上の人数(_____)人

Q 8 . 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

- 1.家族・友人の話 2.観光案内所・情報センター 3.旅行者 4.テレビ・ラジオの番組
 5.テレビ・ラジオのCM 6.インターネット 7.新聞・雑誌の記事 8.新聞・雑誌の広告・チラシ
 9.ガイドブック 10.旅行専門雑誌 11.旅行・歴史等に関する本、小説
 12.観光物産展、キャンペーン 13.パンフレット 14.駅・車内のポスター 15.その他()

Q 9 . 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
 また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

	ここに来る前にいた場所		現在地	これから行く予定の場所		
居住地			調査地点			居住地
	→	→	→	→	→	
	交通機関 ()					

【表】交通機関

J R 新幹線	J R 在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス
高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	
レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他()		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに来る前にいた県		現在地	これから行く予定の県		
居住地	県	県	当 県	県	県	居住地
	→	→	→	→	→	
	交通機関 ()	交通機関 ()		交通機関 ()	交通機関 ()	

交通機関は上表から選択

Q 1 0 . 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。不明な場合は×印をご記入ください。
 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用
交通費	(県内分)	円	(県外分)
宿泊費	(県内分)	円	
土産代	(県内分)	円	
飲食費	(県内分)	円	
入場料	(県内分)	円	
その他	(県内分)	円	
バック料金			円
			↑ 県内分のみ もしくは 県外分含む

Q11. 今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの 印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1.山梨県全体の満足度	1	2	3	4	5	6
2.自然景観	1	2	3	4	5	6
3.文化・歴史	1	2	3	4	5	6
4.温泉	1	2	3	4	5	6
5.宿のサービス	1	2	3	4	5	6
6.食べ物	1	2	3	4	5	6
7.旅先でのおもてなし	1	2	3	4	5	6
旅館等	1	2	3	4	5	6
観光施設	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	3	4	5	6
土産品店	1	2	3	4	5	6
8.観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
9.道路整備	1	2	3	4	5	6
10.案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
11.公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q11-1. Q11の満足度に関連してお聞きします。上記「1」から「11」について、改善した方が
良いと思われる点があれば具体的に記述をお願いします。

Q12. 県外又は外国にお住まいの方に伺います。また山梨に来てみたいと思いますか。

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. すごくそう思う | 2. やや思う | 3. どちらでもない |
| 4. あまり思わない | 5. 全く思わない | |

Q13. 山梨の美しいブドウ畑の景観や様々なワイナリーを巡る旅に興味がありますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q14. Q13で「1. はい」と答えた方は、どのようなことに興味がありますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------------------|----------------|------------|-----------|
| 1. ワインの試飲 | 2. ブドウ畑の散策 | 3. ワイナリー見学 | 4. ワインの購入 |
| 5. ホテル・レストランでワインと食事を楽しむ | 6. ワインイベントへの参加 | | |
| 7. ワインの歴史文化施設見学 | | | |
| 8. その他() | | | |

Q15. 山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。
ご意見を自由にご記入下さい。

調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。

調査票コード
1.観_共通_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

調査員記入欄

調査地点名:	調査年月日:平成 年 月 日
調査員名:	調査時刻:(:)

